

令和元年度

決算説明資料

秋田県仙北市

主要な施策の成果を説明する書類

1、総括

令和元年度の市財政は、歳入面では、地方税が収納対策の強化により現年課税分では前年度並みの収入となっています。一方、普通交付税における合併算定替の段階的縮減等に伴い、普通交付税（臨時財政対策債を含む）が1億2,974万3千円の減となっています。歳出面では、総合給食センター建設事業及び新角館庁舎建設事業が同年重複したことによる普通建設事業費の増、依然として高い水準で推移している公営企業への繰出金などにより大幅な財源不足が見込まれました。国では、人づくり革命の実現や地方創生の推進、防災・減災対策等に対応するために必要な経費を計上するとともに、社会保障関係経費の増加を適切に反映した計上を行う一方、国の取組と基調を合わせた地方自治体の歳出改革を行うこととしています。

このような状況を踏まえて、令和元年度の市財政の運営に当たっては、引き続き自主財源の確保に努力を続ける一方、計画の最終年度となる「仙北市総合戦略」及び「第2次仙北市総合計画」に掲げる目標達成に向け、真に必要な施策・事業に重点を置いた予算編成とし、産業振興対策、移住・定住対策、地方創生対策など仙北市実施計画に沿って事業を実施し、市民生活の向上、農林業や観光・商工など地元産業の活性化等に努めたところです。

本年度の事業の概要及び効果等については、後述の主要施策実績表のとおりです。

2、一般会計の決算状況

(1) 令和元年度の一般会計決算は「第1表」のとおりです。

一般会計の決算額は、歳入総額 223 億 5,530 万 1 千円、対前年度比 15 億 1,720 万 3 千円増（7.3%増）、歳出総額 218 億 6,133 万 1 千円、対前年度比 18 億 288 万 3 千円増（9.0%増）で、歳入歳出差引額は 4 億 9,397 万円の黒字となっています。

歳入歳出差引額のうち翌年度に繰り越すべき財源は 4,025 万 5 千円（継続費繰越額 1,785 万円、繰越明許費繰越額 2,240 万 5 千円）で、実質収支額は 4 億 5,371 万 5 千円の黒字となっています。

(2) 歳入決算額の状況は「第2表」のとおりです。

歳入項目別決算構成比では、地方交付税が 39.6%（決算額 88 億 5,144 万 3 千円）と最も高く、次いで市債の 15.4%

(決算額 34 億 3,853 万 9 千円)、市税の 12.1% (決算額 27 億 384 万 6 千円)、国庫支出金の 7.2% (決算額 16 億 156 万 5 千円)、繰入金の 6.1% (決算額 13 億 5,863 万 3 千円)、県支出金の 5.1% (決算額 11 億 4,410 万 5 千円) の順となっています。

前年度比較増減では、市債が総合給食センター建設事業等の増により 11 億 6,676 万 2 千円 (51.4%) 増加したほか、寄附金がふるさと納税寄附金等の増により 6 億 6,956 万 6 千円 (435.7%) の増、地方特例交付金が消費税増税等に伴い 4,090 万 1 千円 (457.5%) の増、地方譲与税が 2,443 万 1 千円 (11.1%) 増加しています。一方で、国庫支出金が二酸化炭素排出抑制対策事業費交付金等の減により 1 億 3,489 万 9 千円 (7.8%) の減、分担金及び負担金が県営ほ場整備事業費分担金等の減により 4,799 万 3 千円 (49.3%) の減、諸収入が後期高齢者医療療養給付費負担金返還金等の減により 3,750 万 5 千円 (4.7%) 減少しましたが、歳入全体では 15 億 1,720 万 3 千円の増となりました。

(3) 市税の徴収実績の状況は、「第 3 表」のとおりです。

市税の徴収率は現年課税分 99.0%、滞納繰越分 18.4%、合計 92.4%となっており、前年度徴収率の 90.3%を 2.1 ポイント上回っています。

(4) 歳出決算額の目的別状況は、「第 4 表」のとおりです。

目的別の歳出項目別決算構成比では、民生費の 22.7% (決算額 49 億 5,669 万 7 千円)、総務費の 18.8% (決算額 41 億 1,847 万 4 千円)、教育費の 14.3% (決算額 31 億 2,639 万円)、衛生費の 13.0% (決算額 28 億 4,179 万円) の順となっています。

前年度比較増減では、教育費が総合給食センター建設事業により 15 億 6,445 万 5 千円 (100.2%) の増、総務費が庁舎整備事業により 15 億 5,536 万 6 千円 (60.7%) の増、消防費が消防庁舎建設事業に係る大曲仙北広域市町村圏組合負担金の増等により 1 億 6,430 万円 (19.5%) の増、公債費が全国防災事業債の元金償還開始等により 2,269 万 2 千円 (1.1%) の増となっています。

一方、衛生費はごみ処理施設基幹的設備改良事業の終了等により 6 億 9,999 万 4 千円 (19.8%) の減、民生費は障がい者支援施設「かわ舟の里角間川」改築事業費補助金の減等により 2 億 5,525 万 3 千円 (4.9%) の減、災害復旧費が災害復旧事業の終了により 2 億 4,464 万円 (94.8%) の減、土木費が冬期交通対策費の減等により 2 億 1,480 万 1

千円（14.6％）の減などとなっています。

(5) 歳出決算額の性質別状況は、「第5表」のとおりです。

性質別の歳出項目別決算構成比では、補助費等の18.5％（決算額40億5,047万8千円）、普通建設事業費の17.0％（決算額37億643万3千円）、人件費の12.9％（決算額28億1,008万2千円）、扶助費の11.4％（決算額25億53万9千円）、物件費の11.2％（決算額24億4,655万4千円）、公債費の9.8％（決算額21億4,495万6千円）の順となっています。

対前年度比較増減では、補助費等が大曲仙北広域市町村圏組合廃棄物処理費負担金等の増により11億4,680万円（39.5％）の増、普通建設事業費が総合給食センター建設事業等の増により10億9,716万4千円（42.0％）の増、積立金がふるさと納税寄附金を原資としたふるさと仙北応援基金積立金の増等により6億6,481万5千円（183.1％）の増、投資及び出資金が病院事業会計補助金の増等により3,165万5千円（10.8％）の増となりました。

一方、物件費が廃棄物処理の広域化に伴い5億254万1千円（17.0％）の減、災害復旧事業費が復旧事業の終了により2億4,753万3千円（94.8％）の減、維持補修費が除排雪関連経費等の減により2億2,971万8千円（41.9％）の減、人件費が定年退職に伴う職員の若年化に伴う減により9,073万6千円（3.1％）の減となっています。

財政構造の弾力性を示す経常収支比率は歳入額が普通交付税及び臨時財政対策債の減、歳出額では補助費等や公債費の増があったものの除排雪関連経費や人件費の減により前年度の99.5％を0.6ポイント下回る98.9％となっています。

(6) 市債の目的別現在高の状況は、「第6表」のとおりです。

平成30年度末の市債の現在高は206億976万9千円で、令和元年度中の市債借入額は34億3,853万9千円、同年度中の元金償還額は20億3,978万9千円、差引令和元年度末現在高は220億851万9千円となり、年度末現在高は前年度に比べ13億9,875万円増加しています。

3、特別会計決算の状況

(1) 令和元年度の特別会計決算は「第7表」のとおりです。

- ① 集中管理特別会計の決算状況は、歳入歳出とも33億8,430万9千円（前年度比4.9%減）となっています。
- ② 下水道事業特別会計の決算状況は、歳入総額6億5,372万4千円（前年度比13.1%減）に対し、歳出総額は6億3,861万7千円（前年度比15.1%減）で、歳入歳出差引額は1,510万7千円の黒字となっています。
歳入歳出差引額のうち翌年度に繰り越すべき財源は1万8千円（繰越明許費繰越額）で、実質収支額は1,508万9千円の黒字となっています。
- ③ 集落排水事業特別会計の決算状況は、歳入総額5億1,085万9千円（前年度比11.7%増）に対し、歳出総額は4億6,856万1千円（前年度比2.5%増）で、歳入歳出差引額は4,229万8千円の黒字となっています。
- ④ 浄化槽事業特別会計の決算状況は、歳入総額9,323万6千円（前年度比6.9%減）に対し、歳出総額は8,313万9千円（前年度比16.9%減）で、歳入歳出差引額は1,009万7千円の黒字となっています。
- ⑤ 国民健康保険特別会計の事業勘定の決算状況は、歳入総額31億84万6千円（前年度比3.0%減）に対し、歳出総額は27億3,157万1千円（前年度比7.7%減）で、歳入歳出差引額は3億6,927万5千円の黒字となっています。
国民健康保険税の収入状況は、「第3表」のとおりで、徴収率は現年課税分95.6%、滞納繰越分32.1%、合計で80.3%となっており、前年度徴収率の76.1%を4.2ポイント上回っています。
- ⑥ 田沢診療施設勘定の決算状況は、歳入総額632万7千円（前年度比48.6%減）に対し、歳出総額632万7円（前年度比48.3%減）で、歳入歳出差引額は0円となっています。
- ⑦ 神代診療施設勘定の決算状況は、歳入総額8,932万5千円（前年度比0.1%減）に対し、歳出総額は8,930万1千円（前年度比0.1%減）で、歳入歳出差引額は2万4千円の黒字となっています。
- ⑧ 後期高齢者医療特別会計の決算状況は、歳入総額3億1,201万1千円（前年度比0.9%減）に対し、歳出総額は3億1,099万2千円（前年度比1.0%減）で、歳入歳出差引額は101万9千円の黒字となっています。
- ⑨ 介護保険特別会計の決算状況は、歳入総額4億3,580万7千円（前年度比2.1%増）に対し、歳出総額は4億3,543万2千円（前年度比2.0%増）で、歳入歳出差引額は37万5千円の黒字となっています。
- ⑩ 生保内財産区特別会計の決算の状況は、歳入総額1億1,979万3千円（前年度比4.2%増）に対し、歳出総額は8,761万3千円（前年度比8.6%減）で、歳入歳出差引額は3,218万円の黒字となっています。

- ⑪ 田沢財産区特別会計の決算の状況は、歳入総額 5,648 万 6 千円（前年度比 16.4%増）に対し、歳出総額は 3,831 万 7 千円（前年度比 4.8%減）で、歳入歳出差引額は、1,816 万 9 千円の黒字となっています。
- ⑫ 雲沢財産区特別会計の決算の状況は、歳入総額 673 万 7 千円（前年度比 1.5%増）に対し、歳出総額は 483 万円（前年度比 2.7%減）で、歳入歳出差引額は 190 万 7 千円の黒字となっています。

第1表 一般会計決算収支の状況

(単位：千円)

区分	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額	翌年度に繰り越すべき財源				実質収支額
				継続費繰越額	繰越明許費繰越額	事故繰越額	計	
令和元年度	22,355,301	21,861,331	493,970	17,850	22,405	0	40,255	453,715
平成30年度	20,838,098	20,058,448	779,650	6,409	197,295	100	203,804	575,846
増減額	1,517,203	1,802,883	△ 285,680	11,441	△ 174,890	△ 100	△ 163,549	△ 122,131

第2表 一般会計歳入決算額の状況

(単位：千円・%)

区 分	決 算 額			決算額構成比		決算額増減率
	令和元年度	平成30年度	増 減 額	令和元年度	平成30年度	
市 税	2,703,846	2,723,836	△ 19,990	12.1	13.1	△ 0.7
地 方 譲 与 税	245,102	220,671	24,431	1.1	1.1	11.1
利 子 割 交 付 金	1,632	3,330	△ 1,698	0.0	0.0	△ 51.0
配 当 割 交 付 金	4,284	3,563	721	0.0	0.0	20.2
株式等譲渡所得割交付金	2,602	3,210	△ 608	0.0	0.0	△ 18.9
地方消費税交付金	491,557	524,777	△ 33,220	2.2	2.5	△ 6.3
自動車取得税交付金	29,660	44,643	△ 14,983	0.1	0.2	△ 33.6
環境性能割交付金	4,028	0	4,028	0.0	0.0	皆増
地方特例交付金	49,841	8,940	40,901	0.2	0.0	457.5
地方交付税	8,851,443	8,866,892	△ 15,449	39.6	42.6	△ 0.2
交通安全対策特別交付金	3,116	3,205	△ 89	0.0	0.0	△ 2.8
分担金及び負担金	49,278	97,271	△ 47,993	0.2	0.5	△ 49.3
使用料及び手数料	269,596	306,374	△ 36,778	1.2	1.5	△ 12.0
国庫支出金	1,601,565	1,736,464	△ 134,899	7.2	8.3	△ 7.8
県 支 出 金	1,144,105	1,163,290	△ 19,185	5.1	5.6	△ 1.6
財 産 収 入	26,922	23,520	3,402	0.1	0.1	14.5
寄 附 金	823,233	153,667	669,566	3.7	0.7	435.7
繰 入 金	1,358,633	1,384,362	△ 25,729	6.1	6.6	△ 1.9
繰 越 金	491,727	496,209	△ 4,482	2.2	2.4	△ 0.9
諸 収 入	764,592	802,097	△ 37,505	3.5	3.9	△ 4.7
市 債	3,438,539	2,271,777	1,166,762	15.4	10.9	51.4
合 計	22,355,301	20,838,098	1,517,203	100.0	100.0	7.3

第3表 市税の徴収実績の状況

(単位：千円・%)

区分 税目別	調定済額			収入済額			徴収率			
	現年課税分 A	滞納繰越分 B	合計 A+B=C	現年課税分 D	滞納繰越分 E	合計 D+E=F	現年 課税分 D/A	滞納 繰越分 E/B	合計 F/C	前年度に おける 徴収率
(1) 市 民 税	885,871	40,660	926,531	877,530	14,054	891,584	99.1	34.6	96.2	95.0
ア 個 人	760,068	37,279	797,347	752,728	13,047	765,775	99.0	35.0	96.0	94.7
イ 法 人	125,803	3,381	129,184	124,802	1,007	125,809	99.2	29.8	97.4	96.8
(2) 固 定 資 産 税	1,429,788	182,536	1,612,324	1,411,651	27,015	1,438,666	98.7	14.8	89.2	86.3
ア 純固定資産税	1,266,457	182,536	1,448,993	1,248,320	27,015	1,275,335	98.6	14.8	88.0	84.8
イ 交 付 金	163,331	0	163,331	163,331	0	163,331	100.0	0.0	100.0	100.0
(3) 軽 自 動 車 税	90,485	6,383	96,868	88,871	1,644	90,515	98.2	25.8	93.4	92.0
(4) 市 た ば こ 税	164,652	0	164,652	164,652	0	164,652	100.0	0.0	100.0	100.0
(5) 入 湯 税	117,228	8,973	126,201	117,228	1,201	118,429	100.0	13.4	93.8	92.9
(6) 都 市 計 画 税	0	17	17	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
合 計	2,688,024	238,569	2,926,593	2,659,932	43,914	2,703,846	99.0	18.4	92.4	90.3
国民健康保険税	490,597	155,155	645,752	468,949	49,882	518,831	95.6	32.1	80.3	76.1

第4表 一般会計歳出決算額（目的別）の状況

（単位：千円・％）

区 分	決 算 額			決算額構成比		決算額増減率
	令和元年度	平成30年度	増 減 額	令和元年度	平成30年度	
議 会 費	172,739	199,816	△ 27,077	0.8	1.0	△ 13.6
総 務 費	4,118,474	2,563,108	1,555,366	18.8	12.8	60.7
民 生 費	4,956,697	5,211,950	△ 255,253	22.7	26.0	△ 4.9
衛 生 費	2,841,790	3,541,784	△ 699,994	13.0	17.6	△ 19.8
労 働 費	69,131	73,697	△ 4,566	0.3	0.4	△ 6.2
農 林 水 産 業 費	1,240,825	1,285,117	△ 44,292	5.7	6.4	△ 3.4
商 工 費	908,323	921,630	△ 13,307	4.1	4.6	△ 1.4
土 木 費	1,260,038	1,474,839	△ 214,801	5.8	7.3	△ 14.6
消 防 費	1,008,538	844,238	164,300	4.6	4.2	19.5
教 育 費	3,126,390	1,561,935	1,564,455	14.3	7.8	100.2
災 害 復 旧 費	13,430	258,070	△ 244,640	0.1	1.3	△ 94.8
公 債 費	2,144,956	2,122,264	22,692	9.8	10.6	1.1
合 計	21,861,331	20,058,448	1,802,883	100.0	100.0	9.0

第5表 一般会計歳出決算額（性質別）の状況

（単位：千円・％）

区 分	決 算 額			決算額構成比		決算額増減率
	令和元年度	平成30年度	増 減 額	令和元年度	平成30年度	
人 件 費	2,810,082	2,900,818	△ 90,736	12.9	14.5	△ 3.1
うち職員給	1,924,377	2,011,508	△ 87,131	8.8	10.0	△ 4.3
物 件 費	2,446,554	2,949,095	△ 502,541	11.2	14.7	△ 17.0
維持補修費	319,013	548,731	△ 229,718	1.4	2.7	△ 41.9
扶 助 費	2,500,539	2,510,359	△ 9,820	11.4	12.5	△ 0.4
補 助 費 等	4,050,478	2,903,678	1,146,800	18.5	14.5	39.5
普通建設事業費	3,706,433	2,609,269	1,097,164	17.0	13.0	42.0
補助事業費	658,629	1,033,167	△ 374,538	3.0	5.2	△ 36.3
単 独 事 業 費	2,830,604	1,309,896	1,520,708	12.9	6.5	116.1
県営事業負担金	217,200	265,234	△ 48,034	1.0	1.3	△ 18.1
受 託 事 業 費	0	972	△ 972	0.0	0.0	皆減
災害復旧事業費	13,572	261,105	△ 247,533	0.1	1.3	△ 94.8
補助事業費	10,215	86,152	△ 75,937	0.0	0.4	△ 88.1
単 独 事 業 費	3,357	174,953	△ 171,596	0.0	0.9	△ 98.1
公 債 費	2,144,956	2,122,264	22,692	9.8	10.6	1.1
積 立 金	1,027,952	363,137	664,815	4.7	1.8	183.1
投資及び出資金	324,411	292,756	31,655	1.5	1.5	10.8
貸 付 金	382,900	384,500	△ 1,600	1.7	1.9	△ 0.4
繰 出 金	2,134,441	2,212,736	△ 78,295	9.8	11.0	△ 3.5
合 計	21,861,331	20,058,448	1,802,883	100.0	100.0	9.0

第6表 一般会計市債の目的別現在高の状況

(単位：千円)

区 分	平成30年度末 現在高 A	令和元年度末 発行高 B	令和元年度中元利償還額			差引現在高 A+B-C D	Dの借入先別内訳	
			元金 C	利子	計		政府資金	その他
1 総 務 債	873,306	778,100	132,626	1,861	134,487	1,518,780	450	1,518,330
2 民 生 債	339,256	21,600	34,035	1,798	35,833	326,821	64,831	261,990
3 衛 生 債	1,207,274	44,500	190,295	12,897	203,192	1,061,479	581,905	479,574
4 農 林 水 産 業 債	475,234	92,500	28,386	4,221	32,607	539,348	322,691	216,657
5 商 工 債	24,918	14,600	2,572	20	2,592	36,946	6,600	30,346
6 土 木 債	2,256,110	82,800	343,176	16,956	360,132	1,995,734	130,495	1,865,239
7 消 防 債	890,195	231,900	58,312	1,506	59,818	1,063,783	0	1,063,783
8 教 育 債	1,781,212	1,396,800	185,789	18,066	203,855	2,992,223	322,893	2,669,330
9 公 営 住 宅 債	181,716	0	37,215	2,795	40,010	144,501	144,501	0
10 辺 地 対 策 債	227,768	89,300	38,900	520	39,420	278,168	278,168	0
11 過 疎 対 策 債	3,581,111	326,300	215,188	6,182	221,370	3,692,223	3,482,123	210,100
12 災 害 復 旧 債	268,957	2,600	15,185	286	15,471	256,372	253,972	2,400
13 転 貸 債	487,409	0	44,113	1,519	45,632	443,296	0	443,296
14 減 税 補 て ん 債	54,054	0	13,198	198	13,396	40,856	40,856	0
15 臨 時 財 政 対 策 債	7,961,249	357,539	700,799	36,255	737,054	7,617,989	5,852,300	1,765,689
合 計	20,609,769	3,438,539	2,039,789	105,080	2,144,869	22,008,519	11,481,785	10,526,734

第7表 特別会計決算収支の状況

(単位：千円・%)

区 分	歳 入 総 額				歳 出 総 額				歳入歳出 差引額 A-B C	繰越事業費 繰越財源 D	実質収支額 C-D
	令和元年度 A	平成30年度	増 減 額	増減率	令和元年度 B	平成30年度	増 減 額	増減率			
集中管理特別会計	3,384,309	3,559,140	△ 174,831	△ 4.9	3,384,309	3,559,140	△ 174,831	△ 4.9	0	0	0
下水道事業特別会計	653,724	752,374	△ 98,650	△ 13.1	638,617	752,197	△ 113,580	△ 15.1	15,107	18	15,089
集落排水事業特別会計	510,859	457,362	53,497	11.7	468,561	457,292	11,269	2.5	42,298	0	42,298
浄化槽事業特別会計	93,236	100,121	△ 6,885	△ 6.9	83,139	100,030	△ 16,891	△ 16.9	10,097	0	10,097
国民健康保険特別会計 (事業勘定)	3,100,846	3,196,164	△ 95,318	△ 3.0	2,731,571	2,959,129	△ 227,558	△ 7.7	369,275	0	369,275
国民健康保険特別会計 (田沢診療施設勘定)	6,327	12,307	△ 5,980	△ 48.6	6,327	12,240	△ 5,913	△ 48.3	0	0	0
国民健康保険特別会計 (神代診療施設勘定)	89,325	89,420	△ 95	△ 0.1	89,301	89,350	△ 49	△ 0.1	24	0	24
後期高齢者医療特別会計	312,011	315,002	△ 2,991	△ 0.9	310,992	314,254	△ 3,262	△ 1.0	1,019	0	1,019
介護保険特別会計	435,807	426,898	8,909	2.1	435,432	426,751	8,681	2.0	375	0	375
生保内財産区特別会計	119,793	114,918	4,875	4.2	87,613	95,866	△ 8,253	△ 8.6	32,180	0	32,180
田沢財産区特別会計	56,486	48,515	7,971	16.4	38,317	40,257	△ 1,940	△ 4.8	18,169	0	18,169
雲沢財産区特別会計	6,737	6,637	100	1.5	4,830	4,962	△ 132	△ 2.7	1,907	0	1,907

4、主要施策の実績

(1) 一般会計

2 款 総 務 費 1 項 総 務 管 理 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
4,554,465,000	3,869,527,486	517,097,000	167,840,514	<p>○職員研修費 人材育成基本方針に則り、効果的・効率的な行政運営のため、職員の能力開発を図り、弾力的な組織体制づくりを目指す。</p>	<p>○職員研修費 8,221,965円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・派遣研修旅費 7,325,210円 <ul style="list-style-type: none"> 秋田県観光連盟 1人 秋田県企画振興部市町村課 1人 秋田県産業労働部産業集積課 1人 秋田県後期高齢者医療広域連合 1人 株式会社あきた食彩プロデュース 1人 北秋田市（内陸線再生支援室） 1人 ・職員研修旅費 718,805円 <ul style="list-style-type: none"> 新規採用職員研修（前期・後期） 24人 階層別職員研修 28人 能力開発研修 23人 市町村職員海外研修 1人 市町村職員中央研修所等研修 2人 防火管理者講習 4人 その他研修 2人 <p>個々のスキルアップが組織力の維持・向上に必要不可欠である。市独自の研修も活用し、さらなる実践力の向上を図った。</p>
				<p>○法規管理費 仙北市例規集のデータベース、追録の更新など、例規整備に関するサポートを受けながら、管理徹底を図る。</p>	<p>○法規管理費 3,119,104円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仙北市例規集追録作成 605,168円 <ul style="list-style-type: none"> 例規集70部（年4回更新） ・例規集データベース更新業務 2,038,300円 ・例規支援システム利用料 474,804円 <p>例規整備を円滑かつ的確に行うことができた。</p>

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				<p>○広報等発行費 読みやすく充実した内容の広報づくりを目指し、定期的に読者に大切な情報をお知らせする。</p>	<p>○広報等発行費 12,884,786円 ・広報編集委員報償費 75,000円 広報編集委員会議・広報作製・編集協力 ・広報せんぼく等印刷費 4,429,352円 広報せんぼく印刷（年24回×11,600部） ・広報紙等配布業務委託 7,481,760円 シルバー人材センターに配布を委託（事業所含む） 年24回発行の「広報せんぼく」を広報編集委員の助言と指導のもと、内容の充実した紙面作りをすることができた。配布については、委託により、すべて遅滞なく的確に全戸配布した。</p>
				<p>○行政連絡員費 地域と行政の橋渡し役として、行政連絡員を設置する。災害時や緊急時の情報伝達など、役割を限定して依頼する。</p>	<p>○行政連絡員費 1,877,000円 ・行政連絡員報償費 1,695,000円 5,000円×339人（一律5,000円） 災害発生時の地域内の連絡調整や日常の防災対策、地域の課題・要望、空き家情報の提供など、地域と行政との橋渡し役として業務を担っていただいた。</p>
				<p>○公式ウェブサイト管理費 仙北市の公式ウェブサイトの情報が定期的に更新され、正常で適正に稼働する状態にするため、保守業務を委託して行う。</p>	<p>○公式ウェブサイト管理費 606,672円 ・仙北市公式ウェブサイト保守業務委託 606,672円 年間を通じ公式ウェブサイトを正常かつ適正に稼働することができた。</p>
				<p>○地籍調査事業費 地籍調査（一筆地調査）を実施し、地籍簿、地籍図を作成する。</p>	<p>○地籍調査事業費 15,888,248円 ・地籍調査（一筆地調査） 調査面積 0.36km² 調査前筆数 795筆 調査後筆数 446筆 調査地 角館町八割伊勢堂、雷、西ヶ沢、坂ノ下、内山の各一部 ・地籍簿、地籍図の作成（平成30年度調査分） 調査面積 0.34km²</p>

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
					調査前筆数 942筆 調査後筆数 489筆 調査地 角館町雲然田中、八割字八割、下川原の各一部 正確な地図や台帳をすることにより、災害などで境界が不明になっても容易に復元でき境界紛争等トラブル防止につながっている。また、財産の明確化に寄与した。
				○普通財産等管理費 市の普通財産を適正に管理する。	○普通財産等管理費 18,390,704円 ・国土調査修正業務委託 2,080,538円 ・たざわ湖スキー場水沢ロマンスリフト整備工事 10,450,000円 境界紛争の回避と利便性を確保することができた。市有財産の良好な管理に寄与することができた。
				○庁舎整備事業費 新角館庁舎整備事業を実施する。	○庁舎整備事業費 797,188,360円 ・新角館庁舎建設工事等設計工事監理業務委託 9,620,000円 ・新角館庁舎仮設駐車場工事 7,448,760円 ・新角館庁舎建設工事 568,000,000円 ・新角館庁舎地中熱利用設備工事 211,097,000円 ・支障柱の移転工事 917,600円 新角館庁舎整備事業令和元年度分の工事を行った。
				○情報通信施設管理運営費 光ブロードバンド設備等の管理運営を行う。	○情報通信施設管理運営費 12,991,455円 ・設備に係る災害保険料 151,697円 ・光ファイバ通信設備保守委託・通信事業者設備との接続保管業務委託 6,025,312円 ・光ケーブル添架料及び地下管路使用料 3,742,346円 ・光伝送路移設工事 3,072,100円 市民等の高度情報化及び情報格差是正を図るため、情報インフラである光ブロードバンド設備等を安定利用できるよう管理運営した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要																																					
				計画	実績及び効果																																				
				○クニマス未来館管理運営費 田沢湖クニマス未来館の維持管理を行う。(平成29年7月1日開館)	○クニマス未来館管理運営費 14,790,292円 ・観覧料収入 3,218,940円 ・主な経費 事務員賃金(2人) 2,728,461円 飼育員賃金(2人) 3,404,464円 電気料 1,944,391円 チケット印刷代 168,800円 パンフレット印刷代 121,000円 多言語化案内システム委託 2,713,700円 【入館者数】(単位:人) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr><td>4月</td><td>1,582</td><td>8月</td><td>3,104</td><td>12月</td><td>222</td></tr> <tr><td>5月</td><td>2,587</td><td>9月</td><td>1,739</td><td>1月</td><td>347</td></tr> <tr><td>6月</td><td>2,133</td><td>10月</td><td>1,457</td><td>2月</td><td>314</td></tr> <tr><td>7月</td><td>1,498</td><td>11月</td><td>853</td><td>3月</td><td>464</td></tr> <tr><td colspan="5"></td><td>計</td><td>16,300</td></tr> </table> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr><td>前年度入館者数</td><td>18,164</td></tr> </table> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr><td>増</td><td>減</td><td>△ 1,864</td></tr> </table> 田沢湖クニマス未来館を良好に維持管理した。	4月	1,582	8月	3,104	12月	222	5月	2,587	9月	1,739	1月	347	6月	2,133	10月	1,457	2月	314	7月	1,498	11月	853	3月	464						計	16,300	前年度入館者数	18,164	増	減	△ 1,864
4月	1,582	8月	3,104	12月	222																																				
5月	2,587	9月	1,739	1月	347																																				
6月	2,133	10月	1,457	2月	314																																				
7月	1,498	11月	853	3月	464																																				
					計	16,300																																			
前年度入館者数	18,164																																								
増	減	△ 1,864																																							
				○思い出の潟分校管理運営費 思い出の潟分校の維持管理を行う。(平成29年4月1日より市管理)	○思い出の潟分校管理運営費 3,854,762円 ・観覧料収入 2,439,991円 ・主な経費 管理人賃金(2人) 2,346,214円 電気料 222,074円 チケット印刷代 77,000円 体育館窓ガラス修繕工事 21,802円 スズメバチ駆除 118,400円																																				

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要																																
				計画	実績及び効果																															
					<p>【入館者数】（単位：人）</p> <table border="1"> <tr> <td>4月</td><td>728</td><td>8月</td><td>1,669</td><td>12月</td><td>204</td> </tr> <tr> <td>5月</td><td>3,055</td><td>9月</td><td>866</td><td>1月</td><td>215</td> </tr> <tr> <td>6月</td><td>1,089</td><td>10月</td><td>1,077</td><td>2月</td><td>287</td> </tr> <tr> <td>7月</td><td>1,074</td><td>11月</td><td>1,301</td><td>3月</td><td>286</td> </tr> <tr> <td colspan="5"></td><td>計</td><td>11,851</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">前年度入館者数 11,020</p> <p style="text-align: right;">増 減 831</p> <p>思い出の潟分校を良好に維持管理した。</p>	4月	728	8月	1,669	12月	204	5月	3,055	9月	866	1月	215	6月	1,089	10月	1,077	2月	287	7月	1,074	11月	1,301	3月	286						計	11,851
4月	728	8月	1,669	12月	204																															
5月	3,055	9月	866	1月	215																															
6月	1,089	10月	1,077	2月	287																															
7月	1,074	11月	1,301	3月	286																															
					計	11,851																														
				<p>○総合行政情報システム管理費 総合行政システム（住民記録、市税、国民健康保険等基幹系業務）、財務会計システム、情報通信ネットワーク等を維持管理する。 また、市民を対象としたパソコン操作スキルアップのためパソコン講座を開催する。</p>	<p>○総合行政情報システム管理費 139,073,052円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・需用費（基幹系プリンタートナー等） 1,838,806円 ・役務費（保守用電話回線等） 1,149,495円 ・委託料 36,376,156円 <ul style="list-style-type: none"> 基幹系システム保守業務委託 22,523,760円 財務会計等システム保守業務委託 3,296,160円 IP-PBX保守業務委託 1,178,376円 情報通信ネットワークシステム保守業務委託 7,521,000円 その他業務委託 1,856,860円 ・使用料及び賃借料 92,892,012円 <ul style="list-style-type: none"> 基幹系業務システム使用料 18,115,800円 インターネット接続サービス利用料 3,662,400円 資産管理システム保守サポート 1,250,640円 情報通信回線等利用料 5,189,681円 基幹系・住基ネットシステム賃借料 18,055,790円 パソコン・プリンタ等賃貸借 17,642,102円 角館・西木・田沢湖ネットワーク関係等機器更改 11,199,168円 庁内IP電話機器更改 7,978,176円 																															

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
					情報系サーバ等機器類賃貸借 6,661,920円 資産管理システム賃貸借 1,105,488円 その他使用料及び賃借料 2,030,847円 ・工事請負費 4,918,920円 イントラネット光ケーブル移設等 ・備品購入費 148,500円 オフィスライセンス ・負担金 1,749,163円 秋田県情報セキュリティクラウド運営経費負担金等 基幹系システムや一般事務用機器等について、制度改正や耐用年数経過、技術革新等に対応するため、保守委託、機器更改等を行い、事務の効率化や情報漏洩等へのリスク対策、住民サービスの向上等を行った。
				○地域カステップアップ事業費 「市民が主役のまちづくり」を進め、地域の存続及び市が将来にわたり持続可能な自治体となることを目指す。	○地域カステップアップ事業費 466,700円 ・協働によるまちづくり推進委員会(委員数10名)を開催し、審査のうえ1団体に協働によるまちづくり提案型補助金を交付した。 委員謝礼 40,000円 まちづくり提案型補助金(1件) 200,000円 市民団体が地域の活性化や課題の解決に向け、自ら企画したまちづくり事業を実施し、協働のまちづくりを推進した。
				○行政改革推進費 組織再編、指定管理者制度に関する業務を行い、より迅速で適切な対応ができる行政経営システムの構築を目指す。	○行政改革推進費 170,000円 ・指定管理候補者選定委員会委員謝礼 15,000円 (5,000円×3人分×1回分) ・にしき園運営検討委員会委員謝礼 20,000円 (5,000円×2人分×2回分) ・第三セクター運営アドバイザー謝礼 75,000円 (25,000円×1人分×3ヶ月分) 組織再編や民間委託など、業務改革の取組を進めた。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				<p>○定住対策推進事業費 空き家情報バンクの利用促進や首都圏での移住フェア等への参加、移住者向け情報パンフレットによる情報発信、移住者の定住支援を目的とした奨励金の交付、ふるさとサポーターとの情報交換・支援依頼を行う。</p>	<p>○定住対策推進事業費 1,035,404円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住フェア、ふるさとサポーター会議等への参加旅費 141,460円 ・消耗品、印刷機使用料、郵便料、宅急便代等 192,674円 ・移住定住ガイドブック「おかえり」作成 106,380円 ・定住促進奨励金（12件） 594,890円 <p>空き家情報バンクへの新規空き家登録数〔8件〕、新規利用登録者数〔15件〕、バンク内成約件数〔9件〕のうち県外からの移住者〔1件〕があり、移住者の増加と定住に寄与した。</p>
				<p>○姉妹都市等交流推進費 姉妹都市や友好都市等との更なる交流の拡大を図り、今後市民レベルでの自主的な交流ができるよう支援する。</p>	<p>○姉妹都市等交流推進費 873,133円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大村市姉妹都市提携40周年記念式典 <ul style="list-style-type: none"> 会場使用料 80,000円 委託料 101,196円 印刷製本費 119,193円 その他 187,256円 ・常陸太田市「常陸秋そばフェスティバル物産展」 <ul style="list-style-type: none"> 参加者旅費（2人） 52,400円 その他 39,857円 わらび座ミュージカル観劇料（記念事業） 100,000円 ・大村市姉妹都市連携記念物産展 <ul style="list-style-type: none"> 参加者旅費 90,110円 車両借り上げ料 60,258円 その他 36,277円 <p>物産展等を通じ、姉妹都市、有縁都市提携の縁を再認識し、交流の拡大を図るとともに本市の観光宣伝等に寄与した。</p>
				<p>○男女共同参画推進事業費 男女が社会の対等な構成員として、社会のあらゆる分野で共に活動に参画し、利益を得、責任を担う社会を築き上げるため、啓発等の事業を実施する。</p>	<p>○男女共同参画推進事業費 168,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画推進委員報償費 125,000円 <p>女性活躍推進事業と連携した取り組みを実施。男女共同参画社会の形成に向けた、男女共同参画社会に係る教育現場の視察研修の実施やジェンダーに関する出前講座を開催した。</p>

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○クニマス里帰りプロジェクト事業費 西湖で発見されたクニマスに係る調査研究等の情報提供と富士河口湖町との友好関係を構築する交流事業を実施する。	○クニマス里帰りプロジェクト事業費 1,102,266円 ・田沢湖再生検討会 ・プロジェクトアドバイザーによる調査事業 ・田沢湖クリーンアップ活動 ・西湖・田沢湖姉妹湖提携交流事業 (子ども交流事業 参加生徒6人) 地元識者及びアドバイザーの意見を組み入れることにより、田沢湖再生に向けたプロジェクトを進行させた。また、西湖との連携により、将来の田沢湖再生を担う人材の育成と情報の交換を行った。
				○再生可能エネルギー導入促進事業費 EV（電気自動車）及びEV用充電器の維持管理を行う。また、再生可能エネルギー導入に向けた取組を推進する。	○再生可能エネルギー導入促進事業費 725,022円 ・EV（電気自動車）及びEV用充電器の維持管理 ・地熱資源開発に向けた自治体連絡協議会への参加 新たに導入の可能性の高い「地熱エネルギー」について、自治体間で共通の認識を持った。
				○社会保障・税番号制度システム整備費 社会保障及び税番号制度システムを整備・運用する。	○社会保障・税番号制度システム整備費 6,682,500円 ・社会保障・税番号制度システム整備委託 1,369,500円 ・中間サーバ・プラットフォームASPサービス委任交付金 5,313,000円 情報連携環境を整備し、インターネットを活用した行政サービスを拡充した。
				○ふるさと納税ふるさと便事業費 ふるさと納税を通して仙北市の特産品を返礼することで、その魅力を全国にPRするとともに、仙北市の産業振興と観光促進を図る。	○ふるさと納税ふるさと便事業費 412,500,456円 ・事務補助賃金(1人) 1,714,715円 ・返礼品代、送料 273,491,736円 ・決済手数料 2,215,928円 ・業務委託料 129,004,418円 ・その他 6,073,659円

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要										
				計画	実績及び効果									
					<p>・ふるさと納税申込件数及び金額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>45,670件</td> <td>5,662件</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>821,721,700円</td> <td>151,299,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>寄付金額が前年度比443%の増となった。本市の魅力を全国にPRすることができた。</p>		令和元年度	平成30年度	件数	45,670件	5,662件	金額	821,721,700円	151,299,000円
	令和元年度	平成30年度												
件数	45,670件	5,662件												
金額	821,721,700円	151,299,000円												
			<p>○地域おこし協力隊事業費 自然豊かな地域での生活や地域社会へ貢献することを求める都市地域の人材を積極的に誘致し、地域協力活動に従事してもらいながら定住・定着を図る。</p>	<p>○地域おこし協力隊事業費 12,783,181円</p> <p>①ユニバーサルツーリズム推進 1人 ②秋田内陸線活性化 1人 ③近未来技術活用 1人 ④グリーンツーリズム・農泊関連事業推進 1人</p> <p>・社会保険料、雇用保険料 595,753円 ・賃金（一般非常勤職員） 3,833,770円 ・報償費（非雇用隊員） 4,840,000円 ・研修旅費 462,816円 ・活動車燃料代、消耗品等 196,870円 ・傷害保険料、手数料等 45,240円 ・住宅借上料、活動車借上料 2,808,732円</p> <p>隊員はそれぞれの活動テーマで地域活性化の取り組みを行っている。隊員同士の連携による地域活動及び情報発信など、活動の範囲を広げ、地域の活性化に寄与した。</p>										
			<p>○地方創生推進事業費 地方創生特区の規制緩和メニューの活用や認定事業の進捗管理及び特区の周知に取り組む。</p>	<p>○地方創生推進事業費 1,064,042円</p> <p>・ドローン飛行エリア草刈り作業賃金 54,600円 ・総合戦略アドバイザー等謝礼 40,000円 ・特区関連会議及び講演、打ち合わせ旅費 582,140円 ・消耗品、コピー代、郵便料等 387,302円</p> <p>ドローン講習会（7人）を開催。ドローン飛行エリア利用者数88人。国土交通省スマートシティ先行モデルプロジェクトに選定され、企業等とコンソーシアムを結成して事業を実施。内閣府近未来技術等社会実装事業に選定され、関係省庁等のサポートを受けられる体制を構築した。</p>										

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○出会い・結婚支援事業費 結婚に対して夢と希望を持てるライフプランを描くことができるよう総合的な情報発信と、地域における結婚支援の機運を醸成する。	○出会い・結婚支援事業費 283,887円 ・あきた結婚支援センター運営費負担金 147,000円 ・出会いのきっかけ応援イベント補助金(1件) 100,000円 ・印刷機使用料、郵便料 36,887円 あきた結婚支援センターと協力し、出張センターの開設を通じて広域的に結婚支援活動を実施した。出会いの機会を創出するイベントを実施する団体に補助金を交付し、結婚のきっかけづくりを支援した。
				○総合政策審議会費 仙北市総合政策審議会を開催し、第2次仙北市総合計画、総合戦略の進捗状況・効果検証等について審議する。	○総合政策審議会費 61,877円 ・第1回総合政策審議会 令和2年2月17日 第2次仙北市総合計画及び総合戦略の進捗状況・効果検証等について審議いただいた。
				○人と事業が集まり育つ未来創生事業費(地方創生推進交付金) 近未来技術を活用した新たな産業づくり支援協議会の運営、近未来産業の普及活動、起業と事業化支援を行い、地元へ根ざした企業育成と自立した新たな産業の創出を図る。	○人と事業が集まり育つ未来創生事業費 2,879,635円 ・協議会出席謝礼 35,000円 ・協議会出席に係る費用弁償 42,793円 ・消耗品、コピー代、郵便料等 163,327円 ・ドローン飛行エリア整備砂利代 51,480円 ・委託料 ①近未来技術実証実験誘致広告作成 95,700円 ②事業創造研修会等企画運営 2,491,335円 実証実験誘致を図るため、ポスター・チラシを作成し、全国の商工会議所、IT企業等へ配布。また、近未来技術や地域資源を活用した起業や事業拡張に向けた研修会及び個別相談会を開催し、市内事業者等を支援した。
				○温泉×健康によるヘルスケア推進事業費(地方創生推進交付金)	○温泉×健康によるヘルスケア推進事業費 6,773,871円 ・協議会出席謝礼 120,000円 ・まるごと温泉健康サミット講師等謝礼 25,000円 ・消耗品、コピー代、郵便料等 311,890円 ・委託料 ①健康増進ガイド「温さんぽMAP」多言語化及び印刷

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
					<p style="text-align: right;">1,999,080円</p> <p>②次世代ヘルスケアツーリズム海外プロモーション企画運営 3,789,901円</p> <p>③疲労ストレス測定器保守点検 528,000円</p> <p>仙北市次世代ヘルスケア産業推進協議会（協議会2回実施）、事業発表会開催、温泉・散歩マップ多言語化、中国観光博でのプロモーションを実施。また、市内4つの温泉施設に設置した疲労ストレス測定器の利用を市民に呼びかけ、入浴前後の数値比較により、温泉入浴効果の検証と市民の健康づくりに寄与した。</p>
				<p>○農業IoT・水素利用による産業創造事業費（地方創生推進交付金）</p> <p>農業IoTの推進及び水素エネルギーの活用を軸に、農業振興、IoTやエネルギーに係る産業振興、地域コミュニティの再生、農地や田沢湖の再生等に向けて複合的に持続可能な開発目標（SDGs）を達成し、地域課題解決の加速化を図る。</p>	<p>○農業IoT・水素利用による産業創造事業費 20,635,343円</p> <p>・消耗品、コピー代、郵便料等 157,369円</p> <p>・委託料</p> <p>①農業IoT導入プログラム企画・運営 3,996,000円</p> <p>②水素圧入装置製作 583,000円</p> <p>③玉川温泉水からの水素生成に関する調査研究 3,000,000円</p> <p>④玉川温泉水からの水素生成パイロットプラント設計 4,902,920円</p> <p>⑤ドローンによる農産物生育調査・農産物運搬実証 3,733,400円</p> <p>⑥農業IoT運営事業者育成 2,876,654円</p> <p>・燃料電池マルチ電源システム及び水素吸蔵合金キャニスター（備品購入） 1,386,000円</p> <p>農家民宿から直売所までドローンによる野菜の運搬実証、水稲栽培における農業IoTの活用と事業者育成、玉川温泉水からの水素生成と成果報告会により、市民等へ農業IoTの利便性および将来的な水素エネルギーの活用の可能性を市民等に示すことができた。</p>

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				<p>○持続可能な開発目標（SDGs）推進事業費</p> <p>仙北市は、国連で採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」を積極的に推進する自治体の一つとして、2018年6月に「SDGs未来都市」に選定された。2030年までに達成すべき世界共通の17の目標について、市民や関係団体等に理解を深めてもらうための啓発活動や、持続可能なまちづくりを推進する取り組みを展開する。</p>	<p>○持続可能な開発目標（SDGs）推進事業費 1,702,658円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6/29 SDGs・ユニバーサルシンポジウム ※(一財)自治総合センター助成事業 <ul style="list-style-type: none"> ・講師等謝礼 1,284,000円 ・消耗品、講師昼食代、新聞広告料、保険料 171,809円 ・周知用広告作成委託料 76,896円 ・1/16 東北SDGs未来都市サミット・シンポジウムほか <ul style="list-style-type: none"> ・講師等謝礼 55,000円 ・SDGs関連旅費 49,862円 ・消耗品、印刷機使用料、郵便料等 65,091円 <p>市民向けシンポジウム（6/29参加者140人、1/16参加者260人）を開催し、SDGs未来都市計画に掲げる「ユニバーサルデザインのまちづくりによるホスピタリティの向上」とSDGsの普及浸透に寄与した。また、SDGs未来都市の選定を受けた東北の5都市が連携して、東北からSDGsを推進・発信し、持続可能なまちづくりを加速化する相乗効果を生み出した。</p>
				<p>○地域運営体活動推進費交付金</p> <p>地域の特性を活かした自主的、主体的な活動により、地域が抱えている様々な課題を解決したり、所得や生活基盤の向上を図るための事業を行うことで、元気で住みやすく魅力ある地域にするための地域自治組織である地域運営体に財政的支援を行う。</p>	<p>○地域運営体活動推進費交付金 31,775,300円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域運営体別交付額（設立順） ①田沢地域運営体「荷葉」（H22.4.1設立） 3,435,053円 むらの喫茶店「たざわ」運営事業 他 ②白岩地域運営体（H22.8.1設立） 3,024,004円 抱返り地区不法投棄防止フェンス設置事業 他 ③桜木内地域運営体（H22.8.22設立） 2,710,048円 敬老を祝う会事業 他 ④神代地域運営体（H22.9.5設立） 3,903,207円 抱返り紅葉祭連携事業 他 ⑤西明寺地域運営体（H22.10.24設立） 3,155,034円 地域防災用備品購入事業 他 ⑥雲沢地域運営体（H22.12.12設立） 3,508,418円 集会施設補修支援事業 他 ⑦生保内地域運営体「嶽の会」（H23.1.29設立） 4,635,295円

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
					敬老会開催事業 他 ⑧中川地域運営体 (H23. 4. 16設立) 2,536,901円 山谷薬師散策路補修事業 他 ⑨角館まちづくり地域運営体 (H23. 11. 27設立) 4,867,340円 花で彩る町づくり支援事業 他 地域ごとの課題解決や魅力増進、所得向上などに向けた事業が展開され、自主的なまちづくりの推進に寄与した。
				○定住対策新婚世帯家賃助成事業費補助金 新婚世帯が賃貸住宅等で暮らす場合の家賃を補助することで、人口の流出を防ぎ、流入を増やす。	○定住対策新婚世帯家賃助成事業費補助金 10,736,000円 ・継続 39件 8,100,500円 ・新規 17件 2,635,500円 新婚世帯の他市町村への流出を抑制するとともに、若者の定住を推進し、地域コミュニティの活性化に寄与した。
				○次世代定住支援事業費補助金 子育て世帯や45歳以下の夫婦が、必要経費を全額負担して新築又は建売住宅を購入する場合に補助し、次世代の定住・移住を促進する。	○次世代定住支援事業費補助金 17,900,000円 ・定住世帯 29件 11,600,000円 ・子育て加算 4,400,000円 ・市内施工業者加算 1,900,000円 次世代世帯の定住を促進するとともに他市町村への流出を抑制し、地域コミュニティの活性化に寄与した。
				○秋田内陸線通学定期補助金 通学のために秋田内陸線を利用する市内中高生等の定期券購入に対し助成する。	○秋田内陸線通学定期補助金 1,138,200円 ・実績 17人 内陸線定期運賃とJR定期運賃の差額分を補助することで、市内に定住する子育て世帯の通学費の負担を軽減することができた。
				○ドローンテクニカルチャレンジ in 仙北市競技会補助金 災害時に的確にドローンを操縦する技術を競い高めることにより、災害現場における生命の確保はもとより、近未来技術実証特区としてドローンの	○ドローンテクニカルチャレンジ in 仙北市競技会補助金 200,000円 【ブレ大会】本大会に向けた宣伝効果を期待し、6/1角館玉川河川敷で開催。レース用ドローンによる本格的レース。市内1人、市外4人。来場者約15人。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				<p>活用の可能性を広げ、これに関わる人材育成を支援することを目的として、競技会運営経費補助金を交付し、市民の近未来技術に対する理解と浸透、賑わいの創出に寄与する。</p>	<p>【本大会】ドローンの操縦技術を高めることと併せて、新規参入も目的として、経験者部門・初心者部門の2部門を設定。11/23角館交流センターで開催。市内6人、市外15人。来場者約50人。県内外から参加者があり、プレ大会にはレース用ドローンの実力者が集い、本大会には家族連れも見られた。市のドローンに関する積極的な取組としてPRができた。</p>
				<p>○地域振興事業費 各地域センターにおいて、地域住民の要望や災害発生等により緊急に対応すべき案件に迅速に対処する。</p>	<p>○地域振興事業費 11,067,056円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田沢湖地区 9件 2,958,808円 ・角館地区 13件 2,850,181円 ・西木地区 9件 2,990,067円 <p>【繰越明許分】 2,268,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田沢湖地区 1件 2,268,000円 <p>地域からの要望や災害時の応急対応など、3地区で合計32件の対応を行った。各要望に速やかに対応できたことで、地域の安心、安全の向上に寄与した。</p>
				<p>○交通安全推進費 通学児童生徒及び高齢者を主対象に交通事故防止を推進する。また、関係団体と連携し、運転者の安全運転及び飲酒運転撲滅を図る。</p>	<p>○交通安全推進費 653,475円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新入学児童・園児黄色い帽子購入(242個) 185,807円 ・交通指導車維持管理(車検代、保険料等) 177,760円 <p>通学児童生徒及び高齢者を主対象に交通事故防止を推進した。また、関係団体と連携し、運転者の安全運転及び飲酒運転撲滅を推進した。</p>
				<p>○街灯費 街灯の新設・撤去及び既存街灯の維持管理を行う。</p>	<p>○街灯費 18,556,597円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気料(街灯2,385基分) 11,990,198円 ・既存街灯の維持管理(38ヶ所) 492,942円 ・街灯の設置(24ヶ所) 486,000円 <p>適切に維持管理を実施し、安全安心な生活環境の向上に寄与した。</p>

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○防犯関係費 防犯団体による犯罪被害防止・安心安全なまちづくりを推進する。	○防犯関係費 1,943,127円 ・防犯指導員報酬(23名) 910,800円 ・防犯指導員費用弁償 217,800円 ・防犯指導隊活動時啓発物品購入代 20,648円 ・仙北地区少年保護育成委員会助成金 210,000円 ・仙北市防犯協会負担金 530,000円 各防犯関係団体と連携し、犯罪被害防止を推進した。
				○LED街灯ESCO事業費 町内会等の街灯について、LED照明を導入する。契約はLED照明への改修工事や保守を含む内容とし、平成26年8月からESCOサービスを開始。(令和6年7月まで)	○LED街灯ESCO事業費 4,704,426円 ・LED街灯ESCO事業委託料 4,704,426円 街灯のLED化により、二酸化炭素排出量と電気料負担等の低減に寄与した。
				○LED照明導入事業費 既存の街灯1,855基をLED街灯に更新し、平成26年3月からLED街灯賃貸借を開始。(令和6年2月まで)	○LED照明導入事業費 5,458,572円 ・LED街灯賃貸借料 5,458,572円 街灯のLED化により、二酸化炭素排出量と電気料負担等の低減に寄与した。
				○街灯LED化整備事業費 町内会等の街灯について、地球温暖化対策の推進と維持管理費の低減を図るため、エネルギー消費の少ないLEDに更新する。	○街灯LED化整備事業費 4,620,000円 ・仙北市町内会街灯LED化工事(47基) 4,620,000円 街灯のLED化により、地球温暖化対策の推進と維持管理費の低減に寄与した。
				○防犯カメラ設置事業費 犯罪の防止、予防、発生後の事件の解明等を目的に、公共空間等に防犯カメラを設置する。	○防犯カメラ設置事業費 56,258円 ・防犯カメラ維持管理(電気料) 56,258円 犯罪の防止、予防、発生後の事件の解明に寄与した。
				○街灯防犯灯新設団体補助金 町内管理のLED街灯新設に対して助成する。	○街灯防犯灯新設団体補助金 99,900円 ・防犯灯新設団体補助金(2町内会2基新設) 99,900円 街灯防犯灯の新設により、町内での防犯対策に寄与した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要																									
				計画	実績及び効果																								
				<p>○生活路線代替バス運行費 民間バス事業者の路線廃止に伴い、地域と学校、医療機関等を結ぶ市民バス及びデマンド型乗合タクシーの運行を行う。</p>	<p>○生活路線代替バス運行費 51,162,448円</p> <p>・市民バス（向生保内線） ※指定管理者</p> <p>①事業概要 運行日数 294日 1日平均乗車数 19.8人</p> <table border="1"> <tr><td>大人利用者</td><td>4,509人</td></tr> <tr><td>子供利用者</td><td>1,302人</td></tr> <tr><td>合計</td><td>5,811人</td></tr> </table> <p>②事業収支収入 県補助金 1,661,000円</p> <p>支出</p> <table border="1"> <tr><td>運行維持費</td><td>3,691円</td></tr> <tr><td>運転委託費</td><td>6,625,500円</td></tr> <tr><td>合計</td><td>6,629,191円</td></tr> </table> <p>・市民バス（中川線及び下延八割線） ※指定管理者</p> <p>①事業概要 運行日数 294日 1日平均乗車数 86.2人</p> <table border="1"> <tr><td>大人利用者</td><td>13,621人</td></tr> <tr><td>子供利用者</td><td>11,711人</td></tr> <tr><td>合計</td><td>25,332人</td></tr> </table> <p>②事業収支収入 県補助金 2,992,000円</p> <p>支出</p> <table border="1"> <tr><td>運行維持費</td><td>350,596円</td></tr> <tr><td>運転委託費</td><td>13,710,000円</td></tr> <tr><td>合計</td><td>14,060,596円</td></tr> </table> <p>・デマンド型乗合タクシー</p> <p>①事業概要 運行日数(各社平均) 291日 1日平均乗車数 93.3人</p>	大人利用者	4,509人	子供利用者	1,302人	合計	5,811人	運行維持費	3,691円	運転委託費	6,625,500円	合計	6,629,191円	大人利用者	13,621人	子供利用者	11,711人	合計	25,332人	運行維持費	350,596円	運転委託費	13,710,000円	合計	14,060,596円
大人利用者	4,509人																												
子供利用者	1,302人																												
合計	5,811人																												
運行維持費	3,691円																												
運転委託費	6,625,500円																												
合計	6,629,191円																												
大人利用者	13,621人																												
子供利用者	11,711人																												
合計	25,332人																												
運行維持費	350,596円																												
運転委託費	13,710,000円																												
合計	14,060,596円																												

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要													
				計画	実績及び効果												
					<table border="1"> <tr> <td>大人利用者</td> <td>18,757人</td> </tr> <tr> <td>子供利用者</td> <td>8,384人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>27,141人</td> </tr> </table> ②事業収支収入 <table border="1"> <tr> <td>県補助金</td> <td>6,577,000円</td> </tr> </table> 支出 <table border="1"> <tr> <td>運行維持費</td> <td>28,779,836円</td> </tr> </table> <p>民間バス事業者の路線廃止に伴い、市民バス及びデマンド型乗合タクシーを運行し、各地域と学校や医療機関、活動拠点などをつなぎ、生活実態に応じた路線の確保と交通の利便性を確保した。</p>	大人利用者	18,757人	子供利用者	8,384人	合計	27,141人	県補助金	6,577,000円	運行維持費	28,779,836円		
大人利用者	18,757人																
子供利用者	8,384人																
合計	27,141人																
県補助金	6,577,000円																
運行維持費	28,779,836円																
			○生活バス路線対策費 日常生活上の交通手段の確保のため、民間バス事業者の運営に対し補助を行う。	○生活バス路線対策費 41,802,083円 ・生活バス路線等維持費補助金 41,798,000円 対象 市内4系統（羽後交通株式会社） （財源内訳） 県補助金 925,000円 一般財源 40,873,000円 民間が運行している路線バスは、市内はもとより他市町をつなぐ生活交通としての役割を担っている。補助金の交付により日常の移動が困難な交通弱者など、市民が生活を維持する上で重要な交通路線を確保した。													
			○生活路線代替バス購入費 老朽化したスマイルバスを更新する。	○生活路線代替バス購入費 20,717,683円 ・仙北市民バス購入費 20,611,823円 スマイルバス <table border="1"> <thead> <tr> <th>運行路線</th> <th>車両番号</th> <th>取得日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">中川・下延・八割</td> <td>秋田200さ401</td> <td>R2.2.19</td> </tr> <tr> <td>秋田200は321</td> <td>H26.1.23</td> </tr> <tr> <td>秋田200さ867</td> <td>H19.9.10</td> </tr> <tr> <td>予備車両</td> <td>秋田200さ868</td> <td>H19.9.10</td> </tr> </tbody> </table> 老朽化したスマイルバスを適正に更新することができた。	運行路線	車両番号	取得日	中川・下延・八割	秋田200さ401	R2.2.19	秋田200は321	H26.1.23	秋田200さ867	H19.9.10	予備車両	秋田200さ868	H19.9.10
運行路線	車両番号	取得日															
中川・下延・八割	秋田200さ401	R2.2.19															
	秋田200は321	H26.1.23															
	秋田200さ867	H19.9.10															
予備車両	秋田200さ868	H19.9.10															
			○地域公共交通対策費 地域公共交通利活用の推進を図る	○地域公共交通対策費 369,098円 ・免許返納制度補助金 113,700円													

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要																																
				計画	実績及び効果																															
				ため、免許返納制度に伴う免許返納者に対して、市内公共交通において使用できる回数券を交付する。	交付者数 201人 <table border="1"> <tr><td>平成26年度</td><td>10</td></tr> <tr><td>平成27年度</td><td>21</td></tr> <tr><td>平成28年度</td><td>42</td></tr> <tr><td>平成29年度</td><td>31</td></tr> <tr><td>平成30年度</td><td>42</td></tr> <tr><td>令和元年度</td><td>55</td></tr> </table> 免許返納した高齢者等の地域公共交通利用の増に繋がった。	平成26年度	10	平成27年度	21	平成28年度	42	平成29年度	31	平成30年度	42	令和元年度	55																			
平成26年度	10																																			
平成27年度	21																																			
平成28年度	42																																			
平成29年度	31																																			
平成30年度	42																																			
令和元年度	55																																			
			○秋田内陸縦貫鉄道(株)運営費補助金 日常生活上の交通手段の確保及び観光産業の活性化のため、秋田内陸縦貫鉄道(株)の運営に対し四者合意に基づき、補助を行う。	○秋田内陸縦貫鉄道(株)運営費補助金 79,800,000円 ・鉄道路線(角館駅～鷹巣駅) 94.2km 輸送人員実績(単位:人) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>4～9月</th> <th>10～3月</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">R01</td> <td>輸送人員</td> <td>139,874</td> <td>123,798</td> <td>263,672</td> </tr> <tr> <td>うち外国人</td> <td>22,827</td> <td>26,318</td> <td>49,145</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H30</td> <td>輸送人員</td> <td>133,137</td> <td>127,700</td> <td>260,837</td> </tr> <tr> <td>うち外国人</td> <td>9,839</td> <td>18,753</td> <td>28,592</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">増減</td> <td>輸送人員</td> <td>6,737</td> <td>△ 3,902</td> <td>2,835</td> </tr> <tr> <td>うち外国人</td> <td>12,988</td> <td>7,565</td> <td>20,553</td> </tr> </tbody> </table> ※外国人実績については団体旅行実績数値 (財源内訳) 県補助金 20,000,000円 過疎対策債 59,800,000円 経常損益△2億円以内を達成した。輸送人員は全体数、外国人数共に増加し、特に外国人利用客は前年対比で71.9%の増加となっておりインバウンド対策の効果が続いている。	区分		4～9月	10～3月	計	R01	輸送人員	139,874	123,798	263,672	うち外国人	22,827	26,318	49,145	H30	輸送人員	133,137	127,700	260,837	うち外国人	9,839	18,753	28,592	増減	輸送人員	6,737	△ 3,902	2,835	うち外国人	12,988	7,565	20,553
区分		4～9月	10～3月	計																																
R01	輸送人員	139,874	123,798	263,672																																
	うち外国人	22,827	26,318	49,145																																
H30	輸送人員	133,137	127,700	260,837																																
	うち外国人	9,839	18,753	28,592																																
増減	輸送人員	6,737	△ 3,902	2,835																																
	うち外国人	12,988	7,565	20,553																																
			○収納推進費 市税をはじめ未収金の解消に向け組織的に対処するための取り組みを行う。	○収納推進費 12,720,016円 ・特別徴収専門員雇用経費(雇用実人数6名) 共済費及び賃金 10,472,381円 特別徴収専門員訪問実績 訪問件数 4,800件 徴收件数 2,064件																																

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
					<p>訪問徴収額 23,684,110円(督促料・延滞金含む) 特別徴収専門員による訪問徴収実績は上記のとおりだが、訪問したことにより窓口等での自主納付にもつながっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・催告・滞納処分等業務経費 <ul style="list-style-type: none"> 徴収消耗品、燃料代、封筒印刷等 732,950円 催告等郵便料、調査手数料等 496,839円 徴収車リース料 560,046円 クレジット納付サービス基本料 457,800円 財産調査・滞納処分等実績 <ul style="list-style-type: none"> 財産調査件数 674件 滞納処分件数 105件 <p>市税等未納者への催告や滞納処分等を強化し、目標収納率を達成した。</p>
				<p>○集落集会所建設事業費補助金</p> <p>集落が行う集落会館の水洗化や増改築等の事業に対し、費用の一部を補助することにより会館の利便性向上を図り、地域活動の推進、住民相互の親睦とコミュニケーションの醸成を促進する。</p>	<p>○集落集会所建設事業費補助金 2,905,000円</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吉田集落会館改修事業 <ul style="list-style-type: none"> 工事場所 西木町桧木内字吉田 工事概要 屋根トタン取り替え工事 事業費 1,024,296円 市補助金 512,000円 ・武蔵野中央会館改修事業 <ul style="list-style-type: none"> 工事場所 田沢湖生保内字武蔵野 工事概要 屋根改修及び便器交換工事 事業費 1,386,000円 市補助金 693,000円 ・堂野口部落集会所新築事業 <ul style="list-style-type: none"> 工事場所 角館町白岩北堂野口 工事概要 新築工事及び浄化槽設置工事 事業費 10,425,966円 市補助金 1,700,000円 <p>地域住民が集う集落会館の新築・増改築・浄化槽設置等を行うことにより、地域活動の拠点が整備され、住民相互の親睦とコミュニケーションの醸成がなされ、地域コミュニティの維持に繋がった。</p>

2 款 総 務 費 2 項 徴 税 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
118,843,000	116,956,143	0	1,886,857	<p>○納税奨励費 納税意識の高揚、納期内納付の推進等を活動の柱とし、100%納付に向けて納付意欲の更なる向上を目指す。</p>	<p>○納税奨励費 7,321,528円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・納税協力員報酬 2,755,600 円 <ul style="list-style-type: none"> 平等割 2,700円×296組合 799,200 円 世帯割 400円×4,891世帯 1,956,400 円 ・納税貯蓄組合事務費補助金 4,341,416 円 <ul style="list-style-type: none"> ※下記金額の32.5%（平成31年度減額率 △67.5%） 組合員割（世帯数） 5,500,000 円 <ul style="list-style-type: none"> 5人以下 5,000円×11組合 55,000 円 6人～10人 10,000円×60組合 600,000 円 11人～15人 15,000円×84組合 1,260,000 円 16人～20人 20,000円×66組合 1,320,000 円 21人～25人 25,000円×36組合 900,000 円 26人～30人 30,000円×21組合 630,000 円 31人以上 35,000円×21組合 735,000 円 均等割 2,000円×4,937世帯 9,874,000 円 減額分 △ 2,015,700 円 <ul style="list-style-type: none"> 10分の1 △ 629,500 円 10分の2 △ 448,200 円 10分の10 △ 938,000 円 ・納税貯蓄組合連合会補助金 224,512 円 <p>令和元年度で最後の活動となり納付率は前年より向上した。令和2年3月31日をもって、仙北市納税貯蓄組合連合会が解散した。</p>
				<p>○賦課徴収費 市税の賦課・徴収に係る事務を、電算システムを活用して適正かつ効率的に行う。</p>	<p>○賦課徴収費 48,998,324円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・税務事務システム大量出力委託 7,990,920 円 ・申告支援システム保守委託 3,995,940 円 ・家屋評価システム保守業務委託 460,416 円 ・地方税共通納税システム 1,814,400 円 ・固定資産税地理情報システムクラウド型移行業務委託 3,132,000 円

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
					<ul style="list-style-type: none"> 固定資産税時点修正鑑定評価業務委託 885,600 円 固定資産税地理情報システムデータ加除修正業務委託 4,730,000 円 令和3年度基準評価替に関する標準宅地及び路線価鑑定評価業務委託 7,447,000 円 適正かつ効率的な賦課・徴収に寄与した。

2 款 総 務 費 3 項 戸籍住民基本台帳費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
58,035,000	54,307,304	0	3,727,696	○通知カード・個人番号カード関連事務費 住民票・印鑑登録証明書・戸籍証明書等を全国のコンビニエンスストア等で交付を受けられるシステムを構築・維持し、市民や本籍人の利便性向上を図る。	○通知カード・個人番号カード関連事務費 2,386,041円 <ul style="list-style-type: none"> 旅費 202,840円 コンビニ交付実店舗試験に係る手数料 4,800円 コンビニ交付に係る運営負担金 2,178,401円 ・令和元年度コンビニ交付住民票等発行部数 <ul style="list-style-type: none"> 住民票の写し 96部 印鑑登録証明書 65部 戸籍証明書 54部 戸籍の附票の写し 15部 計 230部 全国の主要なコンビニエンスストア等に設置されているマルチコピー機を利用し、いつでも近くで簡単に取得できるようになり、利便性が高まった。

3 款 民 生 費 1 項 社 会 福 祉 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事 業 の 概 要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
2,892,516,000	2,837,552,633	1,200,000	53,763,367	○温泉休養施設管理運営費 ・指定管理 クリオンの管理運営を指定管理者により行う。 ・機械室内改修工事 経年劣化した貯湯槽及びろ過機の改修工事を行う。	○温泉休養施設管理運営費 82,225,381円 ・指定管理業務委託料 (株)西木村総合公社 49,198,518円 ・実施設計委託料 1,425,600円 ・設計監理及び工事監理委託料 1,210,000円 ・機械室内改修工事 30,250,000円 クリオン設備の老朽化を解消し、施設の長寿命化を図る環境整備が整った。
				○生活困窮者自立支援事業費 生活困窮者自立支援法に基づき、現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある者(=生活困窮者)の自立促進を図るため、生活困窮者自立相談支援事業の実施、生活困窮者住居確保給付金の支給及びその他の自立を支援する。	○生活困窮者自立支援事業費 7,270,041円 ・生活困窮者自立相談支援事業委託料 4,724,800円 委託先：(福)仙北市社会福祉協議会 ・自立相談支援員賃金 1,667,552円 ・事務経費、償還金利息及び割引料 877,689円 相談支援は、委託先である社会福祉協議会内に仙北市自立相談応援センターを設置し、専任職員を配置して行った。市でも相談対応をしており、合わせて年間96件の相談があり、各種情報提供や関係機関へのつなぎを実施した。 自分の力だけでは困窮から抜け出せない対象者に、各種支援策の斡旋や就労へ結びつける支援を行い、必要に応じて生活保護制度へのつなぎを実施した。
				○プレミアム付商品券事業費 令和元年10月より消費税が8%から10%に引き上げられ、低所得者や子育て世帯(0歳から3歳半まで)の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起・下支えすることを目的とし実施する。 (対象者) 住民税非課税者、子育て世帯(2016年4月2日から2020年9月30日までに生まれた子供がいる世帯)の世帯主	○プレミアム付商品券事業費 23,604,285円 ・申請書発送件数 6,409件 ・申請件数 2,844件(内、子育て世帯分370件) ・引換件数 2,697件 ・商品券販売実績金額 10,405冊分 41,620,000円 ・商品券換金実績金額(3月末時点) 48,717,000円 ・換金済プレミアム額分(3月末時点) 9,743,400円 事務費 1,154,212円 委託料 9,378,500円

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				(販売した商品券の額面) 1冊5,000円分(1枚500円10枚綴り)を 4,000円で販売 (販売の上限額) 最大5冊まで ※20,000円で25,000円分の商品券が購 入でき、プレミアム分は最大5,000円	臨時職員賃金 493,965円 事業費(プレミアム分) 9,743,400円 【繰越明許分】 2,834,208円 事務費 695,408円 委託料 1,360,800円 臨時職員賃金 778,000円 事業にかかった経費については全て国庫補助対象。商品券の販売、換金業務は仙北市商工会へ委託して事業を実施した。申請・購入できる対象者が限定されていたため、申請者が思うように伸びなかったが、消費税増税に伴う市内消費の落ち込みを緩和し、対象者の家計の一助となった。
			○特別障害者手当等支給費 重度の障がいを有し、日常生活において常時特別な介護を必要とする状態にある在宅障がい者(児)に手当を支給する。 特別障害者手当27,200円/月 障害児福祉手当 14,790円/月 福祉手当(経過措置) 14,790円/月	○特別障害者手当等支給費 28,689,205円 ・内訳(実人数117人) 特別障害者手当(延月数 940月) 25,528,220円 障害児福祉手当(延月数 187月) 2,761,530円 福祉手当(延月数 12月) 177,200円 計(延月数1,139月) 償還金利子及び割引料 222,255円 精神または身体に著しく重度の障がいがある方(在宅)に手当を支給することで福祉の増進を図り、在宅生活の継続を支援した。	
			○地域生活支援事業費 障がいのある人が有する能力や適正に応じ、自立した日常生活・社会生活を営むことができるよう支援する。	○地域生活支援事業費 19,695,073円 ・理解促進研修・啓発事業 発達障害に関する理解を深め共生社会の実現を図ることを目的とし、秋田県発達障害者支援センターふきのとう秋田より講師を招き、研修会を実施した。 (事業経費 なし) ・相談支援事業(相談支援事業所愛仙へ委託) 相談件数 1,347件 委託料 6,870,000円	

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
					<p>生活上の様々な相談を受け、自立支援医療・手帳・サービス利用につなげることができ、地域生活を継続支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 意思疎通支援事業 <ul style="list-style-type: none"> 手話通訳派遣 12回 (1人) 35,668円 要約筆記派遣 3回 (1人) 22,980円 聴覚障がい者が、社会参加や病院受診の際などに、コミュニケーション手段をサポートし、活動の幅が広がり、地域での暮らしを支援した。 成年後見制度利用支援事業 <ul style="list-style-type: none"> 被後見人手数料 (0人) 0円 日常生活用具給付事業 <ul style="list-style-type: none"> 蓄便袋・蓄尿袋・紙おむつ他 639件 (75人) 6,263,067円 移動支援事業 19回 (1人) 122,256円 訪問入浴サービス事業 103回 (1人) 1,144,629円 日中一時支援事業 委託料 (26人) 4,676,473円 その他事業費 0円 芸術文化活動振興事業 <ul style="list-style-type: none"> ふれあい芸能文化発表会補助金 500,000円 声の広報等発行事業 <ul style="list-style-type: none"> 声の広報等発行補助金 2団体 60,000円 備品購入費 0円 <p>障がい者(児)が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、ストーマ装具等の日常生活用具等給付事業や、家族及び介護者の一時的な負担軽減を図る日中一時支援事業を中心に、地域福祉の増進と在宅生活を支援した。</p>
				<p>○障害者自立支援給付費 障害者総合支援法に基づき身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、障がい児及び難病患者等の日常生活や社会生活を総合的に支援する。</p>	<p>○障害者自立支援給付費 560,537,651円</p> <ul style="list-style-type: none"> 障害福祉サービス費の支給 <ul style="list-style-type: none"> 扶助費 (180人) 496,269,141円 障害児通所給付費の支給 <ul style="list-style-type: none"> 扶助費 (18人) 24,497,729円

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
					<ul style="list-style-type: none"> 補装用具費（交付・修理）の支給 <ul style="list-style-type: none"> 扶助費（44件） 3,374,963円 自立支援医療費（更生、育成医療）の支給 <ul style="list-style-type: none"> 更生医療扶助費（48人） 20,822,433円 育成医療扶助費（4人） 243,759円 療養介護医療扶助費（4人） 3,287,863円 役務費 778,272円 償還金利子及び割引料 11,263,491円 <p>ホームヘルプや通所サービスの利用により、住み慣れた地域で安心して生活できるよう支援した。 また、就労系サービスの利用により、一般企業への就労や生産活動を通して雇用への移行を支援した。 自立支援医療費の支給は、障害者の医療費の負担軽減が図られ、さらに補装具の購入・修理時には経済的負担が軽減され自立した生活を支援した。</p>
				○難聴児補聴器購入費助成事業費 身体障害者手帳の交付対象にならない軽、中度の難聴児を対象として、補聴器購入費を助成する。	○難聴児補聴器購入費助成事業費 100,934円 <ul style="list-style-type: none"> 補聴器購入費の助成 1人 補聴器を装用することにより言語の習得が可能になる等、障がい児の学習面における福祉の向上に寄与した。
				○人工透析通院費支給事業費 腎臓機能に障がいがある方が、人工透析治療を受けるため居住地から医療機関への通院に要した交通費の一部を助成する。	○人工透析通院費支給事業費 1,599,300円 <ul style="list-style-type: none"> 人工透析通院費の支給 35人 1,599,300円 腎臓機能障害により人工透析を受けている方の通院費を助成することにより、経済的支援及び確実な治療の継続に寄与した。
				○障がい者（児）タクシー利用券給付事業費 仙北市に住所を有する重度身体障がい者（児）、知的障がい者（児）、精神障がい者（児）及び難病患者（特定医療費（指定難病）受給者）の生活圏の拡大を図るとともに、社会参加を促進し福祉の増進を図るため、タク	○障がい者（児）タクシー利用券給付事業費 1,807,200円 <ul style="list-style-type: none"> タクシー利用券の給付 196人 1,807,200円 15,000円のタクシー利用券を乗車料金の範囲内で自由に利用できるものであり、障がい者の外出における利便性の向上に寄与した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				シーの利用料金の一部を助成する。 (ただし、在宅の障がい者を対象とすることから社会福祉施設入所者は除く。)	
				○障害者通所施設等交通費助成金交付事業費 障がい者施設等に通所する障がい者又はその介護者の経済的負担の軽減のため、通所に要する交通費の一部を助成する。	○障害者通所施設等交通費助成金交付事業費 580,380円 ・交通費の助成 16人 障がい者施設等に通所する障がい者またはその介護者の経済的負担を軽減させることにより、障がい者施設等の利用を促進し、障がい者福祉の向上に寄与した。
				○障がい者支援施設「かわ舟の里角間川」改築事業費補助金	○障がい者支援施設「かわ舟の里角間川」改築事業費補助金 22,771,000円 施設老朽化のための改築であり、仙北市での在宅生活が困難な従来からの入所者（8人）及び今後施設での生活が必要となる障がい者の福祉向上に寄与した。
				○障害者自動車運転免許取得費助成金 障がい者が自立した生活、社会活動への参加及び就労に伴い、自動車運転免許を取得する場合に、その取得に要する費用の一部を助成する。	○障害者自動車運転免許取得費助成金 400,000円 ・自動車運転免許取得費の助成 4人 運転免許を取得した障がい者に対し、その取得費の一部を助成することで、経済的負担を軽減させ、自立した生活、社会活動への参加及び就労の促進に寄与した。
				○身体障害者用自動車改造費助成金 上肢、下肢又は体幹機能障がい1から3級身体障害者手帳所持者に対し、自動車の操行装置及び駆動装置等の改造に要した費用を助成する。	○身体障害者用自動車改造費助成金 200,000円 ・自動車改造費の助成 2人 障がい者自らが運転する車の改造に係る経済的負担を軽減させることにより、自立した生活、社会活動への参加及び就労の促進に寄与した。
				○敬老祝い金支給事業費 傘寿及び百寿の祝い金を支給する。	○敬老祝い金支給事業費 3,054,000円 ・祝い金支給 80歳(9/15基準) 5,000円 343人 1,715,000円 100歳(誕生日基準) 100,000円 13人 1,300,000円

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○緊急通報装置給付・貸付事業費 緊急時に通報できるシステムの「ふれあい安心電話」の貸付を行う。	○緊急通報装置給付・貸付事業費 2,409,960円 ・業務委託(仙北市社会福祉協議会) 2,359,720円 設置 42台 (新設 3件・撤去 4件) 50,240円 緊急時の対応や、協力者への通報等を行うことにより1人暮らし高齢者等の不安の解消に寄与した。
				○高齢者共同生活支援事業費 11月から4月までの冬期間に施設で共同生活の支援を行う。	○高齢者共同生活支援事業費 3,973,228円 ・業務委託 ((福)県南ふくし会) 延べ利用日数1,208日 実利用者数11人 冬期間、自宅で生活することが困難な高齢者等が一時的に共同生活を送ることにより、日常生活の安定が図られ、在宅生活の継続に寄与した。
				○地域の輝き表彰事業費 明るい社会づくりや高齢者福祉の向上に功績のあった、地域できらりと輝く高齢者を表彰する。	○地域の輝き表彰事業費 126,520円 ・被表彰者 5人 地域や高齢者福祉のために活動を行ってきた高齢者を表彰することで、生きがいをつくりさらなる社会参加の促進に寄与した。
				○高齢者世帯等除雪支援事業費 除雪支援要件に該当する高齢者世帯等に対し、除排雪や雪下ろしに係る費用の一部を助成する。	○高齢者世帯等除雪支援事業費 2,641,917円 ・住宅前除雪事業 187件 2,346,000円 ・住宅屋根雪下ろし事業 13件 195,000円 除排雪を行うことができない高齢者世帯等の除排雪等の負担軽減に寄与した。
				○介護タクシー利用助成事業費 ・在宅の要介護認定者(要介護度3～5)がケアプラン外となる医療機関への緊急の入退院や通院等の際に、市内事業者が運営する介護タクシーを利用した際の費用額の半額を助成する。	○介護タクシー利用助成事業費 180,388円 介護タクシー利用 延べ利用者数 48人 家族での移送が困難な要介護認定者に対し、介護タクシーの利用を助成することにより在宅生活の継続及び家族の負担軽減に寄与した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○大曲仙北広域市町村圏組合介護保険費負担金 介護保険制度の安定的な運営のための費用を負担する。	○大曲仙北広域市町村圏組合介護保険費負担金 580,226,000円 介護保険制度の加入者に対する介護サービスの提供、保険料徴収、介護給付費の適正化のための費用を負担し、介護保険制度の安定的な運営に寄与した。
				○特別養護老人ホーム建設事業費補助金 法人による安定的な施設運営のために、建設費償還金を補助する。	○特別養護老人ホーム建設事業費補助金 7,546,000円 ・補助対象 ((福)県南ふくし会 清流苑) 建設費償還金を補助することで、法人による施設運営の安定化と入所環境の充実に寄与した。
				○老人クラブ補助金 老人クラブ活動の活発化に向けて補助支援する。	○老人クラブ補助金 3,265,236円 ・仙北市老人クラブ連合会活動費 1,309,416円 ・単位老人クラブ活動費(37団体) 1,955,820円 老人クラブへ補助支援することにより、クラブ活動を通じた高齢者の社会参加、生きがい、健康づくり等を推進した。
				○生きがい活動通所支援事業費 高齢者が長年住み慣れた地域で生活を維持することができるよう、多世代交流施設を活用して通所事業を実施する。	○生きがい活動通所支援事業費 3,433,882円 ・延べ利用者数 586人 介護保険法によるサービスを受け(られ)ない高齢者に対して、住み慣れた地域で生活維持を図ることを支援した。
				○福祉医療費 仙北市に在住する乳幼児及び小・中学生、ひとり親家庭の児童、高齢身体障害者、重度心身障害(児)者の医療費の自己負担分を助成する。(乳幼児及び小・中学生の区分は、0歳児及び市民税所得割非課税世帯は自己負担なし、市民税所得割課税世帯は自己負担上限千円/レセプト)	○福祉医療費 204,874,870円 ・乳幼児・小中学生 35,532,796円 ・ひとり親家庭 11,139,938円 ・高齢身体障害者 39,769,675円 ・重度心身障害(児)者 132,323,775円 ・福祉医療高額療養費戻入金(国保分) △13,891,314円 福祉医療費の助成は、乳幼児及び小・中学生、ひとり親家庭の児童、高齢身体障害者、重度心身障害(児)者の健康保持と生活安定を図るための重要な施策であり、引き続き実施していく。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○福祉医療事務費 福祉医療費の助成を円滑に進める。	○福祉医療事務費 3,840,180円 ・審査支払手数料 3,387,899円 ・後納郵便料 209,785円 ・福祉医療事務費 242,496円 福祉医療費の助成を円滑に進めることができた。
				○任意事業費 高齢者が住み慣れた地域で安心して生活が継続できるよう地域包括ケアシステムの構築を進める。介護保険事業運営の安定を図るとともに、介護者等に対し必要な支援を行う。	○任意事業費 5,458,687円 ・家族介護支援事業 家族介護教室 1回開催 21人 家族介護者交流事業 2回開催 延べ38人 ・住宅改修支援事業理由書作成手数料助成 1件 ・認知症高齢者地域支援事業 SOSメール実績1件 ・認知症サポーター等養成事業 小中学校関係 493人受講／一般 293人受講 ・配食サービス事業 254人 延べ4,717食 見守りを要する高齢者の実態把握や定期的な安否確認が行われた。
				○予防ケアプラン作成事業費 介護予防・生活支援サービス及び介護予防サービス利用者に対し、自立した生活が送れるように本人の目標達成に向けて支援を行う	○予防ケアプラン作成事業費 7,755,505円 ・予防ケアプラン作成件数 1,591件 介護を予防し、地域において自立した日常生活を送れるよう支援した。
				○介護予防・日常生活支援総合事業費 要支援認定者・事業対象者を対象とした介護予防・生活支援サービス事業、65歳以上を対象とする介護予防のための運動器の教室、出前講座等を行う。	○介護予防・日常生活支援総合事業費 11,839,302円 ・短期集中予防サービス 通所型サービスC 4人 ・介護予防ケアマネジメント 介護予防ケアマネジメント作成件数 2,215件 事業対象者支援 16件 ・運動器・口腔器の機能向上事業 いきいき元気アップ教室 20回開催 延べ204人 若返り教室 15回開催 延べ363人

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
					<p>若返り教室リーダー研修 2回開催 延べ 26人</p> <p>お口元気アップ教室 10回開催 延べ 80人</p> <p>脳若さわやか教室 16回開催 延べ253人</p> <p>・介護予防普及啓発事業 出前講座 1回開催 延べ 12人</p> <p>・地域住民グループ支援事業 地域介護予防活動支援補助5団体</p> <p>・地域リハビリテーション活動支援事業 研修会4回 延べ24人</p> <p>出前講座、各種介護予防教室の実施により住民の介護予防への意識付けと、効果的な運動方法の周知を進めることができた。</p>
				<p>○高齢者介護予防推進事業費</p> <p>健康運動士の指導により、温泉プールで楽しみながら水中運動を行い、介護健康運動士の指導により、温泉プール予防の推進を図る。</p>	<p>○高齢者介護予防推進事業費 2,336,820円</p> <p>・浮き浮き教室（足腰膝等に疼痛等症状ある方向け） 1クール12回×3クール 延べ514人</p> <p>・わくわく教室（運動不足解消目的の方向け） 1クール12回×3クール 延べ325人</p> <p>参加者から痛みの軽減、歩行がしやすい等感想があった。歩行能力や敏捷性テストで効果がみられた。</p>
				<p>○包括的支援事業費</p> <p>高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していけるよう包括的な相談及び支援体制の構築、地域における関係者とのネットワークの構築を図る。</p> <p>地域ケアシステムの構築に向けて医療と介護の連携、生活支援整備、認知症施策推進を図る。</p>	<p>○包括的支援事業費 16,064,240円</p> <p>・総合相談支援事業・権利擁護事業 総合相談件数 2,459件 成年後見制度相談件数 56件 高齢者虐待相談件数 78件（内虐待認定1件）</p> <p>・包括的・継続的ケアマネジメント事業 ケアマネネット研修会 3回 延べ169人 在宅・施設サービス部会議、役員会 4回 延べ30人</p> <p>・在宅医療・介護連携推進事業 推進協議会2回/多職種研修会3回122人</p> <p>・地域ケア会議推進事業 個別ケア会議 15回 地域ケア推進会議 1回</p> <p>・生活支援体制整備事業</p>

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
					<p>〈第1層〉市内全体 生活支援コーディネーター2人／協議体会議3回 担い手養成講座1回14人／担い手フォローアップ研修会30人</p> <p>〈第2層〉田沢湖・角館・西木地区 地区別協議体会議3回／生活支援コーディネーター6人配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症初期集中支援事業 認知症施策検討委員会3回 ・認知症地域支援・ケア向上事業 認知症地域支援推進員4人 認知症カフェ運営補助8団体 64回 オレンジ相談虎の巻（認知症ケアパス）作成 <p>専門職で検討し対応。認知症等により判断能力が不十分な高齢者の成年後見人制度利用については、家庭裁判所や病院と連携を図っている。虐待対応では措置施設への分離、家族への介入により、高齢者が安心して生活できる状況を確認している。</p>
				<p>○後期高齢者医療短期人間ドック助成費 後期高齢者医療被保険者の人間ドックに係る費用の一部を助成する。</p>	<p>○後期高齢者医療短期人間ドック助成費 756,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間ドック受診者数 36人 ・助成費 @21,000円 × 36人 = 756,000円 <p>平成30年度：実績 35人、令和元年度：実績 36人と目標とする50人に満たないことから、より一層の周知活動を展開していく。</p>

3 款 民 生 費 2 項 児 童 福 祉 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
1,586,720,000	1,520,022,369	0	66,697,631	<p>○ひとり親家庭福祉事業費 ひとり親家庭の相談指導、子育て・生活の支援、資金の貸付</p>	<p>○ひとり親家庭福祉事業費 2,857,604円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母子・父子自立支援員報酬・費用弁償、消耗品費等 世帯数 365世帯(母子312、父子53) ・ひとり親家庭の相談件数 127 件

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
					<ul style="list-style-type: none"> ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金 1件 54,687円 平成30年度分母子家庭等対策総合支援事業国庫補助金返還金 1,049,000円 <p>ひとり親家庭の親や子供の悩み、就学、就職、経済的自立などの相談に母子・父子自立支援員が応じ、生活の不安解消や自立のための指導を行っている。</p>
				○家庭児童相談事業費 子どもの養育に関する悩みや心配ごとなどの相談指導	○家庭児童相談事業費 2,142,109円 ・家庭相談員報酬(1名)・費用弁償、消耗品費等 ・相談件数 155件 家庭相談員は児童の心身の健やかな成長のため、きめ細かな指導を行っている。
				○在宅子育てサポート事業費 在宅で就学前児童を子育てしている家庭に対し、市が指定する有料の子育て関連サービスに充当できるサポート券(1万円相当)を交付する。	○在宅子育てサポート事業費 810,320円 ・事業に係る事務的経費 98,820円 ・サポート券精算額 711,500円 サポート券交付件数 74件 740,000円相当 在宅で小学校就学前児童の子育てを行っている家庭を経済的に支援することで、児童福祉の向上を図ることができた。
				○誕生祝支給事業費 次代を担う子どもの誕生を祝福し、健やかな成長を願い、誕生児童一人につき3万円の祝金を支給する。	○誕生祝支給事業費 2,319,000円 ・事業に係る事務的経費 9,000円 ・祝金支給額 2,310,000円 市から誕生を祝福されることで、健やかな成長と次代を担う人材となって欲しいとの願いを感じてもらうことができた。
				○療育訓練事業費 発達に不安があったり、友達と遊ぶことが苦手な幼児とその保護者に対する療育訓練を実施する。	○療育訓練事業費 285,565円 訓練回数 20回

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要																																							
				計画	実績及び効果																																						
				<p>○子育てファミリー支援事業費 H30. 4. 2以降に第3子以降の子が生まれ、かつ、その子を含む3人以上の子を養育する世帯に対し、市が指定する有料の子育て関連サービスに充当出来るサポート券(1万5千円相当)を交付する。</p>	<p>○子育てファミリー支援事業費 319,400円 ・事業に係る事務的経費 32,400円 ・サポート券精算額 287,000円 サポート券交付件数 20件 300,000円相当 在宅子育て世帯を含めた小学校就学前児童の子育てを行っている家庭を経済的に支援することで、児童福祉の向上を図ることができた。</p>																																						
				<p>○幼児教育推進事業費 幼児教育推進体制を構築するため、教育・保育アドバイザーを配置する。</p>	<p>○幼児教育推進事業費 20,250円 訪問回数 138回 研修会 3回</p>																																						
				<p>○児童手当給付費 次世代の社会を担う児童1人ひとりの育ちを社会全体で応援する観点から、中学校修了までの児童を養育する者に支給する手当</p>	<p>○児童手当給付費 272,932,000円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>支給人数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">0歳から 3歳未満</td> <td>被用者</td> <td>2,611人</td> <td>39,165,000円</td> </tr> <tr> <td>非被用者</td> <td>564人</td> <td>8,460,000円</td> </tr> <tr> <td>特例給付</td> <td>27人</td> <td>135,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">3歳以上 小学校修了前</td> <td>被用者</td> <td>13,009人</td> <td>136,775,000円</td> </tr> <tr> <td>非被用者</td> <td>2,407人</td> <td>25,650,000円</td> </tr> <tr> <td>特例給付</td> <td>208人</td> <td>1,040,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">小学校修了後 中学校修了前</td> <td>被用者</td> <td>4,799人</td> <td>47,990,000円</td> </tr> <tr> <td>非被用者</td> <td>1,313人</td> <td>13,130,000円</td> </tr> <tr> <td>特例給付</td> <td>65人</td> <td>325,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>25,003人</td> <td>272,670,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>・平成30年度児童手当等交付金確定による返還金 262,000円 児童を養育している者に児童手当を支給することにより、家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することができた。</p>	区分		支給人数	金額	0歳から 3歳未満	被用者	2,611人	39,165,000円	非被用者	564人	8,460,000円	特例給付	27人	135,000円	3歳以上 小学校修了前	被用者	13,009人	136,775,000円	非被用者	2,407人	25,650,000円	特例給付	208人	1,040,000円	小学校修了後 中学校修了前	被用者	4,799人	47,990,000円	非被用者	1,313人	13,130,000円	特例給付	65人	325,000円	合計		25,003人	272,670,000円
区分		支給人数	金額																																								
0歳から 3歳未満	被用者	2,611人	39,165,000円																																								
	非被用者	564人	8,460,000円																																								
	特例給付	27人	135,000円																																								
3歳以上 小学校修了前	被用者	13,009人	136,775,000円																																								
	非被用者	2,407人	25,650,000円																																								
	特例給付	208人	1,040,000円																																								
小学校修了後 中学校修了前	被用者	4,799人	47,990,000円																																								
	非被用者	1,313人	13,130,000円																																								
	特例給付	65人	325,000円																																								
合計		25,003人	272,670,000円																																								

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○児童扶養手当給付費 18歳未満の児童を養育している父、母、または、父母にかわって児童を養育している者に支給する手当	○児童扶養手当給付費 151,695,460円 全部支給者延べ月人数 2,074人 一部支給者延べ月人数 1,489人 2子加算延べ月人数 1,212人 3子以降加算延べ月人数 219人 ひとり親家庭の生活の安定と自立を助け、児童の福祉の増進を図ることができた。
				○母子生活支援施設等入所措置費負担金 施設入所に係る措置費負担金 事情により家庭での適切な養育ができず入所している方に係る入所措置費	○母子生活支援施設等入所措置費負担金 2,395,956円 延べ入所世帯数 5世帯 延べ入所者数 10人 【内訳】 ・事業実績額 2,095,685円 ・平成30年度分国庫補助金返還金 300,271円 母子生活支援施設は、母子にとって安定した生活の場であり、また自立のための社会生活の訓練の場として有効であり、児童福祉法に基づき費用を負担している。
				○児童館及び児童遊園地施設維持管理費 児童に安全で安心な活動場所として児童館及び児童遊園地を設置する。	○児童館及び児童遊園地施設維持管理費 5,123,540円 角館児童館ブロック塀改修 2,503,600円 その他施設管理運営経費 2,619,940円 児童館及び児童公園を適切に管理し、児童に安心して活動できる場を提供することができた。
				○認可保育園等管理費 ○認可保育園等運営費 ○給食業務委託事業費 ○保育園管理運営業務委託事業費 ○子ども・子育て支援事業費	○認可保育園等管理費 55,726,776円 市立6園の施設設備に係る管理経費 ○認可保育園等運営費 22,124,762円 市立6園の保育業務に係る運営経費 ○給食業務委託事業費 74,796,159円 角館・西木地区の給食業務委託費 ○保育園管理運営業務委託事業費 149,382,848円 西木地区2園の保育業務委託費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要																																																																																																				
				計画	実績及び効果																																																																																																			
				<ul style="list-style-type: none"> 市立教育・保育施設 施設において集団で教育・保育を行い、子育てを支援する。 角館こども園、白岩小百合保育園、角館西保育園、中川保育園、にこにここども園、ひのきないこども園 ※H28から、だしのご園、神代こども園は法人移行。 一時保育 家庭の事情による一時的な保育需要に対応して児童を預かる。 子育て支援拠点事業 児童及びその保護者の相互交流や、相談活動を実施する。 	<p>○子ども・子育て支援事業費 16,034,356円 田沢湖地区2園の一時預かり事業委託費 令和2年3月 入所児童数 (人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>※だ</th> <th>※神</th> <th>角</th> <th>白</th> <th>西</th> <th>中</th> <th>に</th> <th>ひ</th> <th>広域</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0歳</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>15</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>1歳</td> <td>19</td> <td>15</td> <td>26</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>3</td> <td>17</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>2歳</td> <td>18</td> <td>19</td> <td>31</td> <td>7</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>16</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>107</td> </tr> <tr> <td>3歳</td> <td>29</td> <td>28</td> <td>44</td> <td>5</td> <td>8</td> <td>6</td> <td>16</td> <td>9</td> <td>0</td> <td>145</td> </tr> <tr> <td>4歳</td> <td>22</td> <td>23</td> <td>41</td> <td>13</td> <td>8</td> <td>1</td> <td>20</td> <td>8</td> <td>1</td> <td>137</td> </tr> <tr> <td>5歳</td> <td>23</td> <td>21</td> <td>35</td> <td>3</td> <td>9</td> <td>3</td> <td>16</td> <td>6</td> <td>2</td> <td>118</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>121</td> <td>117</td> <td>192</td> <td>36</td> <td>38</td> <td>17</td> <td>91</td> <td>38</td> <td>12</td> <td>662</td> </tr> <tr> <td>定員</td> <td>130</td> <td>120</td> <td>214</td> <td>60</td> <td>60</td> <td>45</td> <td>90</td> <td>50</td> <td></td> <td>769</td> </tr> </tbody> </table> <p>※だしのご園、神代こども園は、法人の参考値。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一時保育利用児童数（延べ人数） <ul style="list-style-type: none"> ※だしのご園 10人（80人）※神代こども園 6人（30人） 角館こども園 6人（31人） にこにここども園 8人（22人） ひのきないこども園 0人（0人） 一時的な保育需要等に対応して保育することにより、子育て家庭の支援を行うことができた。 ※だしのご園、神代こども園は、法人に委託して実施。 子育て支援拠点による交流ひろば実施回数（相談件数） <ul style="list-style-type: none"> ※だしのご園 35回（0件） ※神代こども園 35回（0件） 角館こども園 36回（0件） にこにここども園 33回（5件） ひのきないこども園 15回（0件） 子育て支援施設（さくらッコ） 38回（0件） ※だしのご園、神代こども園は法人の自主事業の参考値。 児童及び保護者の相互交流を図ることができた。 		※だ	※神	角	白	西	中	に	ひ	広域	計	0歳	10	11	15	2	4	1	6	5	1	55	1歳	19	15	26	6	6	3	17	4	4	100	2歳	18	19	31	7	3	3	16	6	4	107	3歳	29	28	44	5	8	6	16	9	0	145	4歳	22	23	41	13	8	1	20	8	1	137	5歳	23	21	35	3	9	3	16	6	2	118	計	121	117	192	36	38	17	91	38	12	662	定員	130	120	214	60	60	45	90	50		769
	※だ	※神	角	白	西	中	に	ひ	広域	計																																																																																														
0歳	10	11	15	2	4	1	6	5	1	55																																																																																														
1歳	19	15	26	6	6	3	17	4	4	100																																																																																														
2歳	18	19	31	7	3	3	16	6	4	107																																																																																														
3歳	29	28	44	5	8	6	16	9	0	145																																																																																														
4歳	22	23	41	13	8	1	20	8	1	137																																																																																														
5歳	23	21	35	3	9	3	16	6	2	118																																																																																														
計	121	117	192	36	38	17	91	38	12	662																																																																																														
定員	130	120	214	60	60	45	90	50		769																																																																																														

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				<p>○放課後児童対策事業費 昼間労働等の都合で家庭に保護者のいない小学校児童に対し、遊びや生活の場を与えるため、放課後児童クラブを設置する。</p>	<p>○放課後児童対策事業費 60,744,307円</p> <p>放課後児童健全育成事業に係る経費 11,887,144円</p> <p>放課後児童クラブ支援員賃金等 48,857,163円</p> <p>・利用児童数（平均実利用児童数）</p> <p>白樺児童会（生保内小学校内） 66人</p> <p>ポプラ学園（神代小学校内） 43人</p> <p>かくののだて児童クラブ（角館児童館内） 40人</p> <p>かしわっこクラブ（白岩小学校内） 13人</p> <p>マロンクラブ（JA大豆総合センター内） 31人</p> <p>ひのきっこクラブ（桧木内小学校内） 24人</p> <p>中川っ子クラブ（中川小学校内） 11人</p> <p>（※月利用児童数÷開所日数）</p> <p>昼間労働等で保護者のいない家庭を支援し、児童に健全な生活の場を提供することができた。</p>
				<p>○保育園入所待機児童等支援事業費補助金 認可保育園等の待機（保留）児童が、認可外保育所等を利用した場合、これに係る保護者負担額について、認可保育園等と同等額となるように補助する。</p>	<p>○保育園入所待機児童等支援事業費補助金 225,691円</p> <p>補助金交付対象者数 1人</p> <p>・待機児童数 4人</p> <p>・保留児童数（希望園でなければ入所可能であるが、入所していない児童） 0人</p> <p>保育園入所待機児童が、この補助金を受給することにより認可外保育所等を保育所と同負担額にて利用する事により、入所待機児童の一部解消が図られた。</p>
				<p>○すこやか子育て保育料助成事業 私立認定こども園、認可保育所、幼稚園、認可外保育所、地域型保育事業の利用者に対して保育料を助成する。</p>	<p>○すこやか子育て保育料助成事業 19,448,628円</p> <p>実人数 475人</p> <p>保育料・副食費を県と共同で助成することにより、子育て世帯の経済的負担を軽減し、子育て支援を図ることができた。</p>

3 款 民 生 費 3 項 生 活 保 護 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事 業 の 概 要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
625,514,000	588,617,046	0	36,896,954	○生活保護費 被保護者に対し、生活の困窮に応じ必要な保護を行い、その最低生活を保障するとともに、自立助長を図る。	○生活保護費 551,780,674円 ・生活扶助費 152,061,344円 ・住宅扶助費 44,731,516円 ・教育扶助費 1,233,651円 ・(新)進学準備給付金 100,000円 ・介護扶助費 33,586,465円 ・医療扶助費 299,195,628円 ・出産扶助費 0円 ・生業扶助費 752,179円 ・葬祭扶助費 674,100円 ・就労自立給付金 105,868円 ・施設事務費 19,339,923円 月平均で315世帯、418人に対し、生活扶助や医療扶助など必要な保護を行い、最低生活を保障するとともに、就労支援により自立を促進し保護からの脱却を図ることができた。

3 款 民 生 費 5 項 災 害 救 助 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事 業 の 概 要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
2,664,000	2,592,656	0	71,344	○災害救援費 災害発生時の救助支援や住宅災害見舞金の支給を行う。	○災害救援費 2,467,656円 ・災害見舞金(火災6件) 600,000円 ・新型コロナウイルス感染症対策消耗品費 754,869円 災害見舞金・弔慰金の支給により、災害からの復旧の一助とすることができた。 新型コロナウイルス感染症対策のため、備蓄品を充実させ、感染予防に努めている。

4 款 衛 生 費 1 項 保 健 衛 生 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事 業 の 概 要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
612,240,000	587,196,763	0	25,043,237	○母子保健対策費 健康な母体づくりを目的に、定期的な健康相談の推進、さらに乳幼児の健全な成長に資する事業を実施する。	○母子保健対策費 14,089,275円 ・妊産婦一般健康診査（延べ人数） 1,190 人 ・妊婦歯科健康診査 37 人 ・乳児健康診査（延べ人数） 186 人 ・1歳6ヵ月児健康診査 84 人 ・2歳6ヵ月児歯科健診 112 人 ・3歳児健康診査 122 人 ・乳児訪問 95 人 妊娠から乳幼児健診までの子どもと母親及び家族への支援体制を整えている。福祉事務所等関係機関との連携で健診後のフォローにもつなげている。
				○心の健康づくり・自殺予防対策事業費 ・市民が健康で生き生きと暮らせる活力ある社会を築いていけるよう自殺対策を総合的に推進することにより、自殺の防止と心の健康づくり支援の充実を図る。 ・いのち輝く仙北市の実現を目指して、自殺予防対策計画を基に総合的に対策を推進し、自殺防止と心の健康づくり支援の充実を図る。	○心の健康づくり・自殺予防対策事業費 1,567,145円 ・笑いでいきがづくり教室 4回 63 人 ・こころの相談 29回 24 人 ・えくぼの会、かだれの会（傾聴活動） 22回 192 人 ・笑いの会 11回 234 人 ・ゲートキーパー養成講座 2回 77 人 ・ふれあいサポーター養成講座 2回 28 人 ・居場所づくりセミナー 1回 27 人 ・地区会館での健康教育 79回 851 人 ・学生への啓発グッズ、リーフレットの配布 1回 204 人 ・ふれあいサポーター（ステップアップ講座） 1回 18 人 ・街頭キャンペーン（パンフレット等配布） 5回 460 人 ・自殺対策推進協議会 2回 36 人 自殺は予防可能な死因であり、啓発活動の効果として自殺予防についての理解が深まっている。また、住民同士で相談先を紹介するなど意識づけが定着しつつある。 H30年度に策定した自殺対策計画により、自殺対策推進協議会を開催し、市の現状と対策事業について協議した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				<p>○安心子育て応援事業費 妊娠期からの切れ目ない支援として子育て世代包括支援センター（仙北市版ネウボラ「なないろ」）において、相談等の個別の支援や各種教室等で参加者同士の交流を図る。</p>	<p>○安心子育て応援事業費 3,232,925円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラン作成件数 188 件 ・乳児離乳食教室 11回 78 人 ・1歳3か月児健康相談 8回 82 人 ・こんにちは赤ちゃん教室 6回 46 人 ・ママと赤ちゃんのふれあい講座 11回 118 組 <p>個別に相談できる体制を整え、妊娠期の早期から子育て期まで対応できるようになっている。各教室では交流できる時間を設け、参加者同士が知り合える機会となっている。</p>
				<p>○歯と口腔の健康づくり推進事業費 幼児から小中学生の虫歯予防を目指し、フッ化物洗口事業を実施する。</p>	<p>○歯と口腔の健康づくり推進事業費 840,225円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児歯科フッ化物塗布 59 人 ・2歳6ヵ月児歯科健康教室 112 人 ・巡回歯科指導（幼稚園・保育園） 234 人 ・フッ化物洗口実施者数 1,704 人 <p>年長児、小・中学生の希望者を対象にフッ化物洗口を継続実施し、う歯予防のほか児童生徒の健康意識の向上に寄与した。</p>
				<p>○予防事業費 予防接種法に基づき、各種予防接種を行い免疫の確保と疾病を予防する。 令和元年度から令和3年度にかけ、緊急風しん対策事業として、昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性を対象に風しんの抗体検査を実施し、抗体価の低い者に対し定期的な予防接種を実施する。</p>	<p>○予防事業費 39,335,535円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本脳炎予防接種(延べ人数) 718 人 ・高齢者インフルエンザ予防接種 5,598 人 ・麻しん、風しん予防接種（延べ人数） 210 人 ・二種混合予防接種（延べ人数） 167 人 ・BCG予防接種 96 人 ・四種混合予防接種（延べ人数） 369 人 ・高齢者肺炎球菌予防接種 321 人 ・大人の風しん予防接種 10 人 ・ヒブ予防接種 364 人 ・小児用肺炎球菌予防接種 362 人 ・水痘予防接種 186 人 ・B型肝炎予防接種 270 人

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要																					
				計画	実績及び効果																				
					<ul style="list-style-type: none"> ・おたふくかぜ予防接種 168 人 ・若年者等インフルエンザ予防接種 2,681 人 ・妊婦インフルエンザ予防接種 40 人 ・緊急風しん対策（抗体検査） 282 人 ・ // （予防接種） 62 人 <p>感染症の蔓延防止につながっており、身体への負担と経済的負担の軽減となった。</p>																				
				<p>○健康増進事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種健（検）診 <p>高齢化社会の中で、疾病予防や健康づくりのほか、保健指導や食生活改善等一貫した保健サービスの確立を目指し実施する。</p>	<p>○健康増進事業費 23,208,130円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種健（検）診 <table border="0"> <tr> <td>一般健診</td> <td>25人</td> <td>胃がん検診</td> <td>1,238人</td> </tr> <tr> <td>大腸がん検診</td> <td>1,241人</td> <td>子宮がん検診</td> <td>419人</td> </tr> <tr> <td>乳がん検診</td> <td>475人</td> <td>前立腺がん検診</td> <td>1,005人</td> </tr> <tr> <td>骨粗しょう症検診</td> <td>113人</td> <td>肝炎ウィルス検診</td> <td>103人</td> </tr> <tr> <td>肺がん検診</td> <td>2,819人</td> <td>歯周疾患検診</td> <td>58人</td> </tr> </table> <p>広報やホームページへの掲載のほか、老人クラブなどの健康教育の場で説明したことで、検診の必要性を周知した。また、受診者には結果説明会や訪問指導をすることで、生活習慣病予防及び行動変容に結びつけた。</p>	一般健診	25人	胃がん検診	1,238人	大腸がん検診	1,241人	子宮がん検診	419人	乳がん検診	475人	前立腺がん検診	1,005人	骨粗しょう症検診	113人	肝炎ウィルス検診	103人	肺がん検診	2,819人	歯周疾患検診	58人
一般健診	25人	胃がん検診	1,238人																						
大腸がん検診	1,241人	子宮がん検診	419人																						
乳がん検診	475人	前立腺がん検診	1,005人																						
骨粗しょう症検診	113人	肝炎ウィルス検診	103人																						
肺がん検診	2,819人	歯周疾患検診	58人																						
				<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり人材育成事業 <p>市民が自ら健康づくりに取り組み、その知識や方法を家族や地域に波及させることを目的として実施。また、市民の健康づくりを支援する職員の資質向上を図るための研修を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり人材育成事業 <table border="0"> <tr> <td>せんぼく元気はつらつ隊研修会</td> <td>10回</td> <td>延べ383人</td> </tr> <tr> <td>せんぼく元気はつらつ隊認定者</td> <td>31人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>組織づくりを支援する人材の育成</td> <td>1回</td> <td></td> </tr> </table> <p>「元気はつらつ隊」の波及効果は他の事業にも広がりを見せている。さらに活動を活発化させることで、地域全体で健康づくりに取り組み、健康寿命の延伸が期待される。</p>	せんぼく元気はつらつ隊研修会	10回	延べ383人	せんぼく元気はつらつ隊認定者	31人		組織づくりを支援する人材の育成	1回												
せんぼく元気はつらつ隊研修会	10回	延べ383人																							
せんぼく元気はつらつ隊認定者	31人																								
組織づくりを支援する人材の育成	1回																								
				<p>○大腸がん予防事業費</p> <p>日本医療研究開発機構の研究事業である大腸がん検診の研究（比較試験）に参画する中で、仙北市における大腸がんによる死亡者の撲滅を目指す。</p>	<p>○大腸がん予防事業費 4,375,268円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受診者数 2,253人 <p>リクルート終了後、人口動態により対象者は減っているものの、コール・リコールにより一定した受診率を保っている。</p>																				

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				<p>○温泉プール活用促進事業費 健康運動指導士のもと、クリオン温泉プールを利用した教室を通して日常生活の中に運動を取り入れた健康生活を送り、生活習慣病予防を目的とする。</p>	<p>○温泉プール活用促進事業費 455,722円 ・リフレッシュ教室 1クール10回×2回 延べ214名参加 参加者の半数以上に体重・体脂肪率の改善があった。また、アンケートからは、気持ちのリフレッシュ効果や痛みの軽減の効果もみられた。</p>
				<p>○浄化槽設置整備事業費 循環型社会形成推進地域計画に基づき浄化槽整備を実施する。 ・循環型社会形成推進交付金 (個人設置型合併浄化槽) 5人槽 16基 7人槽 24基 計 40基 ・単独 5人槽 2基 7人槽 3基</p>	<p>○浄化槽設置整備事業費 10,419,000円 ・循環型社会形成推進交付金 7,748,000円 5人槽 17基 (352,000円×17基= 5,984,000円) 7人槽 4基 (441,000円× 4基= 1,764,000円) 計 21基 7,748,000円 (財源内訳) 国費 2,494千円 県費 2,582千円 市費 2,672千円 計 7,748千円 ・単独分 2,658,000円 5人槽 4基 (352,000円×4基=1,408,000円) 嵩上げ補助 (50,000円×25基=1,250,000円) 集合処理区域外で、浄化槽の普及率の向上を目的に雑排水対策を推進し、環境保全に寄与した。</p>
				<p>○不法投棄監視費 市内各地に不法投棄されるごみの対策として、監視員を配置し巡回パトロールを行う。また、不法投棄禁止の看板設置により、環境美化の意識高揚を図る。</p>	<p>○不法投棄監視費 762,606円 ・回収量 540 kg 不法投棄監視員の巡回を3地区各3名ずつで行うことにより、市内山間部等に不法投棄されたごみを発見することができ、市で回収・処理を行った。</p>
				<p>○歯科診療所管理運営費 市民の歯科衛生の向上を目指し、歯科診療・健診業務を行う。</p>	<p>○歯科診療所管理運営費 27,076,544円 ・診察日数 222 日 ・患者数(延べ) 5,868 人 ・1日当たり患者数 26.43 人</p>

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
					<ul style="list-style-type: none"> 患者1人当たり費用額 7,010.46 円 毎週木曜日の夕暮れ診療をはじめ、患者に配慮した診療を行い、新しい技術の導入により支持を得ている。
			○西明寺診療所管理運営費 市民の疾病の予防と治療に努め、健康の保持増進を図る。	○西明寺診療所管理運営費 32,983,117円 <ul style="list-style-type: none"> 西明寺診療所 診療日数 236日 患者数 11,569人 1日平均 49.0人 桧木内診療所 診療日数 82日 患者数 333人 1日平均 4.1人 清流苑 診療日数 48日 患者数 1,294人 1日平均 27.0人 日常の診療、往診、在宅医療、住民健診、予防接種などを継続し、へき地診療所として地域医療に貢献している。	
			○市民浴場管理運営費 温泉を利用した市民の憩いと心身の保養を図る。 指定管理者として、(株)アロマ田沢湖が管理業務を行っている。	○市民浴場管理運営費 13,226,707円 <ul style="list-style-type: none"> 利用者総数 39,157 人 内訳 <ul style="list-style-type: none"> 当日券利用者 20,778 人 割引券利用者 13,178 人 無料利用者（小学生以下） 2,239 人 仙北市民憩いの日利用 2,962 人 営業日数 342 日 1日あたり利用者数 114 人 入湯料 12,722,660 円 入湯税 5,537,700 円 利用者数は昨年に比べ増加しており、市民の憩いの場として利用され、心身の保養に寄与した。	

4 款 衛 生 費 4 項 清 掃 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事 業 の 概 要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
800,710,000	800,177,879	0	532,121	○塵芥処理費 一般家庭から排出される廃棄物の安定した収集運搬を行う。	○塵芥処理費 71,524,770円 ・ごみ収集運搬委託料 71,013,500円 市で指定する廃棄物収集の日程に合わせて、予定どおり廃棄物の収集運搬を行った。
				○大曲仙北広域市町村圏組合廃棄物処理費負担金 令和元年度から広域市町村圏組合に移管した廃棄物処理施設運営に係る負担金。	○大曲仙北広域市町村圏組合廃棄物処理費負担金 712,239,000円 人口減少や施設の老朽化といった課題に対応するため、令和元年度に広域化した廃棄物処理施設の運営管理により、安定した廃棄物処理を行った。

5 款 労 働 費 1 項 労 働 諸 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事 業 の 概 要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
69,566,000	69,130,646	0	435,354	○出稼対策費 出稼ぎ者を援護するため、広報紙の送付、就労前健康診断の実施及び出稼ぎ互助会への加入促進事業を実施する。	○出稼対策費 380,327円 ・出稼ぎ者 32人（前年比4人減） ・健康診断受診者 22人（前年比3人減） ・出稼互助会加入者 30人（前年比2人減） 健康的な就労に向け、就労前健康診断を実施し出稼ぎ者に対して自己管理に努めるよう啓発した。
				○就職支援・職場定着対策事業費 高校生の地元就職への関心を高めるための企業視察会や、就職に向けた面接講座等を開催する。	○就職支援・職場定着対策事業費 80,000円 ・高校生に向けて市内事業所視察会を開催しており、令和2年3月新卒者において視察会参加12名が市内事業所に就職している。 開催回数:1回 参加人数:42人（3年生）

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				<p>○技能功労者表彰事業費 技術者の社会的、経済的地位の高揚及び技術水準の向上を目的に、優れた技能を有し後継育成を通じて各業界発展に貢献した方を表彰する。</p>	<p>○技能功労者表彰事業費 70,992円 ・技能功労者表彰選考委員会報酬 15,000円 ・記念品等消耗品 25,992円 ・技能功労者表彰賞賜金 30,000円 各業界等から推薦のあった3名を表彰し、業界発展と技能向上意欲の高揚に寄与した。</p>
				<p>○シルバー人材センター補助金 仙北市シルバー人材センターに対し、事業運営費の一部を支援する。</p>	<p>○シルバー人材センター補助金 8,800,000円 シルバー人材センターの安定的な事業運営を目指し、事業運営費の一部を支援した。入会促進において、会員一人がひとりを紹介する活動を推進しており、目標達成には至らなかったが新規入会会員数は前年度比増（144.1%）となっている。</p>
				<p>○スキルアップ事業費補助金 市内中小企業者が行う従業員研修費等の一部、及び市内在住の離職者、学卒等の未就職者の技術修得及び資格取得経費の一部を助成する。また、仙北市民が受講する職業訓練団体の講習会等に係る経費を全額助成する。</p>	<p>○スキルアップ事業費補助金 583,000円 ・勤労者分 3件 20,000円 ・雇用対策分 8件 59,000円 ・職業訓練分 48件 504,000円 市内事業者の従業員研修や市内在住の求職者の資格習得に対して助成を行い、従業員の技能向上や早期就職を促進した。</p>
				<p>○雇用創出助成金 雇用機会の創出を図るため、新規に労働者を雇用した事業主に対し雇用助成を行う。また、市内事業所に正社員として就職した市民に対し就職応援金を交付する。</p>	<p>○雇用創出助成金 4,925,000円 ・雇用創出助成金分 3,675,000円 申請企業数 15社 申請件数 24件 新規雇用した事業主に対して雇用助成を行い、令和元年度において、一般求職者6名の雇用機会を創出した。 ・ふるさと就職応援金分 1,250,000円 支給人数 25人（新卒23人、一般2人） 市内事業所に正社員として就職した市民に対し就職応援金を交付し、市内への移住定住を促すとともに、就職に係る経費負担を軽減させ、雇用の安定化を図った。</p>

6 款 農 林 水 産 業 費 1 項 農 業 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事 業 の 概 要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
1,299,413,000	1,142,683,110	137,950,000	18,779,890	○機構集積支援事業費 農地の利用状況調査に係る市内全域の農地パトロールの実施や荒廃農地の所在把握、所有者への農地の利用意向の意思確認を行うなど、荒廃農地等の解消や有効利用の促進、それに伴う農業委員及び農地利用最適化推進委員の資質向上を図る。	○機構集積支援事業費 572,339円 ・調査計画等決定のための会議 143,664円 ・利用上調査の記録及び保存 222,619円 ・利用意向調査 16,376円 ・農地集積の推進活動 42,480円 ・農業委員等の資質向上のための活動 147,200円 農業委員及び最適化推進委員による農地パトロールなどによる遊休農地の現状を確認し、所有者等に対して解消の働きかけに努め、約8.1ha（H30年度 約8.4ha）の解消が行われた。一方で高齢化や不在地主、後継者不足に起因する新規遊休農地も増加傾向にあり、令和元年度遊休農地面積は約35ha（耕作放棄地率：0.64%）となった。
				○農地利用最適化交付金事業費 農業委員会の積極的な活動を推進するため、農地利用の最適化に係る活動及び成果の実績に応じ、農業委員並びに農地利用最適化推進委員の手当及び一般報酬への充当を行う。	○農地利用最適化交付金事業費 10,932,333円 ・活動実績額 1,559,000円 ・成果実績額 9,373,333円 農地の出し手・受け手のニーズをマッチングさせる委員活動に対する報酬を確保することで、農地利用最適化の推進に寄与し、農地集積・集約化の活動により、平成31年1月から令和元年12月末までに約392haの農地集積が行われた。
				○農業経営基盤強化資金利子助成金 農業経営基盤強化資金償還金に係る利子分について助成する。	○農業経営基盤強化資金利子助成金 231,779円 ・利子助成金 231,779円 資金借入農業者の金利負担の軽減が図られた。
				○水田農業構造改革対策推進費 水田農業構造改革対策に係る生産調整確認事務を実施する。	○水田農業構造改革対策推進費 32,000円 ・需用費 10,000円 ・役務費 22,000円 水田等の農地を最大限利用し、水田農業経営の安定及び発展が図られた。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				<p>○中山間地域等直接支払事業費 農業生産上、条件が不利となる中山間地域において、荒廃が懸念される農地を対象として、共同取組活動を推進し、耕作放棄地の抑制や多面的機能を確保する。 【集落協定数】 田沢湖地区7、西木地区3、角館地区3</p>	<p>○中山間地域等直接支払事業費 10,339,668円 ・補助金（13協定集落） 10,137,829円 ・需用費 187,675円 ・役務費 14,164円 補助金が効果的に活用され、条件不利農地の保全と、多面的機能の確保が継続されている。</p>
				<p>○ふるさとの食育推進事業費 食育推進に向けて各関係機関担当者で組織する「仙北市食育推進会議」の運営を行う。 小学生を対象とした食育の推進をする。</p>	<p>○ふるさとの食育推進事業費 5,672円 ・消耗品 5,672円 小学校・調理クラブ内において、地場産野菜を活用し、食育推進活動を行った。 食品ロス対策として、新型コロナウイルスで休校し、不要となったデザートや行事食を市内保育園等に配布した。</p>
				<p>○グリーンツーリズム推進事業費 農家民宿の開業支援や勉強会を実施、また旅行博でのPR等国内外からの誘客を支援するとともに受入態勢の整備を行う。</p>	<p>○グリーンツーリズム推進事業費 1,741,472円 ・PR事業等参加旅費 137,840円 ・消耗品費 217,314円 ・公用車燃料費 51,879円 ・PRパンフレット（日・英）作成 185,900円 ・通信運搬費 82,075円 ・広告宣伝 300,000円 ・公用車保険料 17,600円 ・使用料及び賃借料 261,864円 ・秋田花まるっグリーンツーリズム推進協議会負担金 200,000円 ・農山村体験推進協議会補助金 287,000円 増加する海外からの個人旅行者への対応として英語版の農家民宿のパンフレットを新たに作成した。農家民宿全体の入込数は13,311人で前年より1,270人増加、また海外からも2,554人受け入れている、前年より424人増加している。</p>

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				<p>○農業夢プラン型戦略作目等生産基盤拡大事業費</p> <p>農業を先導する認定農業者等に対し、秋田県農林漁業振興臨時対策基金を活用し、米に依存しない複合経営への転換や農産物加工等による高付加価値化、契約栽培による経営の多角化などの取組を総合的に支援する。</p>	<p>○農業夢プラン型戦略作目等生産基盤拡大事業費 18,859,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夢プラン実現事業費補助金 対象 機械、資材等： 13 件、畜産 11 件 補助金 16,974,000 円（うち県費 13,584,000 円） ・しいたけ生産施設等整備事業費補助金 対象 1 件 補助金 1,885,000 円（うち県費 1,077,000 円） <p>機械・施設等の導入を支援することにより、戦略作物の産地づくりの強化、競争力の高い経営体の育成に寄与した。</p>
				<p>○農業競争力強化事業費</p> <p>ネット販売を含めた市内農産物の販路拡大、新しい作物への取り組み支援及び6次産業化・IoT農業等を推進する。</p>	<p>○農業競争力強化事業費 459,320円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅費 35,900円 ・需用費（消耗品、ガソリン） 154,236円 ・役務費（郵便料等） 33,804円 ・庁用車リース料 235,380円 <p>農産物等加工品の出展等により、首都圏等への販路が拡大した。センサー等を活用した温・湿度管理など、先進農業への取り組みの促進に寄与した。</p>
				<p>○経営所得安定対策推進事業費</p> <p>対象事業への取組みに対して国が交付金を交付し、農家の経営所得の安定化を図る。</p>	<p>○経営所得安定対策推進事業費 8,082,524円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産調整事務補助 1,353,484円 ・水田管理システム使用料 824,040円 ・補助金（仙北地域農業再生協議会） 5,905,000円 <p>交付金交付事務を円滑に進めることができ、農家の経営所得の安定化に寄与した。</p>
				<p>○薬用作物等産地拠点化支援事業費</p> <p>国内需要の拡大が見込まれる薬用作物を農業経営に組み込み、農家の所得向上と経営安定を図るため、生薬製剤メーカーと連携し薬用作物等の産地化を推進する。</p>	<p>○薬用作物等産地拠点化支援事業費 1,396,200円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修旅費 2,200円 ・産地化支援補助金 1,394,000円 <p>市内の気候や土壌にあった薬用作物の効率的・安定的な栽培に向けた技術の向上に寄与した。</p>

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				<p>○通農体験・農業定住（五感楽農）事業費</p> <p>都市部との交流を目的とした農村生活体験ツアーをJR秋田支社と共催する。農業を軸とした自然や伝統文化、観光資源を含めたツアーを企画することで将来的にはツアー参加者の定住・移住に繋げる。</p>	<p>○通農体験・農業定住（五感楽農）事業費 289,957円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師、体験指導、農地管理謝礼 135,000円 ・農業体験参加者土産、消耗品 126,796円 ・役員費 28,161円 <p>五感楽農農園を開設し、受け入れ地域を仙北市全域に広げた。首都圏からの移住者の講話も実施し、2回のツアーで41人が参加した。</p>
				<p>○産地パワーアップ事業費補助金</p> <p>地域の営農戦略として、地域農業再生協議会が定めた「産地パワーアップ計画」に基づき、安定的な土地利用型作物の産地づくりを推進するため、地域の基幹的な機械・施設等の整備を支援する。</p>	<p>○産地パワーアップ事業費補助金 138,966,000円</p> <p>【繰越明許】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乾燥調製施設の新築 ・補助対象事業費 税抜231,610,000円 <p>補助金 138,966,000円（うち国費：115,805,000円）</p> <p>農家の高齢化が進む中、耕作放棄地を未然に防ぐため、農地中間管理機構を通じ農地の集約を図るとともに、水稻乾燥調製施設の建築に支援補助し、水稻作付け面積の拡大及び収量・品質の向上に寄与した。</p>
				<p>○ほ場整備区域地力増進作物作付事業費補助金</p> <p>ほ場整備事業の実施による表土移動などによる水田地力の衰えを防止するため、地力増進作物作付及び管理を推進する。</p>	<p>○ほ場整備区域地力増進作物作付事業費補助金 5,860,000円</p> <p>対象箇所 神代第2地区</p> <p>対象面積 586ha（10aあたり10,000円）</p> <p>ほ場整備事業の実施による表土移動などによる水田地力の衰えを防止するため、地力増進作物ライ麦を播種し、翌年度作付までの適正な維持管理に寄与した。</p>
				<p>○仙北市畑作園芸等振興事業費補助金</p> <p>水田を活用した園芸作物等の産地を育成するため、畑作物の生産性向上、省力化、規模拡大を目的とした農業者に対し、必要な機械・資材等の導入を支援する。</p>	<p>○仙北市畑作園芸等振興事業費補助金 4,999,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交付件数： 16件 4,999,000円 <p>園芸作物の新規作付・規模拡大に対し、機械・資材などを支援することにより、米偏重からの脱却、産地づくり化に寄与した。</p>

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				<p>○元気な中山間資源を活かす生産体制整備事業費補助金</p> <p>地域農産物の導入及び6次産業化の実践に必要な機械、施設の導入により特色ある中山間地域農業の展開を図る。</p>	<p>○元気な中山間資源を活かす生産体制整備事業費補助金 11,088,000円</p> <p>・機械、資材等： 10 件 ・補助金 11,088,000 円（うち県費 10,172,000 円） 地域農産物の生産に必要な機械・施設の導入により、特色ある中山間農業の展開を推進した。</p>
				<p>○機構集積協力金推進事業費補助金</p> <p>土地利用型農業からの経営転換や高齢化などによるリタイアなどを契機として、農地中間管理機構を通じた農地集積や連坦化を進める。</p>	<p>○機構集積協力金推進事業費補助金 39,996,900円</p> <p>・交付対象：52件 農地中間管理機構を通じて、地域の中心となる経営体への農地集積や分散化した農地の連坦化を円滑に進め地域農業のあり方について各集落ごとに話し合いがもたれ、将来的に効率的な農業経営を推進した。</p>
				<p>○環境保全型農業直接支払交付金事業費補助金</p> <p>農業者団体等が行う地球温暖化の防止などの環境保全に効果の高い営農活動に対し助成する。</p>	<p>○環境保全型農業直接支払交付金事業費補助金 853,600円</p> <p>・交付対象：1 団体、1,067a 地球温暖化の防止に貢献し、農村環境の機能保全に寄与した。</p>
				<p>○新規就農総合支援事業費補助金</p> <p>青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るための経営安定支援、地域のリーダー的人材を育成する。</p>	<p>○新規就農総合支援事業費補助金 12,375,000円</p> <p>・青年就農給付金（経営開始型） 4,125,000円 夫婦2組 ・農業次世代人材投資資金（経営開始型） 8,250,000円 夫婦1組、個人4人 新規就農者の安定的な経営開始を支援することで、新規就農者の確保、育成を推進した。</p>
				<p>○担い手確保・経営強化支援事業</p> <p>担い手の育成・確保の取り組みと農地の集積・集約化の取り組みを一体的かつ積極的に推進する地域において、地域の担い手が経営発展に意欲的に取り組む際に必要となる農業機械</p>	<p>○担い手確保・経営強化支援事業 1,590,000円</p> <p>【繰越明許】 ・田植機 1台 ・補助対象事業費 税抜3,180,000円 補助金 1,590,000 円（全額国費：補助率 国1/2以内）</p>

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				等の導入について支援する。	売上高の拡大や経営コストの縮減など経営発展に関する目標を定めて、支援することにより、次世代を担う経営感覚に優れた担い手の育成確保を図る。
				○農業用マルチコプター導入事業費等補助金 農業用マルチコプターの所有者、又は1年以内に保有が見込まれる者に対して産業用マルチローターオペレーター技能認定証取得費用及び機材導入に助成する。	○農業用マルチコプター導入事業費等補助金 3,185,000 ・技能認定証(免許)取得助成 5件 400,000円 ・機体取得助成 4件 2,785,000円 農業への先進技術の導入を促進し、市内農家における防除等体制の確立に寄与した。
				○女性農業者連絡協議会活動助成補助金 農業分野において女性が活躍しやすい環境整備の充実を図るため、女性農業者が組織する連絡協議会活動費に助成する。	○女性農業者連絡協議会活動助成補助金 100,000円 ・補助金 100,000円 市内の親子等の参加による料理教室等を実施。食育の普及が図られたほか、女性農業者の意識高揚につながった。
				○条件不利農地を担う経営体支援事業費補助金 中山間地等において、担い手が秋田県農地中間管理機構を活用して条件が不利な農地を借り受けて規模拡大を図るとともに、農作物を生産しながら農地の保全に取り組む経営体を支援する。	○条件不利農地を担う経営体支援事業費補助金 3,363,465円 ・交付対象：26件 担い手が中山間地域の条件不利農地を農地中間管理機構を通じて集積することにより、農地本来の目的である農産物を生産し、耕作放棄地の発生を抑制した。
				○強い農業・担い手づくり総合支援交付金 売上高の拡大や経営コストの縮減など経営発展に関する目標を定めて、支援することにより、次世代を担う経営感覚に優れた担い手の育成確保を図る。	○強い農業・担い手づくり総合支援交付金 2,781,000円 ・コンバイン、田植機 1件 ・補助対象事業費 税抜9,270,000円 補助金 2,781,000円 (全額国費：補助率 国3/10以内) 農地中間管理機構を通じた利用権の設定及び農作業受託による経営規模の拡大及び経営コストの縮減に寄与した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				<p>○仙北市堆肥センター管理運営費 平成30年度から供用開始した仙北市堆肥センターを適切に管理運営する。</p>	<p>○仙北市堆肥センター管理運営費 9,718,272円 ・家畜排泄物処理量 2t車 675台 使用料 587,960円 ・堆肥販売量 1,280.3m³ 販売料 2,946,880円 仙北市堆肥センターの稼働により畜産環境が充実し、また堆肥センター製造堆肥の販売により持続可能な耕畜連携農業の推進に寄与した。(H30.10月から販売開始)</p>
				<p>○家畜導入事業費補助金 育種価評価に基づき発育、資質ともに優れた育成子畜を家畜市場等より導入し、家畜改良の促進、優良子畜生産基盤の確立に資する。</p>	<p>○家畜導入事業費補助金 4,330,000円 ・優良雌牛導入事業 7件 1,930,000円 ・優良牛自家保留事業 20件 600,000円 ・肥育素牛導入事業 2件 1,800,000円 発育、資質ともに優れた育成子畜について、家畜市場等からの導入を進めることで、家畜改良の促進、優良子畜生産基盤の確立を推進した。</p>
				<p>○認定牛改良推進事業費補助金 市内の高能力牛の改良を促進し、その産子を市内に留めるために、改良に必要な費用について、仙北市和牛生産改良組合を通じて助成を行うことで、飼養牛の改良を進め畜産農家の所得向上に資する。</p>	<p>○認定牛改良推進事業費補助金 254,200円 ・仙北市和牛生産改良組合精液管理費 75,900円 ・仙北市和牛生産改良組合研究員費 100,000円 ・仙北市和牛生産改良組合宣伝広告費 78,300円 高能力牛の推奨交配を進め改良を促進するとともに、あきた総合家畜市場において改良組合認定牛産子の宣伝を行い、畜産農家の所得向上に寄与した。</p>
				<p>○農地集積加速化基盤整備事業費 農地・農業用施設の一体的な整備を実施することにより、営農効率及び営農収入の改善を図る。</p>	<p>○農地集積加速化基盤整備事業費 182,173,433円 ・事業対象：潟野十二峠、生保内南、神代 賃金：1,189,500円(各種専門委員会賃金) 需用費：838,933円 役務費：30,000円 委託料：5,700,200円(換地等調整業務) 負担金：59,189,800円(事業費負担)</p>

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
					<p>【繰越明許】 115,225,000円</p> <p>・事業対象：潟野十二峠、生保内南、神代 負担金：115,225,000円（事業費負担）</p> <p>農地・水路・農道を一体で整備することにより、大型機械の導入が可能となり作業効率の向上が見込まれる。また、汎用田化し農業法人に集約することにより、大規模経営が可能となり、多品目の作物を作付することができ、農業収入の増加が見込まれる。</p>
				<p>○多面的機能支払交付金事業費 農業・農村の多面的機能を支える地域の共同活動を支援する。</p>	<p>○多面的機能支払交付金事業費 166,928,298円</p> <p>・事業対象：角館地区＝15組織 田沢湖地区＝17組織 西木地区＝18組織</p> <p>共済費：247,449円 賃金：1,471,615円 需用費：426,740円 役務費：138,320円 使用料：745,200円 補助金：農地維持 98,007,600円 資源向上 59,094,700円 返還金：6,796,674円</p> <p>農家のみならず非農家を含む地域住民による共同活動や地域交流により、農業の有する防災機能及び自然環境の保全等の機能が維持管理された。</p>
				<p>○農地中間管理機構関連ほ場整備事業費 農地の有効活用を図り、農業経営の効率化や農村地域の活性化に資する。</p>	<p>○農地中間管理機構関連ほ場整備事業費 9,309,161円</p> <p>・事業対象：八津鎌足、中川</p> <p>賃金：439,200円（各種専門委員会賃金） 需用費：175,000円 役務費：5,961円 委託料：2,739,000円（換地等調整業務） 補助金：5,950,000円（調査計画及び事業費負担）</p> <p>農地・水路・農道を一体で整備することにより、大型機械の導入が可能となり作業効率の向上が見込まれる。また、汎用田化し農業法人に集約することにより、大規模経営が可能となり、多品目の作物を作付することができ、農業収入の増加が見込まれる。</p>

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○ため池等整備事業費負担金 県営ため池防災事業および農業用河川工作物応急対策事業への負担金。	○ため池等整備事業費負担金 13,060,000円 負担金：12,380,000円 【繰越明許】 680,000円 負担金：680,000円 農業用排水施設の改修等の事業推進に資することができた。
				○担い手育成農地集積事業費補助金 担い手育成基盤整備事業による事業完了地区で、要件を達成した地区について利子助成を行う。	○担い手育成農地集積事業費補助金 216,297円 真崎地区 52,480円 下田沢地区 21,557円 花園地区 49,078円 白岩第一地区 77,427円 川原北部地区 8,050円 田中八割地区 7,705円 ほ場整備事業時に借り入れた地元負担金の利子を助成することにより、担い手の育成及び農地集積が図られた。
				○小土地改良事業費補助金 水利組合等の任意組織または2戸以上の農家申請により、申請者が行う土地改良事業に対し30%補助金を交付する。	○小土地改良事業費補助金 1,220,000円 板港地区 1,220,000円 水路・ポンプ等の水利施設及び農道等の農業施設の更新・改修に対して補助金を交付することにより、維持管理や作業効率の向上が図られた。
				○都市農村交流施設管理運営費 田沢湖ハーブガーデンハートハーブの管理運営を行う。	○都市農村交流施設管理運営費 5,314,874円 ・修繕料 786,250円 ・委託料（指定管理業務委託料） 4,465,185円 ・火災保険料 63,439円 民間の指定管理者が管理運営を行うことで、利用者サービスの向上及び集客力の強化を推進した。
				○花葉館・角館森林総合利用施設管理運営費 花葉館・角館森林総合利用施設の管理運営を行う。	○花葉館・角館森林総合利用施設管理運営費 15,907,410円 ・役務費 67,199円 ・委託料（指定管理業務委託料） 15,552,000円 民間の指定管理者が管理運営を行うことで、利用者サービスの向上及び集客力の強化を推進した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○都市農村交流施設整備事業費 田沢湖ハーブガーデンハートハーブの施設整備を行う。	○都市農村交流施設整備事業費 1,251,720円 ・委託料 301,320円 ・空調設備更新工事一式 950,400円 設備の更新等の適切な管理により、利用者の安全確保と利便性が向上した。
				○花葉館施設整備事業費 花葉館設備の更新に係る工事費	○花葉館施設整備事業費 21,279,510円 ・需要費 747,010円 ・委託料 2,243,800円 ・工事請負費 18,288,700円 花葉館の不具合箇所を工事することにより、施設の安定的かつ継続的な運営が可能となった。

6 款 農林水産業費 2 項 林業費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
100,413,000	97,441,665	2,001,000	970,335	○有害鳥獣駆除事業費 平成27年度から仙北市有害鳥獣対策実施隊を発足し、仙北市鳥獣被害防止計画に基づき、被害を防止する。 仙北市鳥獣被害防止計画 令和元年度から令和3年度 (平成30年度計画更新)	○有害鳥獣駆除事業費 4,471,990円 ・有害鳥獣対策実施隊出動実績 ①申請許可申請 田沢湖20件 角館 6件 西木28件 ②口頭許可申請 田沢湖 3件 角館 2件 西木 2件 ③出動延べ人数 田沢湖2016人 角館544人 西木516人 令和元年度のクマの捕獲頭数は56頭である。農林産物の被害軽減、住民の生命・身体等に係る被害を防止した。
				○高能率生産団地路網整備事業費 基幹林業専用道路網を整備し、主伐・間伐時の低コスト化を図ると共に、林業生産体制の確立を図る。	○高能率生産団地路網整備事業費 4,165,000円 林道専用道 鹿ノ作線 4,165,000円 ・調査測量 L=1.1km 工事延長 H23からH30まで L=3,402m

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				事業施行期間 H23～R2の10か年 総延長 L=4.7km W=3.5m 路線名 鹿ノ作線 L=330m 次期候補地の調査 沢口（西木）古寺（角館） ・事業主体：秋田県 ・負担割合 国：1/2 県：1/3 市：1/6	R元 L=330m 市負担1/6 H23からH30まで 25,000,000円 R元 4,165,000円 計画総延長4,732mのうち、3,732mの進捗である。利用環境整備が図られた。
				○市有林造林保育費 山地の保全と資産価値の増加を目的に、造林した秋田スギの保育並びに活用を図る。 西木町上桧木内字坂本他 搬出間伐 13.62ha	○市有林造林保育費 5,215,919円 西木町地内 ・役務費 3,335,319円（森林国営保険料） ・委託料 坂本地区保育間伐 13.62ha 1,562,000円 将来の山地保全、資産価値の増加に寄与することができた。
				○ふれあいの森整備事業費 地域住民及び観光客にいきいの場を提供し、森林とふれあう空間を整備する。	○ふれあいの森整備事業費 7,713,100円 ・大沢地区森林公園 森林整備 修景施業 5.21 ha 路網整備 歩道開設 752.7 m 森林公園の景観の向上に寄与した。
				○森林経営制度管理事業費 手入れの行き届いていない私有林の人工林について、所有者の同意を得た上で、市町村が間伐等を行い管理する。	○森林経営制度管理事業費 26,390,603円 ・委託料 4,543,880円 ・積立金 21,846,723円 西木地区の私有林人工林の所有者に意向調査を実施した。

7 款 商 工 費 1 項 商 工 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
930,953,000	908,323,012	4,200,000	18,429,988	○特産物販売促進対策費 首都圏において市内の特産品を販売することで、その周知を図りながら産品の良さを印象づけ、販路の拡大に結びつける。	○特産物販売促進対策費 330,897円 ・山の楽市（10/18～20、1/18～19）関係旅費等 330,897 円 東京都町田市ぽっぽ町田で開催される「山の楽市」など首都圏等で行われる特産品販売イベントにおいて地場産品及び観光資源のPR活動を行い、地場産品の普及と地域の知名度向上に寄与した。
				○企業誘致対策事業費 企業誘致活動及び工業団地の維持管理を実施する。	○企業誘致対策事業費 419,741円 ・一般事務費、郵便料 57,989 円 ・企業誘致関連旅費 182,064 円 ・草刈委託料・草刈機賃借料 179,688 円 企業誘致に向けて、田沢湖黒沢工業団地の維持管理に努めた。
				○仙北市商工会補助金 商工業をめぐる地域の諸課題に的確に対応していくため、仙北市商工会の活動を支援する。	○仙北市商工会補助金 11,007,000円 ・通常事業分 7,000,000円 企業に対して各種融資制度の斡旋や専門家等派遣による支援を行い、地元企業の活性化を図るとともに、経営能力向上やネットワーク拡充を目的としたセミナーを開催し、若手経営者や女性経営者の育成に寄与した。 ・観光と物産展 山の楽市 2,500,000円 東京都町田市ぽっぽ町田を会場に物産展「山の楽市」を、10/18～20、1/18～19に開催した。開催期間の売上合計金額は6,344千円(前年比1,109千円増、21.2%増)と前年度より増加した。前年度と会場が異なるため、初めてのお客さんも全体の約6割となっているが、それ以外はリピーターの方であり、市内特産品の販路開拓と継続的な活性化に寄与した。 ・商店街賑わい創出事業 500,000円 昔から受け継がれているお雛様を展示する「角館雛めぐり」を実施し、冬季の観光客が少ない時期にあって中心市街地に賑わいを創出した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
					<ul style="list-style-type: none"> ・市内起業家育成支援事業 700,000円 起業、創業を希望する方に対して創業に係る基礎知識の習得を目的としたセミナーを4回（11月に4日間）開催し、創業しやすい環境の整備に寄与した。 ・商店街等賑わい支援事業費補助金 307,000円 補助対象 3事業者 商店街団体等が実施する集客に向けたイベントに対して支援を行い、異業種間での連携を促すとともに、中心市街地の賑わいを創出した。
				○空き店舗等利活用事業費補助金 空き店舗を活用し、賑わいある商店街づくりの推進に寄与する。	○空き店舗等利活用事業費補助金 220,000円 ・補助対象：4事業者（飲食業(1)、小売業(2)、理美容業(1)) 空き店舗を活用した事業者に対して店舗賃借料の一部を支援し、空き店舗解消を促進するとともに新規創業を生み出した。
				○中小企業活性化支援事業費補助金 新規開業や新分野進出、事業拡張に伴う施設整備等を支援する。	○中小企業活性化支援事業費補助金 14,775,000円 ・新規開業 4事業者 (理美容業(2)、配送業(1)、自動車整備業(1)) ・新分野進出 1事業者（サービス業） ・事業拡張 7事業者（製造業(4)、建設業(1)、葬祭業(2)) 新規開業や新分野進出、事業拡張を目指す事業者を支援し、新たな事業展開を促進した。
				○仙北市中小企業振興資金貸付金利子補給金 設備投資を目的とした借入れに対し、年1.3%を36ヶ月補給する。	○仙北市中小企業振興資金貸付金利子補給金 8,128,786円 ・上半期利子補給金 164件 3,847,527円 ・下半期利子補給金 193件 4,281,259円 事業者の負担軽減を図るとともに新規創業や規模拡張に向けた投資を推進し、地域活性化に寄与した。
				○秋田県信用保証協会保証料補給金 中小企業振興資金における保証料の補給を行う。	○秋田県信用保証協会保証料補給金 24,276,635円 ・仙北市中小企業振興資金保証料補給金 15,657,976円 ・仙北市小口零細企業振興資金保証料補給金 4,909,632円

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要																											
				計画	実績及び効果																										
					<ul style="list-style-type: none"> 仙北市中小企業創業資金保証料補給金 323,732円 秋田県経営安定資金保証料補給金 3,385,295円 事業者の負担軽減を図るとともに各種融資制度の活用を促進し、地域活性化に寄与した。																										
				○企業立地奨励金 産業の振興と雇用の拡大を図るため、企業立地促進条例に定められた奨励金を交付する。	○企業立地奨励金 7,878,926円 <ul style="list-style-type: none"> 固定資産税相当額奨励金（6社） 7,815,200円 借地助成金（1社） 63,726円 奨励金の交付により、市内企業の事業拡張を促進し、雇用機会の拡大に寄与した。																										
				○観光宣伝費 観光客の誘客のため、首都圏や県外でのキャンペーンや旅行雑誌・タウン誌等でPR活動を行う。	○観光宣伝費 8,742,123円 <ul style="list-style-type: none"> 広告料 1,689,987円 <table border="1" data-bbox="1400 742 1780 821"> <tr> <th>雑誌広告</th> <th>その他広告</th> </tr> <tr> <td>4件</td> <td>13件</td> </tr> </table> パンフレット等印刷 3,928,650円 <table border="1" data-bbox="1400 901 2072 1212"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水ばしょう祭りリーフレット</td> <td>15,000部</td> </tr> <tr> <td>仙北市ファッションバック</td> <td>800ヶ</td> </tr> <tr> <td>仙北市観光ガイド（四季色彩）</td> <td>25,000部</td> </tr> <tr> <td>仙北市温泉ガイドマップ</td> <td>27,000部</td> </tr> <tr> <td>角館観光案内マップ（A3版おもむくままに）</td> <td>70,000部</td> </tr> <tr> <td>抱返り溪谷観光ガイドマップ</td> <td>40,000部</td> </tr> <tr> <td>仙北市観光ガイドマップ</td> <td>50,000部</td> </tr> </tbody> </table> 旅費 638,774円 <観光キャンペーン等の実施内容> <table border="1" data-bbox="1400 1332 2072 1444"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>場所</th> <th>期日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>函館・津軽・秋田広域観光推進協議会 広域観光キャラバン</td> <td>埼玉県</td> <td>7/4～7/6</td> </tr> </tbody> </table>	雑誌広告	その他広告	4件	13件	項目	数量	水ばしょう祭りリーフレット	15,000部	仙北市ファッションバック	800ヶ	仙北市観光ガイド（四季色彩）	25,000部	仙北市温泉ガイドマップ	27,000部	角館観光案内マップ（A3版おもむくままに）	70,000部	抱返り溪谷観光ガイドマップ	40,000部	仙北市観光ガイドマップ	50,000部	項目	場所	期日	函館・津軽・秋田広域観光推進協議会 広域観光キャラバン	埼玉県	7/4～7/6
雑誌広告	その他広告																														
4件	13件																														
項目	数量																														
水ばしょう祭りリーフレット	15,000部																														
仙北市ファッションバック	800ヶ																														
仙北市観光ガイド（四季色彩）	25,000部																														
仙北市温泉ガイドマップ	27,000部																														
角館観光案内マップ（A3版おもむくままに）	70,000部																														
抱返り溪谷観光ガイドマップ	40,000部																														
仙北市観光ガイドマップ	50,000部																														
項目	場所	期日																													
函館・津軽・秋田広域観光推進協議会 広域観光キャラバン	埼玉県	7/4～7/6																													

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要			
				計画	実績及び効果		
					3D連携事業 函館グルメサーカス	北海道 函館市	9/6～9/8
					みちのく三大桜 首都圏キャラバン	東京都 愛知県 大阪府	9/25～9/27
					観光と物産「山の楽市」参加	東京都 愛知県 大阪府	10/18～10/20
					別府ONSENアカデミア	大分県	11/8～11/9
					(観光客数)		
					平成30年	比較	令和元年
					4,994,156	4.2万人 (0.84%) 増	5,036,323
					<p>・観光客数について</p> <p>令和元年度は、GW10連休などもあり、春夏シーズンの観光客数は順調に推移したが、秋冬シーズンでは台風によるイベント中止や抱返り溪谷の閉鎖、雪不足によるスキー大会の中止などのマイナス要因により、期待ほどの観光客数の伸びには至らなかった。</p>		
				○観光施設整備事業費 抱返り溪谷トンネル・防護柵改修、モヤ森自転車道改修工事等の県事業費に対する仙北市分の負担金のほか、武家屋敷通りポケットパーク公衆トイレ改修工事を実施する。	○観光施設整備事業費 31,632,114円 ・武家屋敷通りポケットパーク公衆トイレ改修工事監理業務委託 391,600円 ・「フォレイク」公衆トイレ改修工事設計監理業務委託 475,200円 ・武家屋敷通りポケットパーク公衆トイレ改修事業 21,428,000円 ・抱返り溪谷歩道トンネル、防護柵改修負担金 3,469,584円 ・抱返り溪谷歩道支障木除去、橋梁改修負担金 2,134,880円 ・モヤ森自転車道改修負担金 1,159,400円		

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要													
				計画	実績及び効果												
					<ul style="list-style-type: none"> ・ 潟尻園地公衆トイレ既存トイレ撤去負担金 1,013,540 円 【繰越明許】 ・ 玉川温泉道路（歩道）工事負担金 1,559,910 円 <p>国、県と連携しながら仙北市を訪れる観光客が安全かつ快適に当地を満喫できるよう事業を計画・実施している。今後も国や県と連携しながら、案内所やまちなか、自然公園を観光客が満喫出来るよう努める。</p>												
				<p>○教育旅行支援事業費 教育旅行の受入および民間事業者と協働で誘致活動、受入体制の強化、受入ネットワークのコーディネートを行う。</p>	<p>○教育旅行支援事業費 656,348円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育旅行誘致活動旅費 124,300 円 ・ 教育旅行誘致説明会及び課内消耗品 64,489 円 ・ 教育旅行誘致キャラバン時レンタカー燃料代 5,430 円 ・ 体験ガイドマップ増刷 172,800 円 ・ 学習体験新書増刷 233,172 円 ・ 通信運搬費 36,883 円 ・ 使用料及び賃借料 19,274 円 <p>受入人数は22,775人、学校数は223校と前年度より1,973人増加している。また今後増加が見込まれる地域に関して継続して訪問活動を実施した。</p>												
				<p>○国際観光宣伝・誘客事業費 台湾、タイをはじめとする海外からの誘客促進と受入体制の整備、交流人口の拡大を行う。</p>	<p>○国際観光宣伝・誘客事業費 6,389,123円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 海外での活動内容及び旅費 1,392,278円 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>場所</th> <th>期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>台湾亜太国際温泉旅遊協会幹事会</td> <td>中国廈門市</td> <td>5/14～5/16</td> </tr> <tr> <td>台湾トップセールス</td> <td>台湾台北市他</td> <td>8/21～8/24</td> </tr> <tr> <td>2019台北温泉祭り</td> <td>台湾台北市</td> <td>10/31～11/4</td> </tr> </tbody> </table>	項目	場所	期間	台湾亜太国際温泉旅遊協会幹事会	中国廈門市	5/14～5/16	台湾トップセールス	台湾台北市他	8/21～8/24	2019台北温泉祭り	台湾台北市	10/31～11/4
項目	場所	期間															
台湾亜太国際温泉旅遊協会幹事会	中国廈門市	5/14～5/16															
台湾トップセールス	台湾台北市他	8/21～8/24															
2019台北温泉祭り	台湾台北市	10/31～11/4															

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要																	
				計画	実績及び効果																
					<ul style="list-style-type: none"> 仙北市ガイドマップ(英語・繁体)増刷 367,200円 仙北市ガイドマップ(英語・QRマップ)増刷 341,000円 仙北市外国語パンフレット制作業務委託 1,511,400円 タイプロモーション業務委託 1,995,810円 台北温泉祭出展業務委託 209,000円 台湾翻訳及びWEB面接セッティング業務委託 150,000円 秋田空港多目的スペース使用料 108,994円 <p>台湾亜太国際温泉旅遊協会や台北温泉祭参加によるPRや交流を通じ今後の交流人口拡大が見込まれる。また、市内を訪れる外国人向けの受入態勢整備として観光ガイドマップを整備し利便性の向上を図ったことで欧米豪、タイからの訪日外国人も増加した。なお、新型コロナウイルスの影響により毎年交流している高雄マラソンへの選手派遣は中止となった。</p>																
				<p>○がんばれ合宿応援事業費 仙北市内の宿泊施設を利用して、スポーツ合宿・ゼミ等を行う中学・高校・短大・大学の団体に対し宿泊費を補助し、宿泊客の増加を図る。</p>	<p>○がんばれ合宿応援事業費 1,498,000円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施学校区分</th> <th>実施校数</th> <th>参加者数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中学校</td> <td>2</td> <td>114</td> <td>228,000円</td> </tr> <tr> <td>高等学校</td> <td>8</td> <td>1,058</td> <td>848,000円</td> </tr> <tr> <td>大学</td> <td>5</td> <td>271</td> <td>422,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>夏期の合宿利用は例年並みであったが、雪不足によるスキー大会の中止などの影響により、冬期の合宿利用が例年より少なかった。スポーツ合宿の他、勉強合宿やゼミ合宿などでの利用の増加傾向も見られる。</p>	実施学校区分	実施校数	参加者数	補助金額	中学校	2	114	228,000円	高等学校	8	1,058	848,000円	大学	5	271	422,000円
実施学校区分	実施校数	参加者数	補助金額																		
中学校	2	114	228,000円																		
高等学校	8	1,058	848,000円																		
大学	5	271	422,000円																		
				<p>○台湾修学旅行誘致促進事業費 台湾からの修学旅行誘致に関する活動と受入時の支援を行う。</p>	<p>○台湾修学旅行誘致促進事業費 405,146円</p> <ul style="list-style-type: none"> 台湾現地での教育旅行誘致活動旅費 384,450円 <p>台湾現地説明会への参加や、台湾での学校訪問誘致活動を継続して行っており、毎年3～4校ほどの来訪に繋がっている。</p>																
				<p>○青少年国際交流事業費 台湾国立師範大学附属高級中学と秋田県立角館高等学校の姉妹校交流事業を支援する。また、角館中学校の姉妹校締結支援を行う。</p>	<p>○青少年国際交流事業費 1,309,826円</p> <ul style="list-style-type: none"> 角館高校姉妹校提携時記念品 75,280円 角館高等学校台湾修学旅行補助金 560,000円 <p>角館高校2年生14人が訪台(1人当たり上限4万円)</p> <ul style="list-style-type: none"> 角館高等学校姉妹校宿泊借上料 661,500円 																

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要					
				計画	実績及び効果				
					台湾国立師範大学附属高級中学 生徒35人（市内農家民宿に二泊三日宿泊） 角館高等学校の生徒14人が姉妹校である台湾国立師範大学附属高級中学を訪問し、国際交流活動を行うことができた。また、角館高校が修学旅行時に同校を訪問し交流をするための旅費の補助を行い、相互交流により国際的感覚の醸成に繋がった。				
				○インバウンド横軸連携受入整備事業費（観光復興交付金） 秋田市、男鹿市、大仙市と連携し、2次アクセス整備を目的とした観光周遊タクシーを運行。また、市内観光地を結ぶ二次交通網整備を行い、外国人の受入態勢を整える。	○インバウンド横軸連携受入整備事業費 12,314,960円 ・秋田中央横軸連携FIT受入モデル地域整備事業委託費（4市連携事業） 1,057,782円 ・市内二次交通運行業務委託費 11,257,178円 10/12～11/10市内周遊型バス・タクシーを運行 秋田県の横軸である4市が連携して、FIT(訪日個人旅行者)向けの二次交通網整備を行うことにより、FITの広域周遊観光の促進に寄与した。また、市内の受入環境整備として「田沢湖・角館周遊パス」の運行を行い、期間内に2,710人が利用した。				
				○角館祭りのやま行事公開展示事業費 ユネスコ無形遺産に登録された「角館祭りのやま行事」について、実物の曳山を通年で公開展示を行うことにより、観光客に対してお祭りのPRと誘客を図る。	○角館祭りのやま行事公開展示事業費 799,500円 <table border="1" data-bbox="1400 877 2116 957"> <tr> <td>公開展示 人形賃借料</td> <td>750,000円</td> </tr> <tr> <td>公開展示 冬囲い掛け作業 委託料</td> <td>49,500円</td> </tr> </table> 祭り期間以外にも、実物の曳山を見学してもらえるスポットとして活用できた。また地元小学生の学習の場に使われるなど、地域への貢献も高い事業となった。	公開展示 人形賃借料	750,000円	公開展示 冬囲い掛け作業 委託料	49,500円
公開展示 人形賃借料	750,000円								
公開展示 冬囲い掛け作業 委託料	49,500円								
				○ユニバーサルツーリズム促進事業費 市民に向けユニバーサルツーリズムの考え方の浸透や認知向上を図る。	○ユニバーサルツーリズム促進事業費 748,068円 ・ユニバーサルシンポジウム講師料 705,000円 市民向けのユニバーサルツーリズムシンポジウムを開催することで、ユニバーサルマナーの浸透に寄与した。				
				○桜まちづくり事業費 角館落合地区・古城山及び田沢湖下高野地区の桜の維持管理を実施する。	○桜まちづくり事業費 3,761,190円 落合、田沢湖下高野地区を中心に、通年での草刈り、施肥、選定作業等を行い、桜の維持管理の他、桜に対する有害鳥獣「ウソ」の駆除を委託し実施した。 また桜の新名所づくりを目指し、PR活動や関係各所との連携を進めた。				

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
					<ul style="list-style-type: none"> ・高野町内会へ桜の苗木提供、ウソ駆除についてチラシ配布依頼など ・水沢温泉郷町内会へウソ駆除連絡 ・生保内財産区と桜植栽地での管理に関して情報交換 ・NPO法人角館里山再生プロジェクトと情報交換
				<p>○地域ブランディングによる観光まちづくり事業費（地方創生推進交付金）</p> <p>仙北市内にある地域資源のブランディングを図るとともに、訪日観光客を受け入れるための環境及び体制整備、海外プロモーション、外国人材を採用した観光情報等の発信を行う。</p>	<p>○地域ブランディングによる観光まちづくり事業費 20,761,415円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際交流員賃金 令和2年9月から着任 1,960,000円 ・海外誘客に向けた態勢整備及び情報発信業務委託 8,426,000円 ・観光ルート開発に向けた動態調査業務委託 1,727,880円 ・ムスリム受入態勢整備業務委託 3,355,000円 ・観光ルート開発に向けた動態調査業務委託 1,727,881円 ・WEB接客ツール導入及び分析業務委託 3,355,000円 <p>訪日外国人向けの情報発信や受入態勢整備、ホームページの観光情報のエリアゲート設定等を進めることで仙北市の認知度を高め、特に欧米豪やタイの来訪者増加に繋げた。また、将来的にムスリム圏域の訪日旅行客を受け入れるための態勢整備も進めた。令和元年9月からは台湾から国際交流員を採用し、情報発信や交流人口の窓口担当として活躍している。</p>
				<p>○秋田の観光創生推進会議負担金</p> <p>官民が一体となった一体となった誘客宣伝活動や受入態勢整備を推進する秋田の観光創生推進協議会の事業経費を負担する。</p>	<p>○秋田の観光創生推進会議負担金 1,063,000円</p> <p><秋田の観光創生推進協議会事業概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・アキタノ魅力発信強化事業/テーマ別キャンペーン推進事業、タイアップによる誘客プロモーション ・国際誘客推進事業/インバウンド誘客推進事業 ・観光力アップ推進事業/地域間連携等強化事業 ・受入態勢整備事業/歓迎ムード醸成事業

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要														
				計画	実績及び効果													
					<ul style="list-style-type: none"> 各種会議の開催等 誘客プロモーションや地域間連携など、仙北市の観光を強化・推進する場となっている。東北DCなど大型キャンペーンを見据え、今後も連携を行う。 													
			<p>○田沢湖・角館観光協会補助金 仙北市3地区の観光協会と観光連盟が合併し、田沢湖・角館観光協会として発足。地域一体となったPR活動及び日本人観光客並びにインバウンド受入態勢の強化を図る。</p>	<p>○田沢湖・角館観光協会補助金 30,906,000円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な事業内容等</th> <th>数量等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>雑誌・新聞等広告</td> <td>12 件</td> </tr> <tr> <td>ポスター作成</td> <td>3,900 枚</td> </tr> <tr> <td>キャンペーン・キャラバン参加</td> <td>7 回</td> </tr> <tr> <td>海外宣伝誘客</td> <td>2 回</td> </tr> <tr> <td>PR用ノベルティー手提げ袋作製</td> <td>5,000 部</td> </tr> <tr> <td>イベント用ロールスクリーン作製</td> <td>3 枚</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> インバウンドセミナー（12/20 参加人数30名） キャッシュレス決済導入推進事業（仙北市商工会との連携事業） <p>合併して2年目、DMO候補法人となって1年目を迎えた。広告宣伝事業、おもてなし向上事業、デジタルマーケティング事業のほか、DMOでは若手経営者や地元高校生とのワーキンググループを開催し、ここで出た意見や課題を部会による専門的立場から議論を重ね、令和2年度に向けた事業をまとめた。</p>	主な事業内容等	数量等	雑誌・新聞等広告	12 件	ポスター作成	3,900 枚	キャンペーン・キャラバン参加	7 回	海外宣伝誘客	2 回	PR用ノベルティー手提げ袋作製	5,000 部	イベント用ロールスクリーン作製	3 枚
主な事業内容等	数量等																	
雑誌・新聞等広告	12 件																	
ポスター作成	3,900 枚																	
キャンペーン・キャラバン参加	7 回																	
海外宣伝誘客	2 回																	
PR用ノベルティー手提げ袋作製	5,000 部																	
イベント用ロールスクリーン作製	3 枚																	
			<p>○伝統的工芸品振興費補助金 角館工芸協同組合及び角館樺細工伝統工芸士会の活動を支援する。</p>	<p>○伝統的工芸品振興費補助金 1,030,000円 角館工芸協同組合が実施する原材料確保を目的とした山桜の現地調査や伝統工芸士の各種活動に対して支援を行い、伝統工芸の振興に寄与した。</p>														
			<p>○伝統工芸品等振興支援事業費補助金 県補助金と併せ、樺細工振興事業を支援する。</p>	<p>○伝統工芸品等振興支援事業費補助金 1,500,000円 角館工芸協同組合が全国各地で実施する展示販売事業や、伝統工芸士を講師とした高難易度技術講習会を支援し、全国に向けた樺細工の販売促進・宣伝等の需要開拓と後継者育成に寄与した。</p>														

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○特別展開催費（伝承館） 企画展を5回開催する。	○特別展開催費（伝承館） 439,553円 ①打掛展と女道具展 4/13～6/16 13,222人 ②浮世絵展 6/22～8/25 6,233人 ③金峰神社絵馬展 8/31～11/4 7,416人 ④秋田県立博物館出張展示 世界の鉱物展 11/9～1/26 3,250人 ⑤角館のひな人形展 2/1～3/31 2,204人 郷土資料を展示する地域密着型の特別展を開催することにより、地域に伝わる文化資料を来館者に紹介した。 秋田県立博物館の「出張展示」を実施することにより、地域の生涯学習機運を高める機会を提供した。
				○伝承館誘客促進事業費 入館者の増加を目指し、飾山囃子の実演を行う。 夏休み期間中、子供連れ家族の入館者の増加を目指し、小人券で入館する方を対象にスタンプラリーを実施する。	○伝承館誘客促進事業費 407,745円 ・飾山囃子実演委託料 360,000円 ・スタンプラリー記念品代 25,600円 ・通信運搬費、消耗品等 22,145円 飾山囃子実演を7/27～9/1の毎週土・日曜日、伝承館中庭で合計12回実施することにより、周辺に華やかな賑わいを創出し、誘客につながった。 夏休み期間中（7/20～8/17）の29日間、小人券入館者を対象としたスタンプラリーを実施し、171人の子供と同行家族を含めた誘客につながった。

8 款 土 木 費 2 項 道路橋りょう費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
1,163,147,000	687,693,711	462,697,000	12,756,289	○安心・安全道路維持整備費 市道において市民・観光客等の歩行者が、安心・安全を確保できるよう修繕等を行う。	○安心・安全道路維持整備費 2,972,935円 ・作業員賃金 123,900円 ・需用費 293,098円 ・使用料及び賃借料 159,134円 ・市道生保内学校通り線歩道舗装工事 1,276,000円

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
					<ul style="list-style-type: none"> ・原材料費 1,120,803 円 道路通行の安全・安心を確保した。
				<ul style="list-style-type: none"> ○市民参加型インフラ維持整備費 市民が参加し地域のインフラ整備を行うために、必要な資材を支給する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○市民参加型インフラ維持整備費 577,438円 ・インフラ維持整備団体 6団体 ベンチフリューム等 577,438円 市民参加型による地域のインフラ整備の実施に寄与した。
				<ul style="list-style-type: none"> ○社会資本整備総合交付金事業費 道路改良により交通基盤を整備し、歩行者や交通量に配慮した安全・安心な市道の整備を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○社会資本整備総合交付金事業費 114,255,268円 ・鯉瀬橋橋梁補修設計業務委託 8,002,600 円 ・仙北市橋梁長寿命化修繕計画策定業務委託 20,350,000 円 ・桧木内橋橋梁補修設計業務委託 12,908,500 円 ・吉田跨線橋（上部工）補修工事 4,620,000 円 ・田沢湖線志度内（信）田沢湖間田沢湖橋橋りょう補修工事負担金 19,187,372 円 【繰越明許】 49,186,796円 ・登記委託料 533,634 円 ・設計業務委託料 37,814,000 円 ・市道神代中央線道路改良工事 8,844,000 円 ・用地購入費 1,995,162 円 歩行者や交通量に配慮された安全安心な市道の整備を推進した。
				<ul style="list-style-type: none"> ○臨時地方道整備事業費 道路改良、舗装、側溝改良を行い、道路の安全と利便性の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○臨時地方道整備事業費 73,487,919円 ・市道白簾上清水線囑託登記委託料 196,408 円 ・市道白簾上清水線囑託登記委託料 69,715 円 ・市道東田手習石線測量業務委託料 1,210,000 円 ・市道手倉野四十程線用地・調査測量及び設計業務委託 5,938,900 円 ・道路横断地下埋設電源改修工事 91,850 円

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
					<ul style="list-style-type: none"> ・側溝改良工事 (市道外日三市線ほか11路線) 17,470,300 円 ・道路改良工事 (市道白旗上清水線) 16,327,300 円 ・道路舗装工事 (市道山口大台野線ほか8路線) 20,658,240 円 ・用地買収費用 1,832,905 円 ・支障電柱移設工事補償費 88,421 円 【繰越明許】 9,603,880円 ・側溝改良工事 3,635,280 円 ・道路改良工事 5,968,600 円 <p>歩行者や交通量に配慮された安全安心な市道の整備を推進した。</p>
				<p>○辺地対策事業費 道路改良、舗装、橋梁改良を行い、道路の安全と利便性の向上を図る。</p>	<p>○辺地対策事業費 89,277,527円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市道大瀬蔵野線 (大瀬蔵野橋) 用地測量業務委託 5,544,000 円 ・市道大瀬蔵野線嘱託登記委託料(分筆、地積更正) 1,333,101 円 ・市道大瀬蔵野線嘱託登記委託料 309,109 円 ・建設資材価格市況調査業務委託 (大瀬蔵野橋) 委託料 193,600 円 ・市道広久内中川原1号線道路改良工事 25,559,600円 円 ・市道大瀬蔵野線道路改良工事 45,320,000円 円 ・用地買収費用 9,391,752 円 ・移転工事補償費 1,626,365 円 <p>歩行者や交通量に配慮された安全安心な市道の整備を推進した。</p>

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○道路改良事業費 道路改良、局部改良、側溝改良を行い、道路の安全と利便性の向上を図る。	○道路改良事業費 11,108,208円 ・登記委託料（所有権移転） 89,444 円 ・境界確認業務委託料 275,126 円 ・測量設計業務委託料 486,000 円 ・登記嘱託業務委託料 97,335 円 ・登記委託料 122,473 円 ・登記委託料（分筆登記） 809,661 円 ・市道中関2号線道路局部改良工事 1,122,000 円 ・用地購入費 416,369 円 ・電気通信線路設備移転工事補償費 1,899,300 円 【繰越明許】 5,790,500円 ・電気通信線路設備移転工事補償費 5,790,500 円 歩行者や交通量に配慮された安全安心な市道の整備を推進した。
				○田沢湖一般廃棄物最終処分場搬入路整備事業費 田沢湖一般廃棄物最終処分場へ至る市道向生保内線の道路改良を行い、道路の安全と利便性の向上を図る。	○田沢湖一般廃棄物最終処分場搬入路整備事業費 13,260,240円 【繰越明許】 ・市道向生保内線道路改良工事 13,260,240 円 田沢湖一般廃棄物最終処分場へ至る安全な搬入路を整備した。

8 款 土 木 費 5 項 住 宅 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
57,414,000	56,121,635	0	1,292,365	○住宅リフォーム促進事業費補助金 市内の住宅環境の改善による市民生活の向上及び地域経済の活性化を図るため住宅リフォームに係る費用に補助する。	○住宅リフォーム促進事業費補助金 8,169,000円 ①持ち家型 ・一般世帯 65件 4,930,000 円 ・子育て世帯 12件 2,047,000 円 ②空き家購入型

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
					<ul style="list-style-type: none"> ・市内在住(子育て世帯) 2件 600,000円 ・市外移住(子育て世帯) 1件 400,000円 ③災害復旧 1件 192,000円 交付した補助金8,169,000円に対し、リフォーム発注総額(補助対象事業費)は200,311,323円にのぼり、直接効果で約25倍の経済効果及び被災者支援に効果があった。

9 款 消 防 費 1 項 消 防 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
1,024,130,000	1,008,538,504	9,138,000	6,453,496	○自主防災組織育成事業費 地域の自主的な防災活動を推進し、災害による被害を最小限に抑えるため、自主防災組織の育成及び組織活動の推進を図る。	○自主防災組織育成事業費 897,927円 ・自主防災組織動推進事業費助成金(20組織) 785,600円 地域の自主的な防災活動を推進し、災害による被害を最小限に抑えるため、自主防災組織育成及び組織活動を支援した。また、各自主防災組織においては、避難訓練、消火訓練、炊き出し訓練、防災集会等を実施した。
				○消防団員家族慰労金支給事業費 20年以上勤務して退職した団員の家族に、当該団員に給付された退職報奨金を基礎として算出した金額の慰労金を支給する。	○消防団員家族慰労金支給事業費 1,071,100円 ・退職消防団員家族慰労金(16名へ支給) 1,071,100円 消防団員の確保と消防団員を支える家族の理解を得ることができた。
				○消防施設維持管理費 消防施設資機材(積載車・ポンプ庫等)の適正な維持管理を行う。	○消防施設維持管理費 11,193,637円 ・防火水槽・消火栓修繕 271,244円 ・消防ポンプ(庫)・積載車修繕 1,328,770円 ・消防用施設借地料 465,000円 ・消防用ホース 910,440円 消防資機材の適正な維持管理を行うことで、有事に対する体制整備を推進した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				<p>○消防施設整備事業費 消防力強化を図るため、ポンプ付積載車及び小型ポンプの更新、地水利強化のため消火栓の新設及び防火水槽の新設を実施する。</p>	<p>○消防施設整備事業費 26,529,760円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小型消防ポンプ付積載車(2台) 12,210,000円 ・ 消防ポンプ積載車(3台) 5,445,000円 ・ 消防団員用防火衣(2式) 1,276,000円 ・ 小型消防ポンプ(3台) 7,128,000円 ・ 鐘楼撤去工事(田沢湖地区3基分) 298,080円 <p>防災力の向上を図るとともに、住民の火災に対する不安解消と防災意識の高揚に寄与した。</p>
				<p>○防災行政無線維持管理費 災害時通信体制の万全を期すため、無線系システムの維持管理を行う。</p>	<p>○防災行政無線維持管理費 8,618,418円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災行政無線施設設備維持管理業務 5,770,600円 ・ 防災行政無線電気料 1,846,687円 <p>市民への防災広報の体制を適正に維持管理した。</p>
				<p>○危険空き家対策費 市内で増加する空き家対策として、危険老朽空き家を解体撤去する場合、一定要件を満たした物件には解体費用の一部を助成する。</p>	<p>○危険空き家対策費 3,065,232円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 危険老朽空き家対策支援事業費補助金(6件) 2,901,000円 <p>一冬で空き家の状況が変わるため、件数も増加し、適正に管理・安全の確保を行った。</p>
				<p>○防災の集い開催事業費 仙北市防災週間において、市民の防災啓発を図る。令和元年度より市内にて避難訓練を開催する。</p>	<p>○防災の集い開催事業費 130,186円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災の集い開催事業費消耗品 45,320円 ・ 小勝田地区避難訓練飲食代 84,866円 <p>関係団体と協力し、市民の防災意識の高揚に努めた。</p>
				<p>○再災害防止対策事業費 何度も災害が発生している箇所について、徹底的に防災強化を図り、将来にわたって安心して生活ができる環境に整備する。</p>	<p>○再災害防災対策事業費 79,398,660円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 冠水対策設計委託業務 1,155,000円 ・ 冠水対策工事(4本) 4,112,600円 ・ 河川改修工事 前払い金(1本) 1,100,000円 ・ 河川改修工事(2本) 3,373,700円

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
					【繰越明許】 69,657,360円 ・ 河川改修調査測量及び設計業務委託 8,240,400円 ・ 河川改修工事 26,663,200円 ・ 冠水対策工事 15,483,600円 ・ 内容変更による費用 317,160円 ・ 平成30年度繰越分 18,953,000円 何度も災害が発生している箇所を選定し、再災害防止のための対策工事を実施した。
			○防災無線施設再構築検討委員会開催事業費 防災行政無線のデジタル化やそれに代わるシステムを検討するための検討委員会を開催する。	○防災無線施設再構築検討委員会開催事業費 81,400円 ・ 防災無線施設再構築検討委員会謝礼 74,800円 ・ 遠野市防災無線施設視察 6,600円 アナログ波の中で、今後も使用可能な電波帯であったため、今後もアナログ波を使用していく。	

10 款 教 育 費 1 項 教 育 総 務 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
551,824,000	538,142,578	0	13,681,422	○仙北市ウインタースポーツパワーアップ事業費補助金 雪国である仙北市の自然条件を生かして積極的にウインタースポーツに親しむことを支援するとともに、冬期間、運動不足になりがちな児童生徒の体力の維持・向上を図る。	○仙北市ウインタースポーツパワーアップ事業費補助金 1,322,150円 ・ スキー教室のリフト代への補助 ①小学校 角館小学校 315 人参加 204,750 円 中川小学校 40 人参加 26,000 円 白岩小学校 87 人参加 56,550 円 生保内小学校 240 人参加 156,000 円 神代小学校 194 人参加 126,100 円 西明寺小学校 231 人参加 150,150 円

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				①小学校 角館中学校 生保内中学校 神代中学校 西明寺中学校 ②中学校 角館中学校 生保内中学校 神代中学校 西明寺中学校 桜木内中学校 スキー教室のリフト代の負担を軽減し、ウインタースポーツを通じた体力の向上に寄与した。	64人参加 41,600円 395人参加 395,000円 70人参加 70,000円 49人参加 49,000円 29人参加 29,000円 18人参加 18,000円
			○要保護及び準要保護児童生徒就学援助費 経済的理由により、就学が困難な児童生徒の保護者に対して、就学に必要な援助を行う。	○要保護及び準要保護児童生徒就学援助費 ・事業対象 要保護 小学校 2人、中学校 4人 準要保護 小学校 28人、中学校 29人 就学に係る学用品費等、保護者の負担軽減に寄与した。	6,018,720円
			○特別支援教育就学奨励費 特別支援学級へ就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため援助する。	○特別支援教育就学奨励費 ・小学校 18人 ・中学校 10人 就学に係る学用品費等、保護者の負担軽減に寄与した。	1,083,052円
			○高校入学準備貸付金 高等学校に入学を希望する要保護及びこれに準ずる生徒の保護者に1人10万円以内の金額を無利子で貸付する。	○高校入学準備貸付金 ・2人の保護者に貸付 無利子貸付金により経済的負担の軽減に寄与した。	200,000円
			○育英奨学基金繰出金 若年層の定住促進を図るため、仙北市に居住し就労している者の償還金を免除し、同額を育英奨学基金に繰り出す。	○育英奨学基金繰出金 ・うち償還金免除分 52件 償還金免除制度の開設4年目であり、利用者に対して制度の周知等を図り、若年層の仙北市定住推進に寄与した。	6,865,400円

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○学校教育バックアップ事業費 学校教育活動等の補助・支援のために、社会貢献を希望する者で組織し、各学校で活用する。	○学校教育バックアップ事業費 333,280円 ・バックアップスタッフへの謝礼 316,480円 支給人員 36人 支給件数 736件 ・バックアップスタッフボランティア保険料 16,800円 バックアップスタッフの活動により、学校教育活動の充実に寄与した。
				○スクールカウンセラー配置・活用事業費 スクールカウンセラーを中学校に派遣し、不登校・保健室登校の児童生徒をなくすため、市内の児童生徒・保護者・教師の相談指導を行う。	○スクールカウンセラー配置・活用事業費 238,640円 ・臨床心理士への報償費・交通費等 ・事業内容 市内小中学校教師、保護者、児童生徒への相談指導 相談件数 16件 不登校等児童生徒の悩みについてカウンセリングを行い諸課題の解決に向けた一助となった。
				○JFA夢先生招聘事業費 JFA（日本サッカー協会）が日本や世界で活躍するアスリートを学校に派遣し、児童が夢を持つことの大切さを学ぶ機会を提供する。	○JFA夢先生招聘事業費 731,860円 ・事業内容 市内7小学校の5年生を対象に授業を実施 アスリートから実際に話を聞くことにより夢や目標を持つことの大切さを直に学ぶことができた。

10 款 教 育 費 2 項 小 学 校 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
382,120,000	369,429,854	0	12,690,146	○諸工事費 各学校からの要望をとりまとめ、現地調査を実施し、優先順位を付け、緊急性の高い工事等を実施する。	○諸工事費 6,647,460円 ・生保内小学校冷房設備設置工事 実施設計業務委託 495,000円 ・市内小学校2校給食搬入口改修工事 561,000円 ・角館小学校体育館西面外壁クラック補修工事

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
					1,023,000 円 ・その他市立小学校各種工事13件 4,568,460 円 各学校と協議しながら工事を実施し、学校の維持管理を適切に行った。
				○特別支援教育支援員派遣事業費 特別な支援を必要とする児童に対し、学校生活の支援を行うため、非常勤職員を配置する。	○特別支援教育支援員派遣事業費 42,592,950円 ・事業内容 特別支援教育支援員30人を配置 配置校 小学校7校 支援員を配置することにより、児童の教育の充実と、学級担任の負担軽減に寄与した。
				○教育コンピューター推進事業費 教育用コンピューターのリース料及び保守管理業務委託料。 最新のコンピューター機器を操作できる人材の育成を図る。	○教育コンピューター推進事業費 40,414,020円 ・需用費（小学校 7校分） 1,190,640 円 ・委託料（小学校 7校分） 2,019,000 円 ・リース料（小学校 7校分） 36,845,280 円 ・備品購入費等 359,100 円 コンピューターを使用した学習を推進した。
				○冬期スクールバス運行費 神代小学校・神代こども園の児童・園児の通学・通園困難解消のため、降雪期にスクールバスを運行する。	○冬期スクールバス運行費 5,724,466円 ・事業対象 神代地区の児童 56人 冬期間の登下校時の通学困難等を解消した。
				○キャリア教育・ふるさと学習支援事業費 これまでの総合的な学習を拡充し、ふるさと教育・キャリア教育について、各学校が特色ある取組ができるよう支援する。	○キャリア教育・ふるさと学習支援事業費 1,470,074円 ・事業内容 ①角館小学校 236,877 円 さくらの町案内人他 ②中川小学校 216,000 円 米作り体験、「みんなニコニコ米」販売体験他 ③白岩小学校 142,461 円 白岩焼陶芸体験、「みんなの白岩農園」他 ④生保内小学校 212,762 円

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
					農業体験、ふるさと探検他 ⑤神代小学校 229,918 円 米作り体験、漬物作り販売体験他 ⑥西明寺小学校 227,154 円 鎌足和紙すき体験、農業体験他 ⑦桧木内小学校 204,902 円 餅つき体験、紙風船制作・打ち上げ他 地域を学ぶことにより、ふるさとに誇りを持ち、ふるさとを愛する心を醸成した。
				○児童派遣費補助金 学校教育活動の一環として行うコンクール、発表会等の出場に対し、派遣費を補助する。	○児童派遣費補助金 1,794,480円 ①角館小学校 890,920 円 ②神代小学校 565,800 円 ③生保内小学校 337,760 円 交通費・宿泊費の保護者の負担を軽減した。
				○遠距離児童通学費補助金 バスによる通学の片道が、原則として4km以上のバス通学費に対し補助する。	○遠距離児童通学費補助金 2,292,010円 ①生保内小学校 19 人 1,139,610 円 ②角館小学校 14 人 293,300 円 ③中川小学校 1 人 19,880 円 ④神代小学校 44 人 617,290 円 ⑤白岩小学校 11 人 221,930 円 バスの定期代等、保護者の負担を軽減した。

10 款 教 育 費 3 項 中 学 校 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事 業 の 概 要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
176,010,000	171,601,251	0	4,408,749	○諸工事費 各学校からの要望をとりまとめ、現地調査を実施し、優先順位を付け、緊急性の高い工事等を実施する。	○諸工事費 5,561,600円 ・生保内中学校校舎屋上防水工事 1,080,000 円 ・神代中学校給食搬入口改修工事 1,980,000 円 ・桧木内学校給食搬入口改修工事 770,000 円 ・その他市立中学校各種工事 4件 1,731,600 円 各学校と協議しながら工事を実施し、学校の維持管理を適切に行った。
				○特別支援教育支援員派遣事業費 特別な支援を必要とする生徒に対し、学校生活の支援を行うため、非常勤職員を配置する。	○特別支援教育支援員派遣事業費 6,794,317円 ・事業内容 特別支援教育支援員5人を配置 配置校 中学校3校 支援員を配置することにより、生徒の教育の充実と学級担任の負担を軽減した。
				○外国青年招致事業費 英語に対して興味を持てる質の高い授業の実現を図るため、外国語指導助手を配置する。	○外国青年招致事業費 14,284,003円 ・角館地区 イーサン先生 ・田沢湖地区 ニック先生 ・西木地区 マーク先生 日々の授業や英語暗唱弁論大会などの指導を通して、市内小中学校の外国語教育、国際理解教育の充実に寄与した。
				○教育コンピューター推進事業費 教育用コンピューターのリース料及び保守管理業務委託料。 最新のコンピューター機器を操作できる人材の育成を図る。	○教育コンピューター推進事業費 27,993,950円 ・需用費（中学校 5校分） 1,425,722 円 ・委託料（中学校 5校分） 1,416,000 円 ・リース料（中学校 5校分） 24,895,728 円 ・備品購入費等 256,500 円 コンピューターを使用した学習を推進した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○キャリア教育・ふるさと学習支援事業費 これまでの総合的な学習を拡充し、ふるさと教育・キャリア教育について、各学校が特色ある取組ができるよう支援する。	○キャリア教育・ふるさと学習支援事業費 1,422,976円 ・事業内容 ①角館中学校 119,276円 桜案内人体験、樺細工工芸体験他 ②生保内中学校 201,600円 秋田駒ヶ岳登山、鳴砂再生体験他 ③神代中学校 258,000円 地域清掃ボランティア活動、除雪ボランティア他 ④西明寺中学校 633,592円 鎌足和紙すき体験、聞き書き学習他 ⑤桧木内中学校 210,508円 ふるさとクリーンアップ、紙風船制作打ち上げ他 地域を学ぶことにより、ふるさとに誇りを持ち、ふるさとを愛する心を醸成した。
				○生徒派遣費補助金 学校教育活動の一環として行う体育大会、コンクール及び発表会等の出場に対し、派遣費を補助する。	○生徒派遣費補助金 7,104,995円 ・補助内容 大曲・仙北、全県大会、東北大会、全国大会出場に係る交通費・宿泊費に対する補助 ①角館中学校 4,351,642円 ②生保内中学校 1,249,428円 ③神代中学校 888,197円 ④西明寺中学校 287,590円 ⑤桧木内中学校 328,138円 交通費・宿泊費の保護者の負担を軽減した。
				○遠距離生徒通学費補助金 市内中学校（角館、生保内、神代）に通学する生徒のうち、遠距離（6km以上）通学者に対し補助を行う。	○遠距離生徒通学費補助金 1,912,390円 ①生保内中学校 11人 1,908,240円 ②角館中学校 3人 4,150円 バスの定期代等、保護者の負担を軽減した。

10 款 教 育 費 4 項 幼 稚 園 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事 業 の 概 要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
3,318,000	2,932,416	0	385,584	○かくのだて幼稚園就園奨励費補助金 私立かくのだて幼稚園児を対象に、 就園のための経済的支援として補助す る。	○かくのだて幼稚園就園奨励費補助金 499,200円 ・補助件数 園児6人分 私立かくのだて幼稚園児のいる世帯に補助し、就園に係る費用 の負担軽減を図ることができた。

10 款 教 育 費 5 項 社 会 教 育 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事 業 の 概 要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
428,141,000	419,535,460	0	8,605,540	○花いっぱい運動推進事業費 ・にしきのフラワーロード105 一斉植栽 ・花の市	○花いっぱい運動推進事業費 5,138,046円 ・委託料 2,630,000 円 ①5月26日、西木町西荒井～堂村間の国道105号沿い道路花壇(総 延長9.2Km)にマリーゴールド約5万3千本を一斉植栽し た。また、地域の花壇等へ花を植栽する集落、団体等へマリー ゴールドの苗2万6千本を配布し、環境美化に寄与した。 ②5月26日の一斉植栽にあわせ、市内の花生産業者等3社による花 苗の販売イベント「花の市」を開催した。
				○せんぼくアートプロジェクト推進費 市内のアーティスト等による地域の 魅力発信や継続的な賑わいの創出に資 する創作活動や発表・展示等のイベン ト開催に対し支援する。	○せんぼくアートプロジェクト推進費 823,820円 ・補助金 756,000 円 ①rose garden concert 6月1日、8日、15日 281,000 円 ②「とある村」の夏休み2019 8月17日、18日 120,000 円 ③映画で人、こと繋がる事業 9月6日 220,000 円 ④第24回仙北市平福百穂顕彰短歌大会 10月27日 135,000 円 市内で活動する団体等からの提案により事業が実施され、地域 の魅力発信や賑わいの創出に寄与した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要																										
				計画	実績及び効果																									
				<p>○ 田沢湖公民館活動推進事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自主学習活動支援 身近な生活課題や趣味・教養など、様々な分野に於いて地域の仲間と親睦を深めながら自主的に学習活動を行うグループを支援する。 ・ 地域総合学習 地域の自然・歴史・伝統文化に触れ、ふるさとの素晴らしさを学ぶ。 ・ 生活教養講座 日常生活に即する各種講座を実施。 	<p>○田沢湖公民館活動推進事業費 1,184,920円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自主学習活動支援 304,000 円 市民生活講座19組 計 76 回実施 参加者 延べ 1,200 人 ・ 地域総合学習 70,000 円 生保内田植え踊り教室、石神稲穂太鼓教室 地域学校連携事業 計 14 回実施 参加者 延べ 245 人 ・ 生活教養講座 365,000 円 ハーバリウム体験教室、テーブルフラワー教室 外国語教室（中国語・韓国語）、アート盆栽教室 んみやもの料理教室、中華点心教室、韓国料理教室 編みぐるみ教室、太極拳ゆったり体操教室、民謡教室 ちぎり絵教室、ふるさと講座、パソコンサポート ペン字教室、書初め大会 計 50 回実施 参加者 延べ 484 人 ・ 家庭教育・子育て教室 40,000 円 家庭教育学級、親子ふれあい教室 計 4 回実施 参加者 延べ 320 人 <p>自主学習グループの活動支援を中心に、伝統芸能の後継者育成、県内有数の観光地として需要の高い外国語教室など、地域の学習ニーズに応じた多様な公民館事業を展開した。また、田沢湖地区の小学校と地域の連携事業も行った。</p>																									
				<p>○角館公民館活動推進事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仙北市民公民大学 仙北市民が学習を通じて知識と連帯感を高め、地域社会の発展に寄与する。 	<p>○角館公民館活動推進事業費 2,305,882円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仙北市民公民大学 863,196 円 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">せんぼく校交流事業</th> </tr> <tr> <th></th> <th>開催数</th> <th>延べ人数</th> <th>交流回数</th> <th>延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>郷土研究学科</td> <td>11回</td> <td>651人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>園芸学科</td> <td>18回</td> <td>345人</td> <td>4回</td> <td>96人</td> </tr> <tr> <td>書道学科</td> <td>24回</td> <td>384人</td> <td>6回</td> <td>62人</td> </tr> </tbody> </table>			せんぼく校交流事業				開催数	延べ人数	交流回数	延べ人数	郷土研究学科	11回	651人			園芸学科	18回	345人	4回	96人	書道学科	24回	384人	6回	62人
		せんぼく校交流事業																												
	開催数	延べ人数	交流回数	延べ人数																										
郷土研究学科	11回	651人																												
園芸学科	18回	345人	4回	96人																										
書道学科	24回	384人	6回	62人																										

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要															
				計画	実績及び効果														
					<table border="1"> <tr> <td>陶芸学科</td> <td>34回</td> <td>571人</td> <td>2回</td> <td>34人</td> </tr> <tr> <td>社会学科</td> <td>7回</td> <td>112人</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	陶芸学科	34回	571人	2回	34人	社会学科	7回	112人						
陶芸学科	34回	571人	2回	34人															
社会学科	7回	112人																	
				<ul style="list-style-type: none"> ・大曲支援学校せんぼく校と交流事業 仙北市公民大学・樺染めサークル ・世代間交流事業 親子の交流を通して親睦を図り、共に学習する。 ・健康・教養等講座 市民の要望を取り入れた健康づくり ・公民館活動情報の発信 公民館だよりの発行。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大曲支援学校せんぼく校交流事業 樺染めサークル 1回開催 20人 計13回 延べ212人 23,848 円 ・世代間交流事業 家庭教育学級、親子体験ソーパークーピング教室 親子体験陶芸教室等 計8回 延べ 307人 447,500 円 ・健康・教養等講座 健康講座、羊毛フェルト十二支作り講座、韓国語講座、おとなのぬり絵サロン、季節の料理（菓子）づくり、中国語講座等 計53回 延べ 657人 ・公民館活動情報の発信 公民館だより 年6回発行 89,609 円 <p>各講座は、新たな事業を取り入れ、いつでも・どこでも・だれでも学ぶことができるように学習の場を提供した。また仙北市公民大学と大曲支援学校せんぼく校の交流など地域活動の発展に寄与した。</p>														
				<p>○西木公民館活動推進事業費 市民の多様なニーズに応じた生涯学習の機会と情報及び学びの場の提供を行い、自発的な学習活動の実現・継続を支援する。 また、地域の小中学校と地区の方々を講師に迎え学ぶ地域学校支援講座を継続的に実施する。</p>	<p>○西木公民館活動推進事業費 1,070,776円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活講座(公民館主催) 434,500 円 計 51回開催 参加者 延べ 714人 短歌、焼き菓子、プラかご、寄せ植え、エコラフト、パッチワーク、写真、ソーパークーピング、ふるさと講座、韓国語、中国語、豊齢学園、マイスター講座、書き方、地域学校支援講座、15教室 ・生活講座(自主活動) 100,000 円 計 35回開催 参加者 延べ 214人 よつば会(手芸等)、民謡手踊り、茶道の会、編み物教室、写真クラブ 5講座 ・家庭教育機会の充実 80,000 円 														

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
					<p>くれよん広場 2回開催 延べ 130人 親子ふれあい教室 2回開催 延べ 80人 趣味や学習意欲を共有する市民を対象として実施される生活講座は参加者同士のコミュニケーション向上の機会となった。 また、親子のふれあい、地域学校支援講座、地域をテーマとした事業は地域に根づいた生涯学習の基礎づくりの場となった。</p>
				<p>○図書資料購入費 公共図書館として、利用者や地域ニーズに応えられる蔵書構成を図る。</p>	<p>○図書購入費 2,807,340円 ・図書購入費(1,344冊) 2,174,681円 ・雑誌等購入費(雑誌42誌・新聞5紙) 632,659円 来館利用者数 延べ 22,173人 貸出利用者数 延べ 4,959人 貸出冊数(書籍・雑誌) 延べ 18,884冊 利用者のニーズに応える選書・図書購入に努めたことにより、団体(学校、保育施設等)貸出の利用が増加した。</p>
				<p>○図書館サービス拡充事業費 地域の情報拠点として、より充実した図書館サービスを行う。</p>	<p>○図書館サービス拡充事業費 5,980,291円 ・臨時職員等賃金(4人) 5,805,306円 ・講師謝礼(講座・イベント) 75,000円 ・イベント消耗品 99,985円 利用者のニーズに合った選書・展示・貸出とともに、図書の整理を行い、来館者の利用環境の向上につとめた。特に親子連れや子ども向けのイベントが定着したことにより、入館者数が維持された。</p>
				<p>○文化財管理費 伝統的建造物群保存地区内の消防施設及び防災施設の保守点検をはじめ、武家屋敷通りの歴史的町並み保存及びその他文化財の管理全般を適切に行う。</p>	<p>○文化財管理費 5,724,140円 ・国・県・市の指定文化財等文化財全般に係る保存管理 ・特別天然記念物カモシカ保護及び処理 8頭 ・特別天然記念物の玉川温泉の北投石及び秋田駒ヶ岳高山植物帯のパトロールによる盗掘盗採防止 国・県・市の指定文化財及び特別天然記念物の適切な保存・保護管理に寄与した。</p>

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				<p>○武家屋敷公開管理事業費 伝統的建造物群保存地区内外の市管理史跡の公開及び管理を行う。(岩橋家、河原田家、小田野家、松本家)</p>	<p>○武家屋敷公開管理事業費 9,644,879円 1年を通じて客足が途切れることのない武家屋敷の保存・公開及び維持管理を実施した。 ・公開期間：4月11日～11月30日 ・入館者数：223,274人(前年比 +74,508人) 来訪者への案内、県内外の小中高生のフィールドワークへの対応などにより、古いものを遺し次世代に継承していく意義の重要性を感じていただいた。</p>
				<p>○旧石黒(恵)家公開事業費 伝統的建造物の公開と利活用を図る。</p>	<p>○旧石黒(恵)家公開事業費 4,509,583円 ・公開期間：4月1日～3月31日 ・入館者数：5,033人(前年比 +18人) ・利用実績：2,107人(前年比 +130人) ・角館小学校社会科室町文化 茶の湯体験事業 92名参加 ・各種講座・行政視察会場として利活用 昭和初期の伝統的建造物を公開活用することにより江戸から昭和の時代の変遷や、角館の建築の歴史を学ぶ実践の場として好評を得た。</p>
				<p>○桜保護管理費 文化財指定の桜の日常管理を実施し、訪れる観光客に良好な花を見ていただく。</p>	<p>○桜保護管理費 5,481,963円 ・角館中学校2年生・大曲支援学校せんぼく校による桜の施肥活動 文化財保護法によって国名勝指定、国天然記念物指定の桜に対し、日常的に管理を行った。枯枝の除去、ソメイヨシノのテングス病枝の除去、その他の整枝、施肥、病害虫駆除等を実施。野鳥のウソによる花芽の食害は少なく、桧木内川堤のソメイヨシノは例年並みの4月23日に開花。観桜会に来られたお客様に花を楽しんでいただき、本市観光産業の活性化に寄与した。</p>

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				<p>○重要伝統的建造物群保存地区保存整備事業費</p> <p>国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている仙北市角館の江戸期の町並みの維持保存を図る。</p>	<p>○重要伝統的建造物群保存地区保存整備事業費 15,966,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河原田家改修工事（3期） 8,683,200円 ・河原田家改修工事工事監理委託 928,800円 ・柴田家棟門修景工事 2,035,000円 ・柴田家棟門修景工事工事監理委託 181,500円 ・石黒家主屋等修理費補助金 3,173,200円 <p>上記のほか地区内の伝統的建造物等の修理修景事業を実施し、地区住民の負担軽減を図るとともに、仙北市・東北・日本の歴史的町並み保存、文化の向上・発展に寄与した。</p>
				<p>○伝建群防災施設整備事業費</p> <p>火災や地震、風水害等の災害から伝統的建造物群保存地区を守るため、防災施設の整備を行う。</p>	<p>○伝建群防災施設整備事業費 41,925,068円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防火水槽設置工事 22,148,500円 ・防火水槽設置工事工事監理委託 979,000円 ・屋外消火栓設置工事 17,636,300円 ・屋外消火栓設置工事工事監理委託 1,023,000円 <p>実施設計に基づき、Fブロック（東勝楽丁西側）の防災施設を新たに整備し、地区住民のみならず、観光客等来訪者の安全対策を講じた。</p>
				<p>○ユネスコ無形文化遺産魅力発信事業費</p> <p>平成28年12月にユネスコ無形文化遺産「山・鉾・屋台行事」に登録された県内3行事を一堂に介し、各行事及び3市（秋田市、鹿角市、仙北市）の魅力発信することで、周遊観光を促すとともに旅行者の滞在促進につなげ、インバウンド誘客を図る。</p>	<p>○ユネスコ無形文化遺産魅力発信事業費 2,464,400円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これが秋田だ！食と芸能大祭典2019 5/24～5/26 秋田市で開催 角館祭りのやま行事から曳山2台出演 イベント来場者数171,000人（前年比+18,000人） <p>3市の山車と屋台を一堂に会しパレードを行い、角館祭りのやま行事のPRを行った。そのほかにミニチュア展示や仙北市のPRブースを設け誘客促進に努めた。</p>

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要															
				計画	実績及び効果														
				<p>○学習資料整備費</p> <p>公共図書館の役割として、最新の情報と資料を利用者に提供し、市民が心豊かな文化に触れ、楽しく読書に親しむ環境づくりに努める。</p>	<p>○学習資料整備費 4,807,558円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書資料等購入費 2,999,953円 内訳（一般図書1,312冊、児童図書435冊） ・利用実績 <ul style="list-style-type: none"> 来館利用者数 40,104人 貸出利用者数 11,623人 貸出冊数 43,761人 <p>学習資料の整備により、読書の促進に資することができた。</p>														
				<p>○学校図書館支援事業費</p> <p>学校図書館支援員が、市内全小・中学校を訪問し、学校図書館の環境整備を行う。教職員の業務を補いながら、選書や配架、データ管理等業務全般に対し支援する。</p>	<p>○学校図書館支援事業費 6,665,541円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援員賃金等（2人分） 3,408,408円 ・支援員学校訪問頻度 市内全小・中学校に月2回程度訪問 ・学校図書館システム等保守委託料 614,796円 ・学校用図書館管理データ作成業務（T00Li-S）使用料 392,400円 <p>学校図書館支援員の訪問支援等により、学校図書環境整備と利用促進を図り、生徒の図書室利用につながっている。</p>														
				<p>○子ども読書活動推進事業費</p> <p>公共図書館と学校図書館の連携を図り、子どもの読書普及と支援のため、市内全小・中学校に学校図書館向け書籍を配備している。</p>	<p>○子ども読書活動推進事業費 3,018,896円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内小・中学校図書購入費 3,018,896円 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">角館小 219冊</td> <td style="width: 50%;">角館中 308冊</td> </tr> <tr> <td>中川小 103冊</td> <td>生保内中 157冊</td> </tr> <tr> <td>白岩小 95冊</td> <td>神代中 82冊</td> </tr> <tr> <td>生保内小 113冊</td> <td>西明寺中 105冊</td> </tr> <tr> <td>神代小 127冊</td> <td>桧木内中 78冊</td> </tr> <tr> <td>西明寺小 101冊</td> <td></td> </tr> <tr> <td>桧木内小 114冊</td> <td>計1,602冊</td> </tr> </table> <p>「おじいちゃんのちいさかったとき」（塩野米松氏著）を各校に1冊ずつ配備 計 11冊</p> <p>合計 1,613冊</p> <p>学校図書の整備により、小中学校の読書環境の向上に寄与した。</p>	角館小 219冊	角館中 308冊	中川小 103冊	生保内中 157冊	白岩小 95冊	神代中 82冊	生保内小 113冊	西明寺中 105冊	神代小 127冊	桧木内中 78冊	西明寺小 101冊		桧木内小 114冊	計1,602冊
角館小 219冊	角館中 308冊																		
中川小 103冊	生保内中 157冊																		
白岩小 95冊	神代中 82冊																		
生保内小 113冊	西明寺中 105冊																		
神代小 127冊	桧木内中 78冊																		
西明寺小 101冊																			
桧木内小 114冊	計1,602冊																		

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要																			
				計画	実績及び効果																		
				<p>○常設・企画展示費 常設展（平福穂庵・百穂父子展）と年6回の企画展の実施。平福穂庵、百穂等の作品購入。</p>	<p>○常設・企画展示費 7,468,362円</p> <table border="0"> <tr> <td>①日本近代洋画展</td> <td>4月17日～6月23日</td> <td>3,667人</td> </tr> <tr> <td>②草薨裕写真展</td> <td>7月2日～8月25日</td> <td>1,522人</td> </tr> <tr> <td>③福田豊四郎日本画展</td> <td>9月1日～10月14日</td> <td>1,195人</td> </tr> <tr> <td>④はんばの会日本画展</td> <td>10月22日～11月17日</td> <td>1,158人</td> </tr> <tr> <td>⑤仙北市総合美術展</td> <td>2月4日～2月16日</td> <td>687人</td> </tr> <tr> <td>⑥館藏品・寄託品展</td> <td>2月25日～3月31日</td> <td>170人</td> </tr> </table> <p>①は公益社団法人糖業協会所蔵の日本近代洋画約60点をお借りして展示会を開催した。②は仙北市出身の若手写真家草薨裕氏の写真展で作品は勿論、こだわりの展示も話題となった。③は小坂町出身の日本画家 福田豊四郎の作品展で借用先の1つ小坂町立総合博物館郷土館の安田学芸員のギャラリートークも大変好評だった。④は日本美術院同人の伊藤彰耳先生が指導する日本画勉強会はんばの会の日本画展で、入館者に小色紙のプレゼントがあり喜ばれた。</p> <p>平福百穂筆「清秋」 2,376,000円で購入 " 「戯童狛兎」 860,200円で購入</p>	①日本近代洋画展	4月17日～6月23日	3,667人	②草薨裕写真展	7月2日～8月25日	1,522人	③福田豊四郎日本画展	9月1日～10月14日	1,195人	④はんばの会日本画展	10月22日～11月17日	1,158人	⑤仙北市総合美術展	2月4日～2月16日	687人	⑥館藏品・寄託品展	2月25日～3月31日	170人
①日本近代洋画展	4月17日～6月23日	3,667人																					
②草薨裕写真展	7月2日～8月25日	1,522人																					
③福田豊四郎日本画展	9月1日～10月14日	1,195人																					
④はんばの会日本画展	10月22日～11月17日	1,158人																					
⑤仙北市総合美術展	2月4日～2月16日	687人																					
⑥館藏品・寄託品展	2月25日～3月31日	170人																					
				<p>○児童生徒県南美術展開催費 県南4市（仙北市、大仙市、横手市、湯沢市）2郡（仙北郡、雄勝郡）の小・中学校の児童・生徒を対象とした応募展の実施。</p>	<p>○児童生徒県南美術展開催費 365,824円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第42回児童生徒県南美術展 <p>開催期間 12月1日～1月28日 入館者数 2,811人 入館料収入 32,400円 出品数 1,037点（小学校766点 中学校271点） 参加校数 82校（小学校59校 中学校23校）</p> <p>第42回児童生徒県南美術展は、前回より出品数・参加校数・入館者数とも増加となった。</p>																		

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要																																	
				計画	実績及び効果																																
				<p>○管理運営費（市民会館） 地域文化と芸術・芸能の発展に寄与するため、活動の場を整備し利用を促進する。</p>	<p>○管理運営費（市民会館） 23,018,950円</p> <p>・利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>催し物分類</th> <th>回数</th> <th>日数</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>芸術芸能関係</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>2,100</td> </tr> <tr> <td>大会・式典</td> <td>13</td> <td>14</td> <td>2,560</td> </tr> <tr> <td>講演研修会</td> <td>6</td> <td>8</td> <td>563</td> </tr> <tr> <td>準備練習等</td> <td>35</td> <td>35</td> <td>985</td> </tr> <tr> <td>ホール外練習</td> <td>69</td> <td>69</td> <td>690</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>32</td> <td>32</td> <td>96</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>163</td> <td>166</td> <td>6,994</td> </tr> </tbody> </table> <p>【繰越明許】 4,806,000円</p> <p>・仙北市民会館自動火災報知設備複合受信機取替修繕費 4,806,000円 建物の修繕や舞台設備の保守点検等の実施により適切な管理を行い、利用者が快適に使用できる環境を整備した。</p>	催し物分類	回数	日数	利用者数	芸術芸能関係	8	8	2,100	大会・式典	13	14	2,560	講演研修会	6	8	563	準備練習等	35	35	985	ホール外練習	69	69	690	その他	32	32	96	合計	163	166	6,994
催し物分類	回数	日数	利用者数																																		
芸術芸能関係	8	8	2,100																																		
大会・式典	13	14	2,560																																		
講演研修会	6	8	563																																		
準備練習等	35	35	985																																		
ホール外練習	69	69	690																																		
その他	32	32	96																																		
合計	163	166	6,994																																		
				<p>○自主事業運営費（市民会館） 市民に優れた芸術を鑑賞する機会を与えるため自主事業を実施する。</p>	<p>○自主事業運営費（市民会館） 1,082,199円</p> <p>・陸上自衛隊東北方面音楽隊コンサート 令和元年10月20日(日)午後2時開演 出演：陸上自衛隊東北方面音楽隊 入場数：700人</p> <p>・ロビーコンサート</p> <p>・松山隆宏 コンサート 令和元年6月14日(金)午後6時開演 出演：松山隆宏 入場者：30人</p> <p>・大木彩乃 成人式コンサート 令和元年8月15日(木)午後2時開演 出演：大木彩乃 入場者：300人</p>																																

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
					成人式にロビーコンサートを実施することにより、人生の記念日に優れた芸術を鑑賞する機会を提供した。
				○舞台運営費（市民会館） 市民会館舞台の運営を専門業者に委託して行う。	○舞台運営費（市民会館） 7,387,220円 ・市民会館舞台業務を専門業者に委託し、安全で円滑な舞台運営を行う。 単価発注 7,193,480円 舞台運営に必要な消耗品等 193,740円 舞台運営管理を専門業者に委託して行うことにより、安全かつ円滑にイベント等を行うことができた。
				○生保内節全国大会実行委員会負担金 田沢湖生保内で生まれた「生保内節」を、正しく継承しながら広く普及することを目指して実施する。	○生保内節全国大会実行委員会負担金 2,000,000円 期日 令和元年9月21日～9月22日 出場者 一般の部 100人 年少者 23人 34回目となった大会は継続的な成果が表れ、若年層の申込者が多く、生保内節の認知度、関心が高まった。

10 款 教 育 費 6 項 保 健 体 育 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
1,646,374,000	1,624,748,718	0	21,625,282	○チャレンジデー事業費 毎年5月第4水曜日に全国的に行われるチャレンジデーに参加し、体を動かすことを通じて、健康づくりや生涯スポーツのきっかけをつくり、市民の運動の習慣化と健康増進を図る。	○チャレンジデー事業費 205,500円 ・令和元年5月29日（水）参加者 13,292人（50.4%） 市実行委員会補助金 200,000円 参加9回目となり参加率は50.4%で銀メダルを受賞した。神奈川県大井町と対戦を通して交流を深めることができた（大井町の参加率41.9%）。健康づくりや生涯スポーツのきっかけづくりと機運の盛り上げに寄与した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				<p>○高齢者と小学生のスポーツ交流事業費</p> <p>世代を超えたスポーツ交流を通じて育まれる生きがいや健康づくりを推進する。</p>	<p>○高齢者と小学生のスポーツ交流事業費 98,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年6月27日～10月9日 市内7小学校を会場に7回開催 ・参加者数 老人クラブ会員等46人、小学生151人 <p>スポーツ交流を通じて、高齢者の健康・生きがいづくりと、児童の高齢者を敬う心が育まれる機会となったほか、地域と学校との連携推進が図られた。</p>
				<p>○2020仙北市スポーツ文化交流事業費</p> <p>2020年東京オリンピック・パラリンピックのホストタウン事業を活用し、タイ王国とスポーツ・文化交流を推進する。</p>	<p>○2020仙北市スポーツ文化交流事業費 2,070,579円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・覚書締結式 令和元年6月23日（日） 132,600円 ・タイ王国車いすバスケットボール協会事前合宿 1,892,000円 令和元年10月14日（月）～23日（水） ・スポーツフェスタ in AKITA 14,137円 令和元年11月2日（土）・3日（日） <p>2020東京オリンピック・パラリンピックを契機に国際交流やスポーツ参加を促すホストタウン事業として、タイ王国パラリンピック委員会・タイ王国車いすバスケットボール協会と秋田県・仙北市の4者で覚書を締結し、10月には田沢湖スポーツセンターで事前合宿を実施した。生保内中学校生徒と体験交流会を実施し、国際交流を楽しむとともに、心のバリアフリーを推進する機会となった。また、イオンモール秋田で開催された「スポーツフェスタ in AKITA」において活動のPRを行った。</p>
				<p>○ジュニアキャンプ開催事業費</p> <p>「田沢湖＝モーグル」として地域に定着した大会として継続するために、地元や周辺地域の選手の育成を図る。</p>	<p>○ジュニアキャンプ開催事業費 500,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年1月25日（土）・26日（日）開催 ・参加者 市内小学生10人、市外小中学生14人 <p>秋田県スキー連盟へ業務委託し、モーグルジュニアキャンプを開催した。今回で3回目となり、技術に関する講習をより多く取り入れたほか、班分けによる細やかな指導に努め、モーグル技術の習得を図った。</p>

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				<p>○田沢湖マラソン大会負担金 大会を通して市民の健康づくり、地域の活性化を図る。</p>	<p>○田沢湖マラソン大会負担金 14,900,000円 ・令和元年9月15日(日)開催 第34回大会 ・エントリー総数 5,029人 ゲストランナーとして渋井陽子さんを招き、第34回大会を開催し、市民の健康増進と地域活性化に寄与した。高雄マラソンから5人が参加し交流を深めたが、2月に開催予定であった高雄マラソンは新型コロナウイルスの影響で大会中止となったため、派遣事業も中止となった。</p>
				<p>○総合型地域スポーツクラブ事業実施補助金 スポーツ振興くじ助成金を活用し、スポーツを通じた地域交流及び健康増進を図るため、拠点となるクラブを支援する。</p>	<p>○総合型地域スポーツクラブ事業実施補助金 1,883,000円 ・神代スポーツクラブ 自立支援事業 1,307,000円 ・神代スポーツクラブマゼンダ設置支援事業 576,000円 多世代にわたるスポーツ活動等を通じて、健康づくりや地域の活性化を図るため、神代スポーツクラブの活動への支援を行った。</p>
				<p>○FISモーグルワールドカップ開催事業費負担金 FISモーグルワールドカップを開催するため、秋田県と仙北市が主体となって組織する大会組織委員会に対する負担金。</p>	<p>○FISモーグルワールドカップ開催事業費負担金 27,150,000円 ・令和2年2月22日(土)・23日(日)開催 ・参加選手(15か国)男子53人、女子38人 ・観客動員延べ 6,000人 6年連続6回目の開催となり、仙北市をモーグルの聖地として、国内外へ向けてアピールするとともに、魅力満載の地域の情報発信を行った。2日目のデュアルモーグル競技は悪天候による視界不良のため予選途中で中止となった。また、新型コロナウイルスの影響が出始めていた時期であり、期間を通して観戦者数は減少した。</p>

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				<p>○市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン！仙北市実行委員会補助金</p> <p>県内25市町村対抗駅伝大会に、仙北市代表として出場する選手を練習から大会出場に至るまで、円滑に取り組むことができるようサポートする。</p>	<p>○市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン！仙北市実行委員会補助金 655,000円</p> <p>・令和元年10月5日（土）・6日（日） 鹿角市特設コース</p> <p>・選手選考会 令和元年7月27日（土） 生保内公園野球場外周コース 仙北市からは1チーム18人が参加。総合第12位（出場33チーム）、市の部門で第8位となった。</p>
				<p>○給食センター管理運営費 【田沢湖学校給食センター】</p> <p>・季節の行事給食</p> <p>児童生徒が季節行事に関心を持ち四季の移ろいを体感してもらうため、5月こどもの日、7月七夕、12月クリスマス、2月節分、3月ひな祭りの季節行事食を全児童生徒を対象に通常の給食費に1回一人当たり108円を加えて実施する。</p> <p>・バイキング給食（卒業児童生徒対象）</p> <p>色々な食品をバランス良く選び、自分の摂取量を知り、他人のことを思いやる心が育つよう実施する。通常の給食費に一人当たり378円を加えて実施する。</p> <p>・洋食マナー体験給食会</p> <p>児童に基本的な洋食マナーを知ってもらうため、小学校6年生を対象に「洋食マナー体験給食会」を通常の給食費に一人当たり540円を加えて実施する。</p>	<p>○給食センター管理運営費 208,037,999円 【田沢湖学校給食センター】</p> <p>・季節の行事給食 340,956円</p> <p>・4月26日 子どもの日メニュー 629人</p> <p>・7月5日 七夕メニュー 638人</p> <p>・12月24日 クリスマスメニュー 631人</p> <p>・2月3日 節分の日メニュー 630人</p> <p>・3月3日 ひな祭りメニュー 629人</p> <p>合計 3,157人</p> <p>・バイキング給食 51,030円</p> <p>・12月6日 神代小学校 36人</p> <p>・12月17日 神代中学校 35人</p> <p>・12月3日 生保内中学校 28人</p> <p>・1月30日 生保内小学校 36人</p> <p>合計 135人</p> <p>・洋食マナー体験給食会 37,800円</p> <p>・9月25日 生保内小学校 34人</p> <p>・10月31日 神代小学校 36人</p> <p>合計 70人</p> <p>児童生徒が季節の食材や地場産物を取り入れた給食を通して、郷土の自然や文化に関心を持ってもらい、思い出に残る学校給食を楽しむことができた。</p>

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				<p>【角館学校給食センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事食（全児童生徒対象） 「食育の日」行事食や季節の行事食を通して、地場産物や郷土料理、季節の料理に触れ、四季折々の行事や郷土の食文化を理解してもらうことを狙いとし、通常の給食費に108円を加えて実施する。 ・バイキング給食（卒業児童生徒対象） 卒業を祝うとともに、今までの学習を活かし栄養を考えてバランスよく選択することや、マナーを守って楽しい会食の思い出をつくらせてもらうことを狙いとし通常の給食費に378円を加えて実施する。 <p>【西木学校給食センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節の行事給食（全児童生徒対象） 5月こどもの日、7月七夕、12月クリスマス、2月節分、3月ひな祭りの季節行事にあわせた行事給食を、通常の給食費に一人当たり108円を加えて実施する。 ・バイキング給食（卒業児童生徒対象） 通常の給食費に一人当たり378円を加えて実施する。 	<p>【角館学校給食センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事食 522,936 円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 5月 7日 子どもの日メニュー 987 人 ・ 7月 5日 七夕メニュー 981 人 ・ 12月25日 クリスマスメニュー 987 人 ・ 2月 3日 節分の日メニュー 902 人 ・ 3月 3日 ひな祭りメニュー 985 人 合計 4,842 人 ・バイキング給食 75,222 円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1月23日 白岩小学校 12 人 ・ 2月27日 角館小学校・中川小学校 79 人 (合同開催) ・ 2月14日 角館中学校 108 人 合計 199 人 <p>児童生徒が行事食やバイキング給食等色々な体験を通して、思い出に残る学校給食を楽しむことができた。</p> <p>【西木学校給食センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節の行事給食 177,876 円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 5月 7日 子どもの日メニュー 334 人 ・ 7月 5日・8日 七夕メニュー 324 人 ・ 12月25日 クリスマスメニュー 331 人 ・ 2月 3日 節分の日メニュー 327 人 ・ 3月 3日 ひな祭りメニュー 331 人 合計 1,647 人 ・バイキング給食 32,886 円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 12月 5日 西明寺小学校 31 人 ・ 12月19日 西明寺中学校 28 人 ・ 1月16日 桧木内中学校 14 人 ・ 1月30日 桧木内小学校 14 人

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
					<p>合計 87人 バランスよく選択するという食事についての自己管理能力の向上と、卒業に際して給食の思い出と感謝の心を養うことができた。</p>
				<p>○総合給食センター建設事業費 3給食センターの老朽化に伴い、高い衛生水準を備え、学校給食を安全に提供する総合給食センターを建設する。(平成30年度からの継続事業)</p>	<p>○総合給食センター建設事業費 1,268,472,684円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仙北市総合給食センター新築工事継続費 816,929,000円 厨房設備工事継続費 309,990,000円 その他諸経費(工事管理、備品購入等) 51,344,684円 <p>【繰越明許】 90,209,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> 新築工事継続費 54,843,000円 厨房設備工事継続費 34,530,000円 設計監理・工事監理 836,000円 <p>総合給食センターを竣工し、市内小中学校等へ給食を提供する準備を整えた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄骨一部二階建て ・敷地面積7901.10㎡、延床面積1899.19㎡

11 款 災 害 復 旧 費 1 項 農 林 水 産 施 設 災 害 復 旧 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
14,077,000	13,430,480	0	646,520	<p>○農業用施設災害復旧事業費 平成30年5月18日に発生した豪雨災害において、耕作に支障が出る被害を受けた農地・農業用施設に対して補助金を交付する。</p>	<p>○農業用施設災害復旧事業費 3,357,000円</p> <p>【繰越明許】 5月災 実績地区数 14地区 3,357,000円 来年度春からの営農を開始できるように、農地・農業用施設を復旧することができた。</p>

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○現年補助災害復旧事業費 平成29年7月22日～23日発生豪雨に係る林業施設災害復旧を図る。 繰越事業対象路線 1路線	○現年補助災害復旧事業費 10,073,480円 【事故繰越】 ・工事費 10,073,480円 大規模に被災した林業施設について機能の回復を図るための工事を行った。災害前と同等に通行可能となり、機能を取り戻すことができた。

(2) 下水道事業特別会計
2 款 事業費 1 項 公共下水道事業費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
40,131,000	30,209,762	1,118,000	8,803,238	○公共下水道事業費 総合計画に基づき整備する。 ・起債単独事業 実施設計業務委託 管渠整備 L=108.7m ・ストックマネジメント事業	○公共下水道事業費 28,184,762円 ・起債単独事業 21,584,762円 中川原地区管渠工事外1件 L=108.7m 工事費 16,265,800円 財源内訳 委託費 4,396,000円 事業債 18,700,000円 事務費 922,962円 負担金 1,024,000円 一般会計繰入金 1,860,762円 計 21,584,762円 ・田沢湖浄化センター改築更新実施設計業務委託 事業費 6,600,000円 財源内訳 国庫補助金 3,300,000円 事業債 3,300,000円 計 6,600,000円 整備により、1.29haを供用開始した。 持続可能な下水道事業の実現を目的に、前年度策定した計画及び方針に基づき、田沢湖浄化センター重要設備機器の更新実施設計業務委託を実施した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○流域下水道大曲処理区負担金	○流域下水道大曲処理区負担金 2,025,000円 【現年分】 1,840,000円 【繰越明許】 185,000円 ※流域下水道事業建設負担金

(3) 集落排水事業特別会計
2 款 事業費 1 項 農業集落排水事業費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
434,484,000	186,610,800	0	247,873,200	○農業集落排水事業費 農山漁村地域整備交付金（機能強化） ・ 桜木内地区請負設計 ・ 桜木内地区処理施設設計監理 ・ 前郷地区全体実施設計 ・ 桜木内地区処理施設改築工事 ・ 桜木内地区管路施設改修工事 桜木内クリーンセンター及び前郷地区農業集落排水施設の水処理部、機器類、管路施設の耐用年数経過、経年劣化していることから施設の再構築を行う。	○農業集落排水事業費 186,610,800円 ・ 農山漁村地域整備交付金（機能強化）（補助） 桜木内地区請負設計業務委託 5,680,800円 桜木内地区処理施設改築工事 180,930,000円 計 186,610,800円 桜木内クリーンセンター、前郷地区農業集落排水施設の排水処理部及び管路施設の機器類の劣化や耐用年数も経過していることから施設を再構築するための実施設計、工事業務等を実施した。

(4) 国民健康保険特別会計（事業勘定）

5 款 保 健 事 業 費 2 項 保 健 事 業 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事 業 の 概 要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
7,341,000	7,109,699	0	231,301	○人間ドック助成費等 国民健康保険被保険者の人間ドックに係る費用の一部を助成する。	○人間ドック助成費等 3,970,632円 ・人間ドック受診者数 187人 ・助成費 @21,000円 3,970,632円 (データ管理料を含む) 平成30年度の実績が160人であったのに対し、令和元年度は187人の実績であった。

(5) 国民健康保険特別会計（田沢診療施設勘定）

2 款 医 業 費 1 項 医 業 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事 業 の 概 要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
3,336,000	2,255,535	0	1,080,465	○医業費	○医業費 2,255,535円 ・診療日数 24日 患者数 193人 1日平均8.0人

(6) 国民健康保険特別会計（神代診療施設勘定）

2 款 医 業 費 1 項 医 業 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事 業 の 概 要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
7,289,000	6,270,761	0	1,018,239	○医業費	○医業費 6,270,761円 ・診療日数 237日 患者数 6,019人 1日平均25.4人

(7) 介護保険特別会計

1 款 総 務 費 1 項 施設管理費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
326,147,000	321,772,346	0	4,374,654	○一般管理費 ・介護老人保健施設にしき園 利用者が安全に快適にサービスを受けられるよう施設の管理を行う。	○一般管理費 94,684,397円 ・臨時職員賃金（看護師1人、介護員10人、作業員1人、事務補助・運転員1人） 32,741,445 円 ・施設機器・備品修繕料 5,162,907 円 ・システム・機器保守点検等業務委託 6,561,111 円 ・屋根防水改修工事・設計等委託 17,232,400 円 施設・設備等の更新等により、利用者が快適に過ごせ、介護従事者の負担軽減になるよう努めた。

2 款 サービス事業費 2 項 施設サービス事業費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
68,711,000	66,741,667	0	1,969,333	○利用者サービス事業費 入所利用者個々のサービス計画に基づき、介護や健康管理、リハビリ等に努め、在宅復帰等地域のニーズにあったサービスを行う。	○利用者サービス事業費 66,741,667円 ・紙おむつ等介護用品費 7,553,217 円 ・医薬品代 7,744,221 円 ・給食・給食管理業務委託料 48,043,292 円 ・寝具賃借料 2,411,485 円 ・入所利用者 32,969人/年 1日当たり90.08人 内 短期利用者 418人/年 1日当たり 1.15人 入所利用者の心身機能の維持回復、家庭介護の負担軽減に寄与した。

(8) 生保内財産区特別会計
3 款 財 産 費 2 項 造 林 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
18,104,000	18,093,136	0	10,864	○直営造林保育費 適切な保育管理を行い、良質材の生産に努める。	○直営造林保育費 3,522,520円 ①搬出間伐事業 直営小先達川端造林地 2.68ha 1,230,120円 直営畑の沢・畑の沢学校林 2.57ha 1,375,000円 ②作業道新設事業 直営畑の沢・畑の沢学校林 510.0m 917,400円 仙北東森林組合との森林経営委託契約に基づき、利用間伐が可能な造林地の搬出間伐を実施した。
				○森林整備センター造林保育費 森林の持つ公益的機能の重要性が叫ばれる中、適切な保育管理を行い、水源林の造成に努める。	○森林整備センター造林保育費 14,135,200円 黒沢野1造林地保育間伐選木 6.26ha 172,800円 黒沢野2造林地保育間伐選木 8.87ha 331,560円 八木沢台造林地保育間伐選木 19.18ha 719,280円 黒沢野1造林地保育間伐 6.26ha 1,082,400円 黒沢野2造林地保育間伐 8.87ha 2,048,200円 八木沢台造林地保育間伐 19.18ha 4,250,400円 【繰越明許】 駒ヶ岳2造林地作業道新設 1,100.0m 2,336,040円 駒ヶ岳2造林地保育(搬出)間伐 9.75ha 3,171,960円 森林整備センターの管理計画により、適切な保育管理を行った。

4 款 諸 支 出 金 1 項 分 収 林 交 付 金

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事 業 の 概 要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
7,657,000	7,655,397	0	1,603	○分収林交付金	○分収林交付金 7,655,397円 生保内北部分収林組合 (7,071,285円×分収割合8/10) 5,657,028円 宿南側模範林組合 (1,431,164円×分収割合8/10) 1,144,932円 横町模範林組合 (1,066,796円×分収割合8/10) 853,437円 分収林契約に基づき販売額の8/10を組合に交付した。財産区地域住民の福祉向上に寄与した。

4 款 諸 支 出 金 3 項 繰 出 金

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事 業 の 概 要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
7,319,000	7,248,000	0	71,000	○一般会計繰出金	○一般会計繰出金 7,248,000円 農林業振興資金運営費分 9,000円 農林業振興資金利子補給金 329,000円 下台頭首工電動ゲート電気料分 67,000円 ジビエ振興事業費補助金分 750,000円 生保内南地区ほ場整備水路分 6,000,000円 武蔵野上三町内会館嵩上げ分 93,000円 各事業に繰出しすることにより、財産区地域住民の福祉の向上に寄与した。

(9) 田沢財産区特別会計

3 款 財 産 費 2 項 造 林 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
22,409,000	22,230,415	0	178,585	○直営造林事業費 適切な保育管理を行い、良質材の生産に努める。	○直営造林事業費 2,860,000円 ・育成天然林整備事業 春山地区（天然林改良） 6.00 ha 2,860,000円 地域住民の要望に応じて、天然林改良として薪材、ホダ木の生産を実施し、地域住民の福祉の向上に寄与した。
				○森林整備センター造林保育費 森林の持つ公益的機能の重要性が叫ばれる中、適切な保育管理を行い水源林の造成に努める。	○森林整備センター造林保育費 18,588,071円 ・大深1造林地保育下刈 13.71ha 2,256,120円 ・大深1造林地保育下刈 4.76ha 617,760円 ・大深1造林地準備地拵 3.75ha 3,582,700円 ・大深1造林地保育（搬出）間伐選木 9.81ha 302,500円 ・大深1造林地作業道測量設計 760.0m 161,700円 【繰越明許】 11,324,208円 ・大深1造林地植栽 4.76ha 5,313,800円 ・大深1造林地作業道新設 760.0m 1,121,040円 ・大深1造林地保育（搬出）間伐 9.81ha 3,259,000円 森林整備センターの管理計画により、適切な保育管理を行った。

4 款 諸 支 出 金 3 項 繰 出 金

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
4,060,000	4,043,000	0	17,000	○一般会計繰出金	○一般会計繰出金 4,043,000円 ・農林業振興資金運営費分 9,000円 ・農林業振興資金利子補給金 57,000円

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
					・田沢ライスセンター更新事業費補助金分 3,977,000円 各事業に繰出しすることにより、財産区地域住民の福祉の向上に寄与した。

(10) 雲沢財産区特別会計
3款 財産費 1項 財産管理費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
2,377,000	2,119,732	0	257,268	○造林保育事業費 森林資源の質的充実に向けた森林環境整備の促進を図る。	○造林保育事業費 2,119,732円 ・下延明通り地内搬出間伐業務委託 1,914,000円 角館町下延明通り地内 5.00ha 搬出間伐事業を実施し、森林資源の質的充実に向けた森林環境整備の促進を図った。